

札幌で活躍したい若者の希望がかなう
まちづくりに係る調査・分析業務
報告書

平成 31 年 3 月
株式会社ノーザンクロス

目 次

I. 業務の概要

- 1. 業務の目的 I -1
- 2. 実施内容 I -1

II. 市内企業へのヒアリング調査

- 1. 調査の概要 II -1
- 2. 調査結果
 - (1) 株式会社北海道アルバイト情報社 II -2
 - (2) 株式会社メディア・マジック II -4
 - (3) エコモット株式会社 II -7
 - (4) 西山製麺株式会社 II -9
 - (5) 札幌みらい中央青果株式会社 II -11

III. 大学卒業予定者に対するアンケート調査

- 1. 調査の概要 III -1
- 2. 調査結果
 - (1) 回答者の属性 III -2
 - (2) 卒業後予定している進路、就職活動の状況 III -5
 - (3) 就職を希望していた（している）地域 III -6
 - (4) 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域 III -10
 - (5) 就職希望地域→就職決定（就職の可能性が高い）地域の推移 III -12
 - (6) 就職活動先を決める際に参考にしたメディア III -13
 - (7) 就職先について重要だと考えること III -16
 - (8) 就職を希望していた業種 III -20
 - (9) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い業種 III -22
 - (10) 就職を希望していた職種 III -23
 - (11) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い職種 III -24
 - (12) 就職を希望していた企業規模 III -26
 - (13) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い企業規模 III -28
 - (14) 北海道内での就職を希望していた理由 III -29
 - (15) 北海道内での就職を希望しなかった理由 III -30
 - (16) 道内企業を就職先として検討・情報収集したか III -32
 - (17) 道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか III -33
 - (18) 道内企業について知りたかった情報 III -34

(19) 道内企業が道外企業より劣っていると思った点.....	III-36
(20) 札幌市・北海道への U ターン意向	III-38
(21) U ターンしたい時期	III-39
(22) U ターン希望者が市内・道内に U ターンしたい理由	III-40
(23) U ターンするために求める取組	III-42
(24) 札幌市・北海道での就職促進、U ターンを促進するための意見・アイデア ..	III-43

IV. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査

1. 調査の概要	IV-1
2. グループインタビュー風景	IV-3
3. インタビュー設問シート	IV-4
4. グループインタビュー調査結果の概要	IV-6
5. グループインタビュー全回答結果.....	IV-9

V. 先進事例調査

1. 調査の視点	V-1
2. 先進事例調査結果	
(1) カケるプロジェクト（福井県、福井大学）	V-2
(2) いしかわインターンシップ（石川県）	V-5
(3) 福岡クリエイティブキャンプ（福岡市）	V-10

VI. 若者の雇用、移住・定住促進施策の提案～さっぽろインターンシップ見本市

1. 取組の主目的	VI-1
2. 取組の視点	VI-1
3. 取組の主ターゲット	VI-1
4. 取組の内容	VI-2
5. 実施スキーム案.....	VI-5

資料編

1. アンケート調査 入口ウェブページ.....	資-1
2. アンケート調査ウェブフォーム	資-2
3. アンケート調査 出口ウェブページ.....	資-22
4. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査での説明資料.....	資-23

I. 業務の概要

1. 業務の目的

札幌市では、男女ともに道外に対し転出超過となっており、特に若者の転出が顕著である。また、市内企業に対する調査では、事業を行っていくうえでの課題は人手不足となっており、これらの課題解決のためにも若年層の定着・還流策を講じるなど、札幌で活躍することを望む若者の希望がかなうまちづくりを積極的に行っていくことが必要である。

そこで、本調査は若者の地元定着やUターン就職（将来を含む）を現状以上に促進するために、働きかけを行うべき主たる対象者の属性やその考え方、道内での就職に向けた条件、対象者への効果的なアプローチの方法などの把握を目的として実施した。

2. 実施内容

II. 市内企業へのヒアリング調査

- 新卒者を採用する側である市内企業に対し、若者の応募・採用の実態と、行政に求める取組についてお聞きすることを目的として実施した。
- 札幌市内に本社を置く5社の企業に対して行った。

III. 大学卒業予定者に対するアンケート調査

- 市内大学の卒業予定者の、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて定量的に把握するために札幌市内の大学に通う大学3・4年生、大学院修士課程2年生を対象として実施した。
- 札幌市内各大学の協力をいただきインターネットアンケート調査を行った結果、795件の回収サンプルを得た。

IV. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査

- アンケート調査結果も踏まえ、市内大学の卒業予定者が、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて、具体的にどのように感じているか、考えているかを定性的に把握することを目的として実施した。
- 短大1年生、大学3・4年生、修士課程2年生、計33名の参加により行った。

V. 先進事例調査

- 上記II～IVの調査を踏まえて、札幌市・札幌市周辺市町村における取組の参考になると考えられる3つの事例について文献・ヒアリング調査を行った。

VI. 若者の雇用、移住・定住促進施策の提案

- II～Vを踏まえて、札幌市・札幌市周辺市町村における若者の雇用、移住・定住促進施策として「さっぽろインターンシップ見本市」を構想した。

II. 市内企業へのヒアリング調査報告

1. 調査の概要

(1) 目的

新卒者を採用する側である市内企業に対し、若者の応募・採用の実態と、行政に求める取組についてお聞きすること。

(2) 実施日時：平成 31 年 2 月 6 日（水）～25 日（月）

(3) 調査対象

- 今年度、大学新卒者の募集を行った札幌市内に本社を置く企業 5 社。
- 複数社にヒアリング調査への協力を打診し受諾いただいた企業である。具体的には下記の 5 社である。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 株式会社北海道アルバイト情報社(2) 株式会社メディア・マジック(3) エコモット株式会社(4) 西山製麺株式会社(5) 札幌みらい中央青果株式会社 |
|--|

(4) 調査方法：対面によるヒアリング調査

(5) ヒアリング項目

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1)若者/U ターン者の募集・採用のために行っている取組2)若者/U ターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）3)若者/U ターン者の募集・採用の状況4)若者/U ターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）5)若者/U ターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること6)若者/U ターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる(聞いてくる)情報7)若者/U ターン者の募集・採用における貴社の課題8)貴社が今後、若者/U ターン者の募集・採用において取り組まれようと考えていること（ご担当者のアイデアも含め）9)道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること10)道内企業への若者/U ターン者の応募・就職促進のために行政等に求めること |
|--|

(6) その他

- 当初「II. 市内企業へのヒアリング調査」は「III. 大学卒業予定者に対するアンケート調査」「IV. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査」の後に行う予定だったが、IIIの実施時期が遅くなったため、先行して行うこととなった。

2. 調査結果

(1) 株式会社北海道アルバイト情報社

■会社概要：

- 創業：昭和46年4月12日
- 資本金：7,000万円
- グループ社員数：249名（2018年4月1日現在）
- 事業内容：求人事業、人材サービス・就職支援事業、IT事業、印刷事業
- URL：<https://www.haj.co.jp/>

■ヒアリング先担当者：取締役・樺澤 靖史氏、事業部長・樋口 香織氏

■日時：平成31年2月6日13:30～14:30

■場所：株式会社北海道アルバイト情報社 会議室

■ヒアリング内容：

1) 若者/Uターン者の募集・採用のためにやっている取組

- 大学による学内セミナー、単独企業説明会、札幌市UIターン事業等に参加し、できるだけ学生と直接話す機会を作るようにしている。

2) 若者/Uターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）

- 学生さんには、当社の主な事業は求人情報サービスだが、雇用創出を通して「北海道・地元を元気にする」「地域づくり」だと訴えている。
- 説明会等で上記のようなことを話すと、多くの学生さんが「地域づくり」ということに強く興味を持ってくれる。

3) 若者/Uターン者の募集・採用の状況

- 特に決めているわけではないが、毎年6～8名の新卒者を採用している。
- Uターン者に特化した採用活動を行っているわけではない。
- 当社の新卒採用者はほぼ営業職となるのだが、7～8年前から総務部等ではなく、現場を担当している営業部長などが採用活動を担当し、学生さんと会う場には卒業から数年の若手社員を連れていき仕事の実体験を伝えるようなやり方に変えた。
- 入社前には同期となる新卒者を集めて話す機会を設けたり、アルバイトスタッフとしてイベントを手伝ってもらったり、営業同行研修を受けてもらうなどして、社員と接する機会を増やしている。これらにより、4月1日の入社時点ですでに新卒者同士や社員と見知った顔になっているため、会社に溶け込みやすくなっている。

4) 若者/Uターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）

- 以前と比べて自己PRの内容が変化していると感じる。
- 内定をもらって入社先を決めていても「就職活動を最後までやりきる」と言う学生さんが増え

ている。

- また、内定をなかなか断れない学生さんもいるが、それは、その会社の社員に様々な相談に乗ってもらったから、申しわけなくて断れないという動機が多いようである。

5) 若者/Uターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること

- 土日祝日に休めるかどうか、残業はあるのかなど、プライベートとの兼ね合いを重視している。
- 転勤があるかどうかも重視しているように感じている。

6) 若者/Uターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる（聞いてくる）情報

- 「商品・事業の展開・将来像」については聞かれる事が多い。
- 説明会などでは、担当する社員間の人間関係や雰囲気もしっかり見られているようだ。

7) 若者/Uターン者の募集・採用における貴社の課題

- 中小企業は「企業情報までたどり着いてもらえない」という課題がある。
- インターンシップを受け入れる企業も増えてきているが、長期間のインターンシップは何社も受けられるものではない。もっと気楽な職場見学などがあっても良いのではないか。バスツアー、担当者とのメールのやり取り、数分間で企業を紹介する動画を作成することなども考えられる。まずは知ってもらうことが大切である。
- 行政に期待するサポートとしては、Uターン希望者が就職活動をする際の交通費助成がある。「就職活動の交通費・宿泊費のためにバイトをする」という話も聞くので、多くの学生がその助成を受けれることが望ましい。

8) 貴社が今後、若者/Uターン者の募集・採用において取り組まれようと考えていること（ご担当者のアイデアも含め）

—

9) 道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること

- 「就職活動に消極的／就職活動に取り掛かるのが遅い学生さん」がいるが、そういった人たちに対するサポート、背中押しをする取組。

10) 道内企業への若者/Uターン者の応募・就職促進のために行政等に求めること

- 民間企業と行政がうまく役割分担して、複数の業界の「職業のリアリティ」を学生さんに伝える取組などを行えないだろうか。

以上

(2) 株式会社メディア・マジック

■会社概要：

- 設立：平成8年11月26日
- 資本金：7,630万円
- 従業員数：約40名
- 事業内容：システム開発事業、コンテンツ配信事業、イベント事業、商品開発事業、賃貸事業
- URL：<http://www.mediamagic.co.jp/>

■ヒアリング先担当者：取締役、第2開発部長・樋原 猛己氏

■日時：平成31年2月7日10:00～10:45

■場所：株式会社メディア・マジック 応接室

■ヒアリング内容：

1) 若者/Uターン者の募集・採用のためにしている取組

- 各学校との連絡のやり取り、企業説明会への参加など、一般的なことを行っている。
- 会社見学、インターンは常時受け入れるようにしているが、それは、当社の代表が業界団体の代表や理事を行っていることもあり、当社だけではなくIT業界全般について知ってもらいたいという考えもあつてのことである。

2) 若者/Uターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）

- 当社から働きかけているわけではないが、中学、高校から企業見学の申し入れがあった場合は受け入れるようにしている。昨年は中学校2校、高校3校を受け入れた。受入はここ10年くらいのことである。座学、企業見学を行っている。
- 高校生のときに企業見学をしたことをきっかけに、残念ながら当社ではないが、イラストレーター職でIT業界に就職した人もいる。エンジニア系の人材については追えていない。
- インターンも常時受入を行っている。受入を始めたのは6～7年前頃からだろうか。
- 当社では以前から本採用の前にインターンの期間を設けていた。それを拡張する形で学生さんのインターン受入に取り組んでいる。

3) 若者/Uターン者の募集・採用の状況

- 近年、新卒者の採用は平均して年に2名程度。今年は0名だったが、多い年は4名である。
- 専門学校生が多いが、高校、大学生も採用実績がある。
- IT人材不足ということもあり、採用活動は常時行っている。大手企業のように「いつから開始」ということはない。バイトやインターンもなるべく受け入れることで、マッチングの機会を増やそうとしている。

4) 若者/Uターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）

- 価値観が多様化しているように感じる。以前は「まず東京でチャレンジして・自分を高める」という意識が強く、学生さんの7割が最初から東京での就職を希望していた。現在は地元と東

京が半々くらいである。

- ただ、最終的な就職活動の結果としては、東京に出る比率は以前と変わらないといことはある。それは、学生さんが就職活動をする中で、仕事や仕事以外の情報、人との交流が東京の方が多く、それに魅力を感じたり、自分の成長に役立つと考えるからではないかと思う。
- また、最近は特に SNS などで地域の制約なく就職活動ができるという面もある。

5) 若者/U ターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること

- 「あまり無理をせずに」という意識があるように感じる。一昔前は面接などで「寝ないでがんばります」と言う人もいたなど、エネルギーのある学生さんが多かった。それが「自分の持っているスキルの範囲で貢献する」「プライベートも充実させたい」など、欲がない、バランス感覚のある学生さんが多い。

6) 若者/U ターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる（聞いてくる）情報

- 報酬や待遇より雇用形態、教育など、職場・仕事環境的なことを気にされることが増えてきている。
- 当社では採用すると 3~4 ヶ月間の研修期間のあと、1 年めは契約社員として雇用し、2 年め以降に正社員として採用するという形態を取っているのだが「1 年めは契約社員」という条件に親御さんが難色を示すケースがあった。
- なお、当社では「2 年めに正社員として採用しなかった」ということはない。「1 年めは契約社員」ということが、他業種、他社と比較してウィークポイントと見られるのであれば、このやり方は見直そうという話も社内では出ている。

7) 若者/U ターン者の募集・採用における貴社の課題

- 札幌の IT 企業は社名が知られていないということがある。当社はエヴァンゲリオン関連の仕事で人目につく方だと思うが、それでもあまり認知されていない。まず社名を認知してもらうことが課題だと考えている。

8) 貴社が今後、若者/U ターン者の募集・採用において取り組まれようと考えていること（ご担当者のアイデアも含め）

- 採用チャンネルとして SNS の比率が増えてきているので、より SNS で情報を出していく必要があると考えている。
- 個人的なアイデアとしては、2020 年から小学校でプログラミング教育が始まるが、将来の就職先として IT 業界を考えてもらえるようにする取組として、業界内でアライアンスを組んで取り組んでいく必要があると考えている。

9) 道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること

- 大学や専門学校でもアイデアソン、ハッカソンなどを行っているが、そういった機会も活用し、平日頃から企業と学生さんがコミュニケーションを取れる機会を設けてほしい。
- また、No MAPS にも学生さんが活躍する場があっても良いと思う。それに IT 企業が関わるこ

とで、コミュニケーション、ミートアップの場になればと思う。

10) 道内企業への若者/Uターン者の応募・就職促進のために行政等に求めること

- 特に東京との地域間競争という面が強い。
- また、東京に行った IT 人材は札幌に戻ってきているが、なぜか IT 業界内で流動していないということがある。東京で疲弊してしまって、札幌に帰っても IT 業界には就職しないということなのかもしれない。
- 福岡市との比較では、福岡には力のある IT 企業が比較的多いということがある。また、台湾や韓国などとも近いと、グローバルを見据えたビジネスを行える・行いやすい環境であるということもあると思う。
- 北海道はやはり「行政の支援があって」という面が強い印象がある。

11) その他

- 青森で高校、専門学校が参加したハッカソンイベントに参加した際に、ハッカソンを経た伸びしろは札幌の学生さんよりあったように感じる。
- 北海道の学生さんは自己表現の力をつけないといけないように感じる。特に関西以西の人と比較するとそこが弱い。札幌に残る人で経済を回していくために大事だと感じる。

(3) エコモット株式会社

■会社概要：

- 設立：平成 19 年 2 月 19 日
- 資本金：2 億 9,500 万円
- 従業員数：100 名（平成 31 年 2 月 1 日現在）
- 事業内容：IoT インテグレーション事業

■ヒアリング先担当者：取締役、管理部部長・工藤 貴史氏

■日時：平成 31 年 2 月 14 日 13:30～14:10

■場所：エコモット株式会社 会議室

■ヒアリング内容：

1) 若者/U ターン者の募集・採用のためにやっている取組

- 新卒者向けとしては、ウェブページでの募集、人材募集事業者が行う合同企業説明会への参加、自社説明会の実施、採用担当者のブログ運営（週 2～3 回更新）などを行っている。
- UIJ ターン者向けとしては、人材紹介事業者への紹介依頼、北海道 IT 推進協会が主催する年 1 回の UIJ ターンイベントへの参加を行っている。

2) 若者/U ターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）

- 特徴的なことは特にない。
- 採用において「中小企業」はマイナス要因だが、当社はアンビシャス、マザーズへの上場や、成長路線にあることなどが好感されているようだ。

3) 若者/U ターン者の募集・採用の状況

- 新卒者の採用を開始したのは 4～5 年前からである。
- 新卒採用は、今年は 4 名（文理 2 名ずつ）、去年は 1 名（北海学園大）、一昨年は 3 名（東海大 1 名、未来大 2 名）採用した。コンスタントに 3～4 名、主に理系から採用している。
- UIJ ターン者、中途採用者については、IT 系企業は受託開発企業が多い中、当社は自社製品の開発を行っている。エンジニア系人材は特にそういった点に興味を持って応募してくれる人が多い。
- 当社の社員は 100 名だが、今年だけで中途採用者を 20 名採用した。うち 10 名がエンジニアである。20 名中 5～6 名が他地域からの UIJ ターン者である。

4) 若者/U ターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）

- 当社に応募する人は、以前は「ベンチャー企業」に行きたい人が一定数いたが、現在は待遇や福利厚生、残業の有無、安定性を重視する人が多くなってきた。ただ、これは当社のステージが変わってきたからかもしれない。

5) 若者/Uターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること

○新卒者では「北海道を離れたくない」人が多くなってきている感がある。

6) 若者/Uターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる（聞いてくる）情報

○以前からは減ったが「ブラック企業かどうか」、残業の多さやパワハラの有無を気にする学生さんが一定数いる。

○当社、代表の信念として、北海道から全国に発信する（地域に根ざす）、エコ、人の命を守るなど、世の中のためになることをするということがある。特に「エコ」は新卒者に響くようだ。

7) 若者/Uターン者の募集・採用における貴社の課題

○大手企業と比較して、まず、社名から知られていない。そこをどうしていくかということが課題である。

8) 貴社が今後、若者/Uターン者の募集・採用において取り組まれようと考えていること（ご担当者のアイデアも含め）

○上記課題を踏まえると、直接、コミュニケーションを取る、会って話す時間を増やすしかないと考えている。そのため、外部での説明会の頻度を増やしており、現在は週に2~3回行っている。

9) 道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること

10) 道内企業への若者/Uターン者の応募・就職促進のために行政等に求めること

○上記と関連するが、学生さんが当社のようにあまり知られていない企業と直接コミュニケーションをとれる機会を作ってもらえるとありがたい。北大では2回の企業説明会を行っているが、企業の申込みが殺到してエントリーしにくい状況である。函館未来大も同様である。

11) その他

○現在は中途採用者の比率が高いが、今後は新卒者の採用にシフトしていきたい。

○当社は設立から10年だが、中途採用者の集まりである。よって、社員の前就職先の文化が入り混じっているため、今後、企業文化を作っていく、合わせていく必要を感じている。

○先ほど述べたとおり、当社は自社製品開発が主であるが、現在の学生さんにはその魅力が伝わらないと感じている。訴求しているのだが、工学系の学生さんに対しても、あまり響いていないと感じる。中途採用者にはそこに魅力を感じる人もいるのだが。

○現在の学生さんには「キャリアプランを示す」ことなどが訴求力を持つのもかもしれないが、当社は若い会社なので、まだそれを示せる段階にはない。

(4) 西山製麺株式会社

■会社概要：

- 創業：昭和 28 年 8 月
- 資本金：9,000 万円
- 従業員数：187 名
- 事業内容：麺類等の製造販売、各種めん類スープ・惣菜類の販売、学校給食めんの委託製造、食材・食料品の仕入れと販売、外食店の開店・調理指導、北海道の物産観光展などへの出店

■ヒアリング先担当者：常務取締役、経営企画部長・西山 克彦氏

■日時：平成 31 年 2 月 20 日 16:00～17:00

■場所：西山製麺株式会社 応接室

■ヒアリング内容：

1) 若者/U ターン者の募集・採用のためにしている取組

- 単独での「会社説明会&職場見学会」を行っている。開催曜日は学生が参加しやすい土曜日に設定している。
- 合同企業説明会には参加していない。大学等が単独で行う企業説明会には参加している。
- 昨年は、北海学園大学のマーケティングに関する授業の一環として、2 年生に対するセミナーを受け持つという協力をした。大学の先生方との付き合いがあり、そこからの取組である。
- インターン受入も行っているが、大学生側からなかなか選ばれないということがある。
- U ターン者向けとしては、今後のための「種まき」として、昨年から東京や東京近郊の大学とのパイプづくりに力を入れている。
- また、この 3 月には東京で U ターン希望者、大学新卒と卒業から 1 年以内の方を対象にした説明会を行う。

2) 若者/U ターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）

- 会社説明会で出会うときから、学生さんには 10 年後、30 歳までの当社でのキャリアパスを示したり、考えることを促したりしている。これは、本来は 10 年後どうなりたいかということから、就職先を決めるべきだという考えからである。
- そのせいもあってか、通常、辞退率が 3～4 割と聞く中で、今年の内定者から辞退者は出ていない。
- UIJ ターン希望者には「東京、大阪だと通勤に 2 時間かかるが、北海道だと 30 分である。北海道だと、その差の時間をスキルアップなど、有効に使える」ということや、北海道の環境の良さ、おおらかな雰囲気などを訴えている。

3) 若者/U ターン者の募集・採用の状況

- 今年是一般職として 4 名、総合職として 3 名を採用した。内訳は大卒 4 名、短大卒 1 名、高卒 2 名である。大卒のうち、U ターン者が 1 名、I ターン者が 1 名いる。
- 昨年は 1 名、一昨年は 2 名、3 年前は 6 名を採用した。

4) 若者/Uターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）

- 就活に「不真面目」な方が多い。例えば内定をたくさんとっていることに言及するなど。内定を取ることがゲーム感覚になっていると感じる。
- 内定をたくさんとっている人には、ゲーム感覚でそうしている人と、どこを選んで良いのかわからなくてそうになっている人の2種類がいると思う。後者については、誰かがキャリアパスなどのアドバイスをしてあげることが必要だと思う。

5) 若者/Uターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること

- 特に第二新卒者については、就職する前とした後の「自分の扱われ方」のギャップを感じて辞める人が多いように感じる。特に大企業に就職して辞めた人にギャップを感じている人が多い。「とにかく人に来てほしい」企業に入ってから、就職する前には見えなかったことが見えてくるのだろう。そういったギャップを少なくする必要があると感じる。
- UIJ ターン者を増やすためには「北海道」というブランドをより魅力的に発信していくことが必要だと思う。

6) 若者/Uターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる（聞いてくる）情報

- 教育制度や、自由に使える自分の時間を気にする人が多いと感じる。

7) 若者/Uターン者の募集・採用における貴社の課題

- 第二新卒を主として、一度、北海道外で働いた経験のあるUIJ ターン者の採用に力を入れたい。ただ、関東・関西等での企業説明会は時間と手間がかかるため頻繁にできないという課題がある。

9) 道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること

10) 道内企業への若者/Uターン者の応募・就職促進のために行政等に求めること

- 北海道内で「食」、道外では「北海道の食」というように、業界・地域を絞った説明会があれば良い。それは、学生は合同説明会などでは有名企業を選びがちだが、そういった絞り方をすれば業界に関心のある学生を集められ、中小企業にもスポットが当たるからである。様々な業界が混じった合同企業説明会では中小企業はどうしても埋もれてしまう。
- 大学と中小企業が組んだ「お祭り」的な「出会い」のイベントがあっても良い。例えば、大学と中小企業が合同で製品・マーケット開発を行うなど。その際「製品づくり」から（プロダクトアウト）ではなく「こんなマーケット・課題がある」というところからスタート（マーケットイン）するのが良いと思う。そうすれば、様々な学科がそれぞれの専門性を活かして参加できると思う（例：英文学科が英訳、デザイン学科がデザインやキャラクター制作、経営学科がマーケティング検討など）。
- 昨年、大学関係者にこの企画を提案すると、大学側は大変乗り気だった。ただ、誰がまとめるのか、コーディネートするのが課題である。そのあたりに行政の協力があれば良い。

(5) 札幌みらい中央青果株式会社

■会社概要：

- 丸果札幌青果株式会社と札幌ホクレン青果株式会社が平成 30 年 5 月 1 日に合併し同社設立
- 資本金：1 億 8,000 万円
- 従業員数：約 180 名
- 事業内容：青果物卸売
- URL：<http://www.sapporomirai.jp/>

■ヒアリング先担当者：管理部総務課課長・小野 晴基氏、管理部総務課・野崎 恵介氏

■日時：平成 31 年 2 月 25 日 10:00～10:30

■場所：札幌みらい中央青果株式会社 会議室

■ヒアリング内容：

1) 若者/U ターン者の募集・採用のためにしている取組

- リクナビ、マイナビなどの大手就職サイトに企業情報を掲載している。また、一部大学の合同企業説明会に参加している。
- 大手就職企業の合同企業説明会には、以前、参加しても人があまり集まらなかったこともあり、参加していない。ただ、応募状況が後述の通り厳しかったこともあり、現在、参加を検討中である。

2) 若者/U ターン者の募集・採用において特に力を入れている点・取組等（あれば）

- 特にない。
- 会社見学会は、せりを見てほしいため早朝に行っているのだが、参加者には一律 1,000 円の交通費補助を行っている。

3) 若者/U ターン者の募集・採用の状況

- U ターン者を特に積極的に採用するということはしていない。採用者には市内大学卒業者が多い。一部、道外大学出身者もいるが、たまたま応募・採用したという形で、特にそれを重視したわけではない。
- 当社は、昨年、丸果札幌青果株式会社と札幌ホクレン青果株式会社が合併してできたが、新社名になって知名度が下がったため、今年の採用は厳しい状況。現在、内定者は 1 名にとどまっている。3 月中頃から就職活動を始めるといので、現在、そういった人をターゲットにしようと考えている。
- これまでは、ほぼ毎年、丸果札幌青果で 4～5 名、札幌ホクレン青果で 1～2 名の採用実績があった。

4) 若者/U ターン者の属性・意識・動機の変遷（日頃お感じの点等）

- 最近の学生さんにはおとなしい人が多いように感じる。以前はもっと元気で積極的な人が多かった。

- ただ、採用後は真面目に勤務を続ける人が多いということがある。
- 一般的に、女性が男性に比べて積極的だと感じる。当社は力仕事もあるためできれば男性を採用したいのだが「この女性が男性だったら」と思うことがよくある。

5) 若者/Uターン者が、就職先選定の際に重視していると感じること

- 以前、学生は「この業種、この仕事」と絞って就職活動をしていたが、最近の学生はまったく関連のない業種・業界にまたがって就職活動を行っている。何を重視しているのかよくわからない。
- 勤務地、給与、休みなど、ライフスタイルに関わる点を重視しているようだ。

6) 若者/Uターン者が、企業について知りたいと考えていると思われる（聞いてくる）情報

- 会社説明会等で質問をしてくる人が少ない。質問がないのでこちらから過去にされた質問を提示してそれに答えるということを行うことがある。
- 質問する人がいたとしても、知りたくてしているのではなく、自分をアピールするためにしていることが見え見えであることが多い。

7) 若者/Uターン者の募集・採用における貴社の課題

- まず、新社名を知ってもらうことが必要。学生はまず社名を知っている企業に行くということがあるので。
- 7～8年前には20名の採用枠が常に埋まっているような状況だったこともあり、これまで採用活動をあまり積極的に行ってこなかったということがある。今後は合同説明会にも積極的に参加するなど、取組を行っていかねばならないと考えている。

8) 貴社が今後、若者/Uターン者の募集・採用において取り組まれようと考えていること（ご担当者のアイデアも含め）

- 当社のせりはマスコミで報道されることがあるので、そういったことを利用して社名を広めたいと考えている。社名が学生さんの父母・祖父母等に認知されれば、そちらから推してもらえることもあると思うので。
- 学生さんに「朝が早いこと」（始業時間が早いこと）が敬遠されることはわかっている。ただ「冬は13時など、早く帰ることができる」と話すときいてくる学生さんがいるので、そういったことを訴求していこうと考えている。

9) 道内企業への若者の応募・就職促進のために大学等に求めること

- 現在、企業としての採用努力をあまりしていない状況なので、特に大学側に申し上げることはない。各大学にもあまり伺っていない状況なので、まずは接点を作りたいと考えている。
- なお先日、札幌商工会議所による大学と企業の交流会に参加し、10数大学との交流を持つことができた。

Ⅲ. 大学卒業予定者に対するアンケート調査報告

1. 調査の概要

(1) 目的

市内大学の卒業予定者の、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて定量的に把握すること。

(2) 調査対象と回収サンプル数：

- 札幌市内の大学に通う大学3・4年生、大学院修士課程2年生
- 回収数：795件

(3) 調査手法：

- インターネットアンケート調査。
- 各大学当局から大学に所属する対象学生に、アンケート調査への協力依頼を、メールでの告知、ウェブページへの告知掲載、ポスター掲示、チラシ配布等で、送付いただいた。
- アンケート回答のインセンティブとして、アンケート回答者の中から500名に謝礼としてクオカード500円分をお送りした。

(4) 調査期間：平成30年12月25日～平成31年2月28日

(5) 他調査との比較について

○下記の設問については、全国調査、九州大学調査との比較分析を行った。

当調査の設問		比較先調査	比較先調査の設問
Q11 就職先を決める際に参考にしたメディア	→	就職みらい研究所調査	参考にしたメディア等
Q12 就職先について重要だと考えること	→	九州大学調査	将来の就職に関して重要視するもの
Q15 就活前に就職を希望していた職種	→	マイナビ調査	現時点での志望職種は何ですか
Q17 就活前に就職を希望していた企業規模	→	就職みらい研究所調査	働くことを志望する従業員規模
Q19 就活前に就職を希望していた(している)地域	→	九州大学調査	希望する勤務地

2. 調査結果

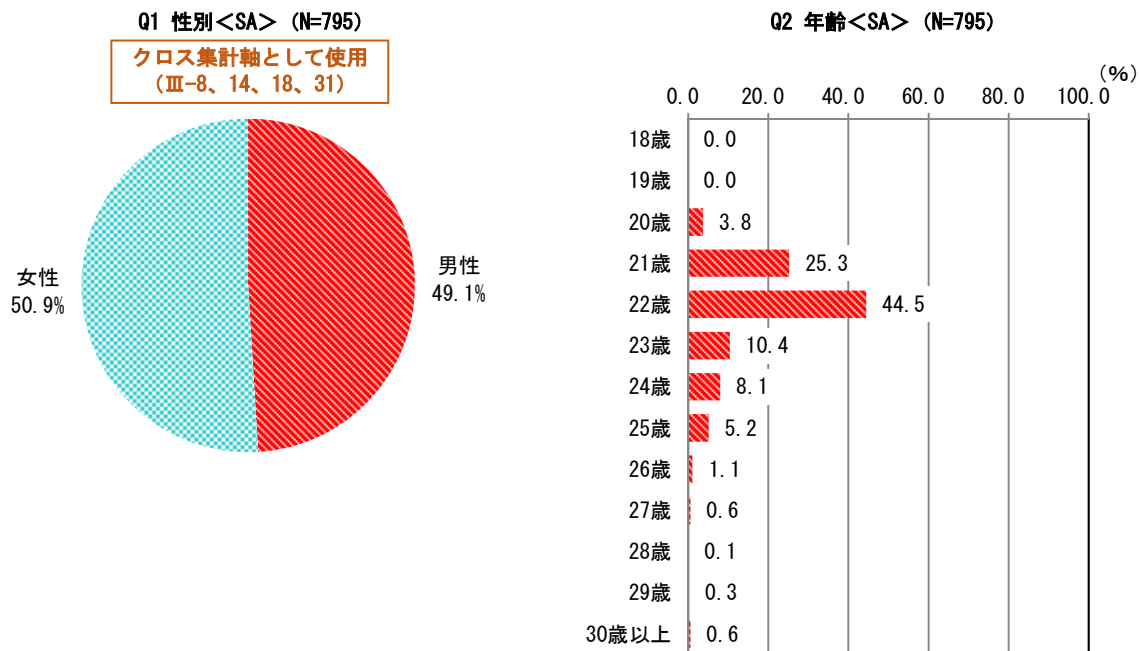
調査結果の凡例

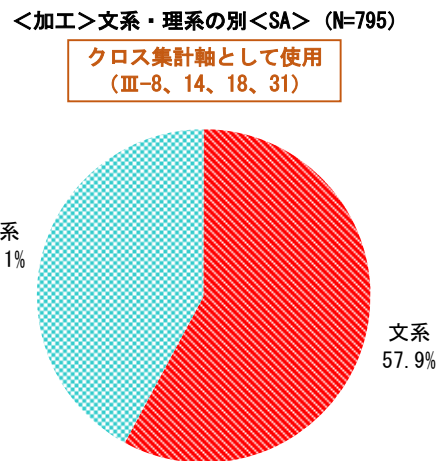
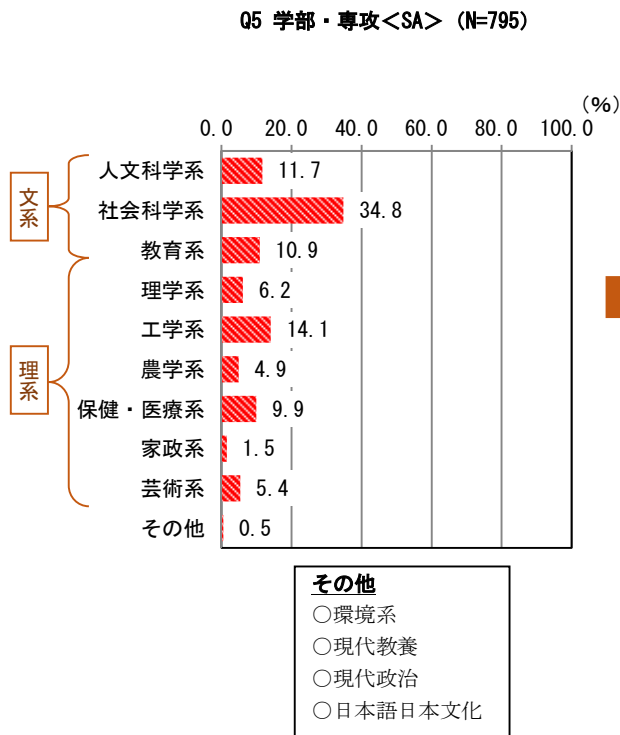
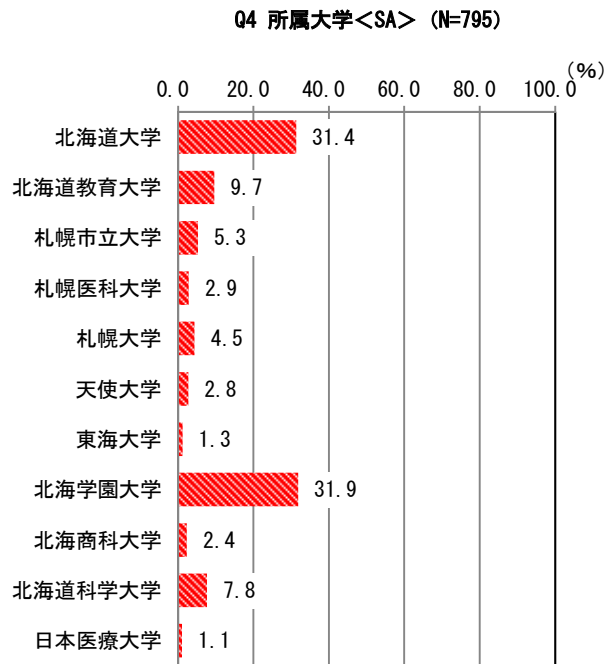
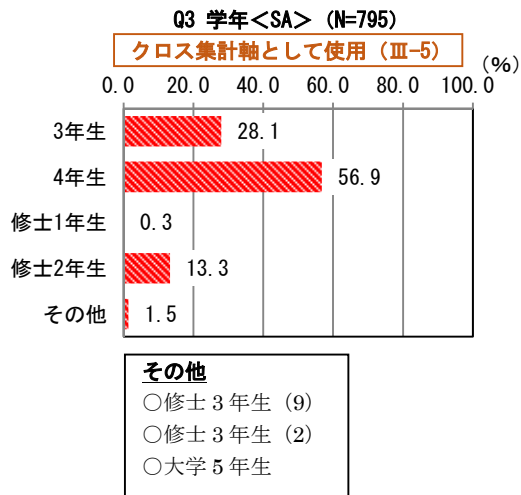
- <SA> シングルアンサー（単一回答）
- <MA> マルチアンサー（複数回答）
- N サンプル数

注記

- サンプル数 N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。
- マルチアンサー設問<MA>では、表記の割合の合計は 100%を超える。
- シングルアンサー設問<SA>に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- **クロス集計軸として使用** **クロス集計対象として使用** とある集計結果は、（括弧）に示す頁においてクロス集計（設問間をかけた集計）に用いている。

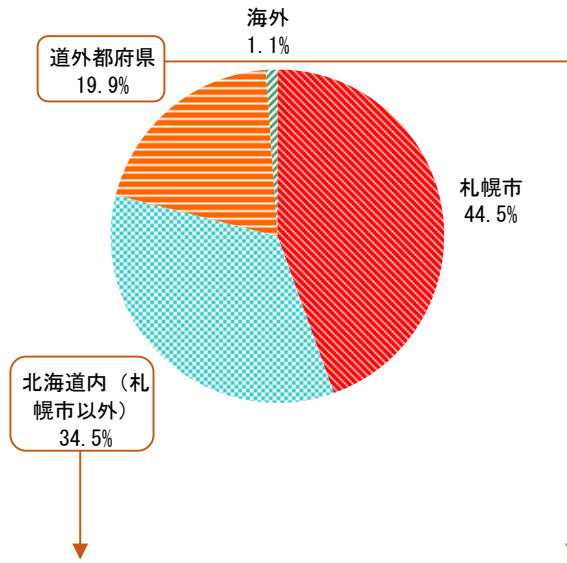
(1) 回答者の属性





Q6 出身地<SA> (N=795)

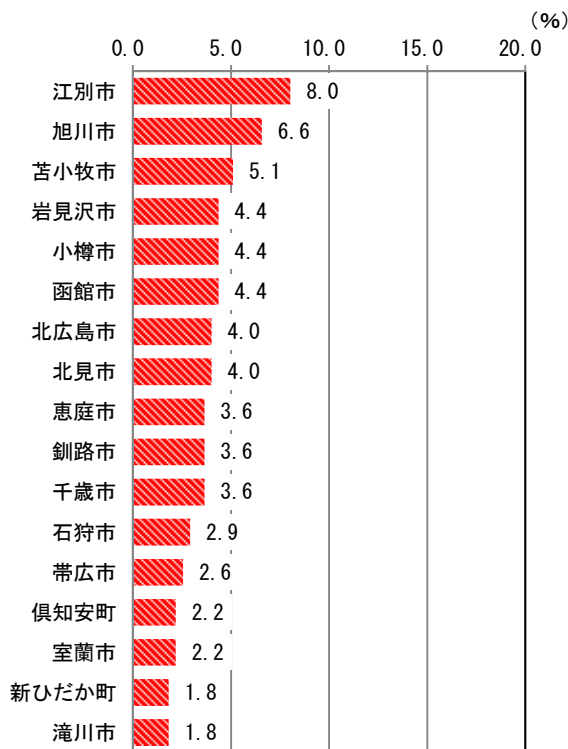
クロス集計軸として使用
(Ⅲ-11、29、31、39、41、42)



【Q6で「北海道内（札幌市以外）」回答者のみ】

Q7 道内の出身市町村<SA> (N=274)

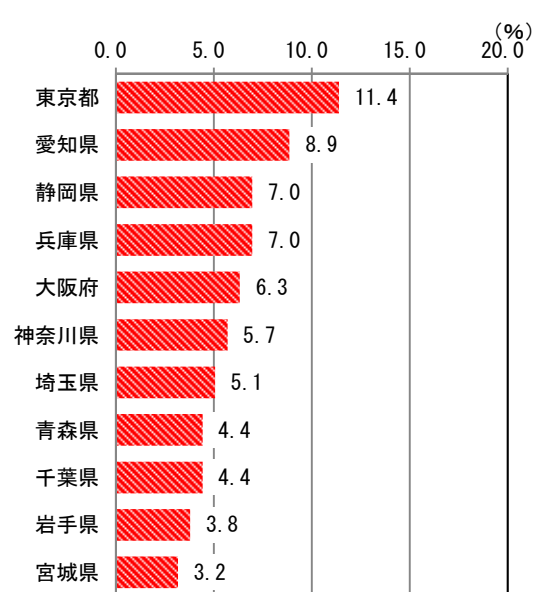
※回答者数が5名以上の市町村のみ表記



【Q6で「道外都府県」回答者のみ】

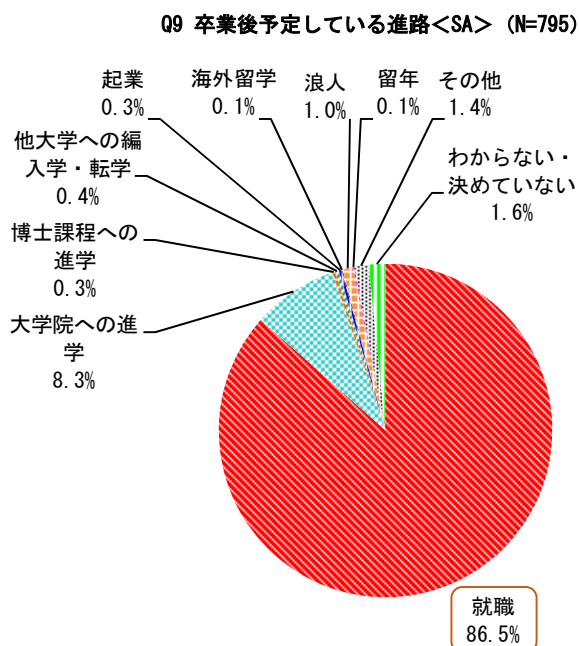
Q8 道外の出身都府県<SA> (N=158)

※回答者数が5名以上の都府県のみ表記

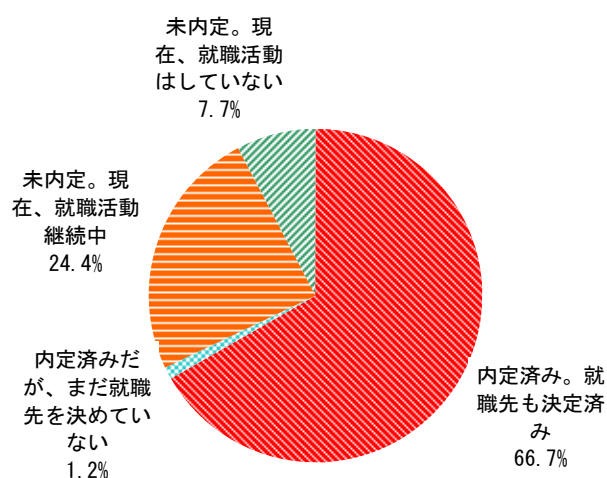


(2) 卒業後予定している進路、就職活動の状況

- 「Q9 卒業後予定している進路」は就職予定者のみ Q10～32 に進んでいただくために設けた設問である。全体の 86.5% が「就職」と回答し、Q10～32 に回答していただいた。
- 「Q10 就職活動の状況」では、計 67.9% が「内定済み」、計 32.1% が「未内定」と回答したが、学年別のクロス集計表で確認すると、4 年生では「内定済み」との回答者が計 96.2%、修士 2 年生では計 97.1% である反面、3 年生では「未内定」が計 99.5% となっており、「未内定」のほとんどが 3 年生である。



【Q9で「就職」回答者のみ】
Q10 就職活動の状況<SA> (N=688)



※Q10～32はQ9で「就職」回答者のみが回答

その他

- 教員・教師 (2)
- インターン、ワーキングホリデー
- ボランティア活動、その後帰国就職
- 起業が就職
- 研修医
- 実家の自営業を手伝う
- 地域おこし協力隊
- 発達障害者向けの就労支援又は就職など

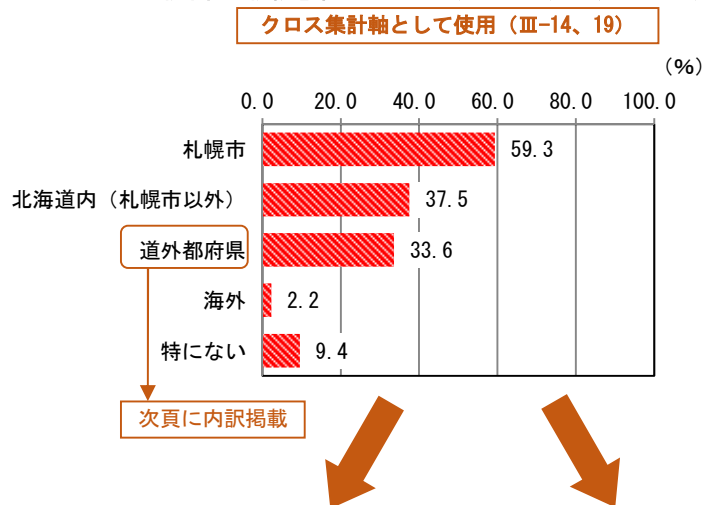
<クロス集計>学年別、Q10 就職活動の状況<SA>

	N	内定済み。就職先も決	職内定済みを決めたがいまだ就	動未内定。現在、就職活	動未内定。現在、就職活
3年生	203	-	0.5	74.4	25.1
4年生	372	94.6	1.6	3.5	0.3
修士1年生	2	50.0	-	50.0	-
修士2年生	102	96.1	1.0	2.0	1.0
その他	9	88.9	-	11.1	-

(3) 就職を希望していた（している）地域

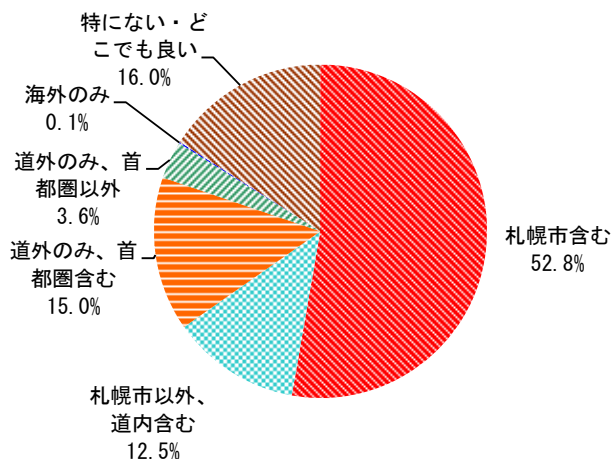
- 「Q19 就活前に就職を希望していた（している）地域」の集計結果については、Q9以降の設問のクロス集計軸として使用した。また、<加工1><加工2>に示す処理を行い、クロス集計の対象としても使用している。
- 「Q19 就活前に就職を希望していた（している）地域」として「札幌市」(59.3%)が最も多く挙げられた。
- 一方、Q19では「道外都府県」を33.6%が挙げたが、「Q20 就活前に就職を希望していた道外都府県」では、このうち84.3%が「東京都」を挙げた。これは2位の「神奈川県」(21.0%)を引き離し、圧倒的に高い値である。

Q19 就活前に就職を希望していた（している）地域<MA> (N=688)



<加工1>就活前に就職を希望していた（している）地域 <SA> (N=688)

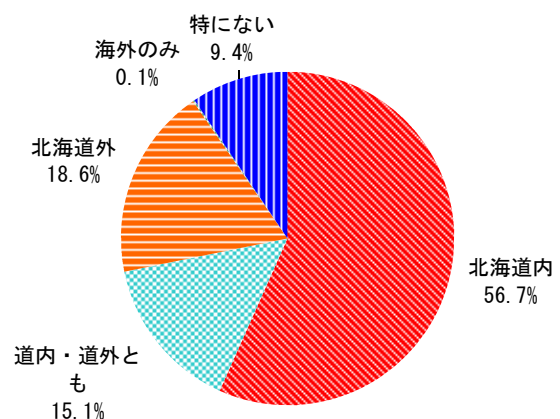
クロス集計対象として使用 (Ⅲ-8)



- ※特にない・どこでも良い：「特にない」回答者と、3つ以上の選択肢を挙げた回答者の合計
- ※札幌市含む：上記以外で「札幌市」を挙げた回答者
- ※札幌市以外、道内含む：上記以外で「北海道内 (札幌市以外)」を挙げた回答者

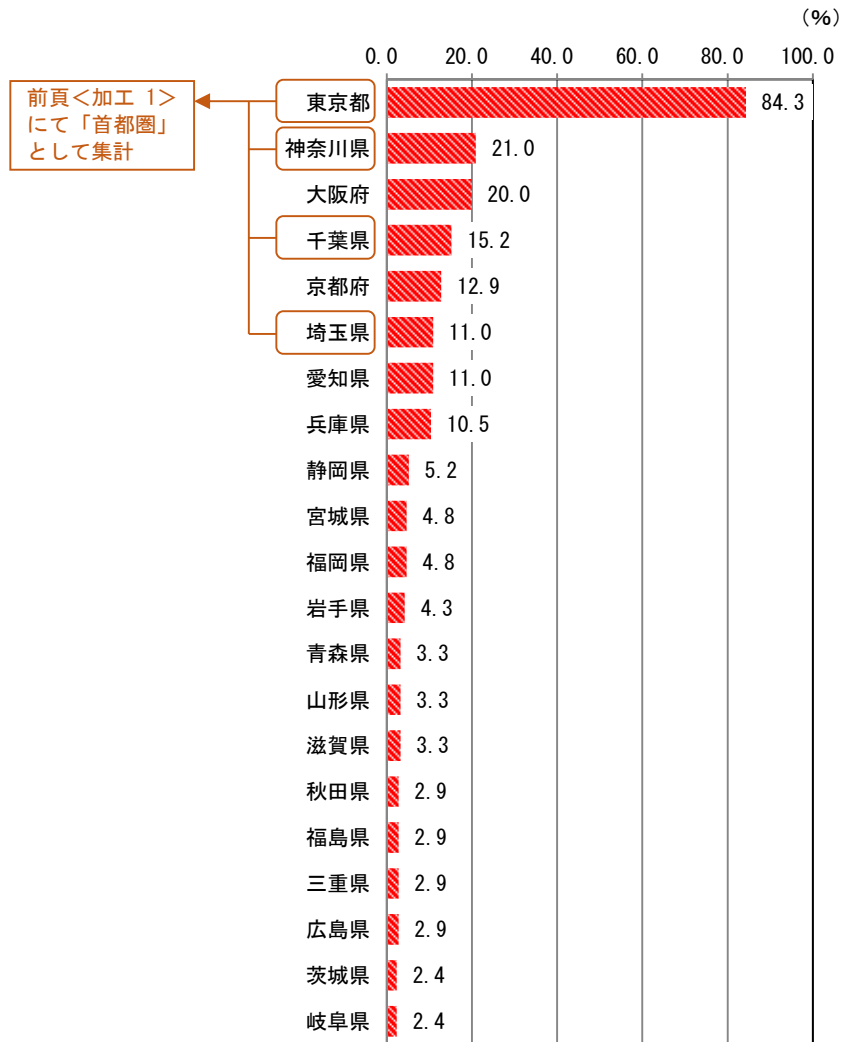
<加工2>就活前に就職を希望していた（している）地域 <SA> (N=688)

クロス集計対象として使用 (Ⅲ-11)



- ※北海道内：「札幌市」のみ、または、「北海道内 (札幌市以外)」のみ、または、「札幌市」と「北海道内 (札幌市以外)」を挙げた回答者
- ※道内・道外とも：「札幌市」「北海道内 (札幌市以外)」と合わせて「道外都府県」を挙げた回答者
- ※北海道外：「道外都府県」のみを挙げた回答者
- ※海外のみ：「海外」のみを挙げた回答者

【Q19で「道外都府県」回答者のみ】
 Q20 就活前に就職を希望していた道外都府県<MA> (N=688)
 ※回答者数が5名以上の都府県のみ表記

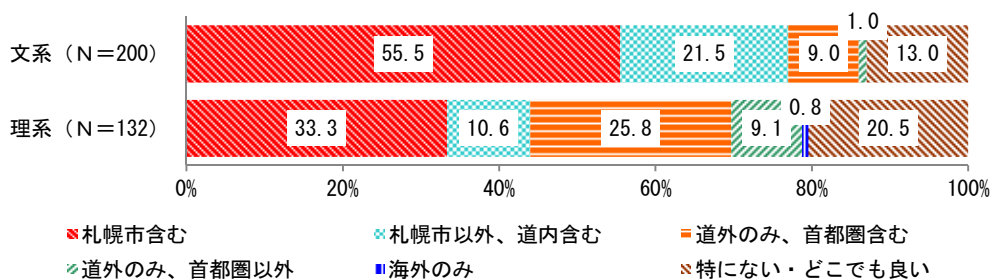


<クロス集計結果>

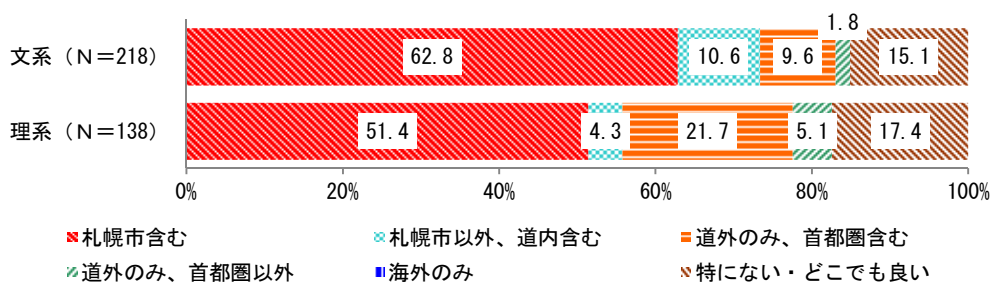
■性別・文系理系別

- 男性、女性とも、文系より理系の方が「札幌市含む」「札幌市以外、道内含む」の割合が低く、「道外のみ、首都圏含む」「道外のみ、首都圏以外」の割合が高くなっている。
- 男性・文系、女性・文系、女性・理系においては「札幌市含む」と「札幌市以外、道内含む」の合計、すなわち、北海道内への就職志望者の割合は半数を上回っているが、男性・理系に置いては43.9%と、半数を下回っている。

【男性】文系理系別、<加工1>就活前に就職を希望していた(している)地域<SA>



【女性】文系理系別、<加工1>就活前に就職を希望していた(している)地域<SA>



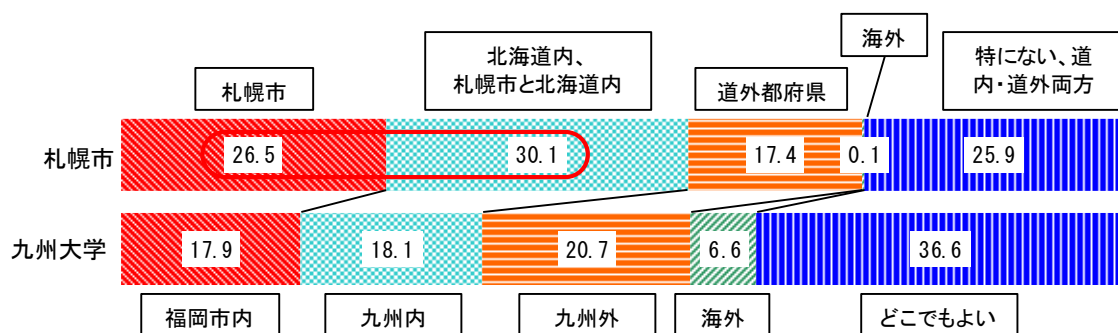
<九州大学調査※との比較>

○札幌市調査結果と九州大学調査結果を比較すると、札幌市調査で「札幌市」「北海道内、札幌市と北海道内」の割合が多い反面、「道外都府県」「海外」「特にない、道内・道外両方」の割合は少なくなっている。

○札幌市内大学生は九州大学生と比較して地元志向が強いということが言える。

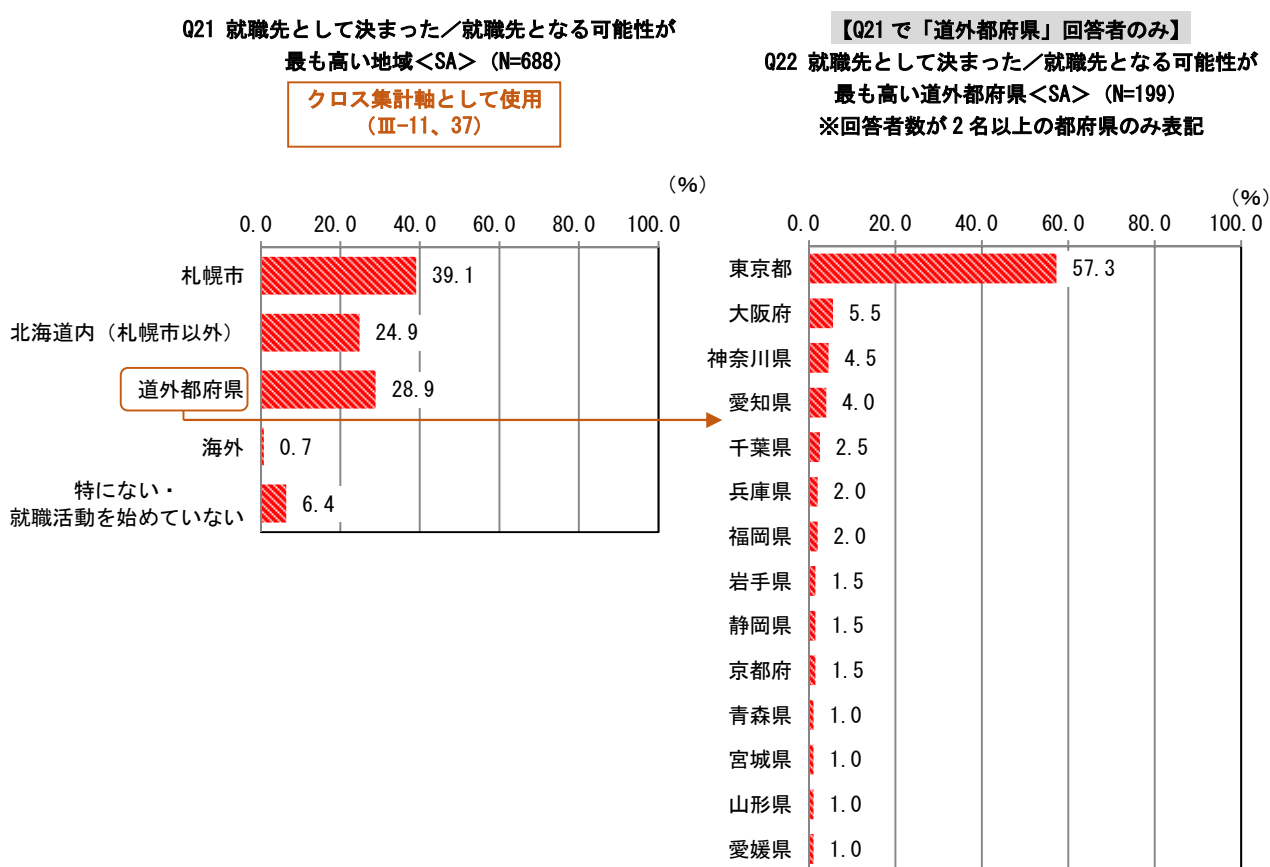
※九州大学調査：九州大学「平成 27 年度学生生活実態調査報告書」希望する勤務地<SA>（平成 27 年 10 月、集計対象は学部生・院生計 6,744 人）

<九州大学調査との比較>就活前に就職を希望していた（している）地域



(4) 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域

- 「Q21 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域」の集計結果については、Q9以降の設問のクロス集計軸として使用した（※クロス集計結果（表）は、結果に意味があると考えられるもののみを掲載している）。
- 「Q21 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域」として 39.1%が「札幌市」を挙げた。
- また、28.9%が「道外都府県」を挙げたが、「Q22 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い道外都府県」では、このうち 57.3%が「東京都」と回答した。これは第2位「大阪府」（5.5%）を引き離し、圧倒的に高い値となっている。



<クロス集計>

■出身地別の「Q19 就職を希望していた（している）地域」と、

「Q21 出身地×就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域」の比較

- 出身地別に道外への就職者を見ると、「札幌市」出身者の希望していた（している）地域として「道外」「道内・道外とも」の計は27.1%である一方、実際に「道外」に就職した（または可能性が最も高い）人は20.6%と、減少している。
- 同様に「北海道内」出身者については、「道外」への希望は計23.4%、実際に「道外」に就職する人は17.2%と、減少している。
- 一方「道外都府県」出身者については、「道外」希望者は計67.0%であるが、実際に「道外」に就職する人は70.8%と微増している。
- すなわち、道内出身者を総体的に見ると希望よりも道内就職が多くなる傾向にあり、道外出身者は希望よりも道外就職が多くなる傾向にあると言える。
- ただ、次頁でも述べるように、道内での就職を働きかける取組の対象者としては、就職を希望する地域として「道外」を挙げた人に加えて、「道内・道外とも」を挙げた人と設定することが必要だと考えられる。

<クロス集計>出身地別、Q19 就職を希望していた（している）地域<SA>

	N	道内	道内・道外とも	道外	海外のみ	特にな い
札幌市	306	67.3	15.0	12.1	-	5.6
北海道内 (札幌市以外)	244	67.6	11.9	11.5	-	9.0
道外都府県	130	13.1	20.8	46.2	-	20.0
海外	8	25.0	25.0	37.5	12.5	-



<クロス集計>出身地別、Q21 就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域<SA>

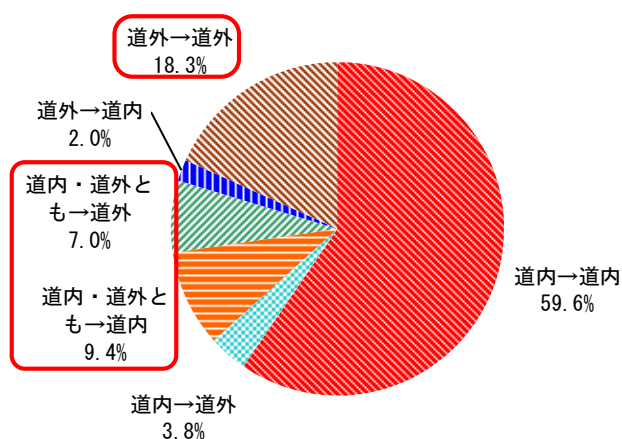
	N	市内・道内	道外	海外	特にな い・就 職活 動を 始 め て い な い
札幌市	306	72.9	20.6	0.3	6.2
北海道内 (札幌市以外)	244	76.2	17.2	0.4	6.1
道外都府県	130	21.5	70.8	-	7.7
海外	8	37.5	25.0	37.5	-

(5) 就職希望地域→就職決定(就職の可能性が高い)地域の推移

- Q19 と Q21 の集計結果を加工し、就職を希望していた地域と就職が決まった地域の変遷を示すと下図のようになる。この結果を集計軸として、回答者の文系・理系の別、Q13、Q15、Q17 について、クロス集計分析を行っている。
- 若者を道内に定着させるための取組のターゲットとなるのは、下図の「道外就職を希望→道外に流出」(18.3%)、「道内・道外とも希望→道内に定着」(9.4%)、「道内・道外とも希望→道外に流出」(7.0%)、「道内就職を希望→道外に流出」(3.8%) する人である
- このうち「道内を希望→道外に流出」する人は 3.8%と比較的少ないことから、取組の主ターゲットとすべきは「道外就職を希望→道外に流出」する人と、「道内・道外とも希望」する人であると考えられる。

Q19 就職希望地域 → Q21 就職決定地域の変遷
<SA> (N=586)

クロス集計軸として使用(Ⅲ-12、21、23、27)



<クロス集計>

■就職希望地域→就職決定地域の推移別、文系・理系の別

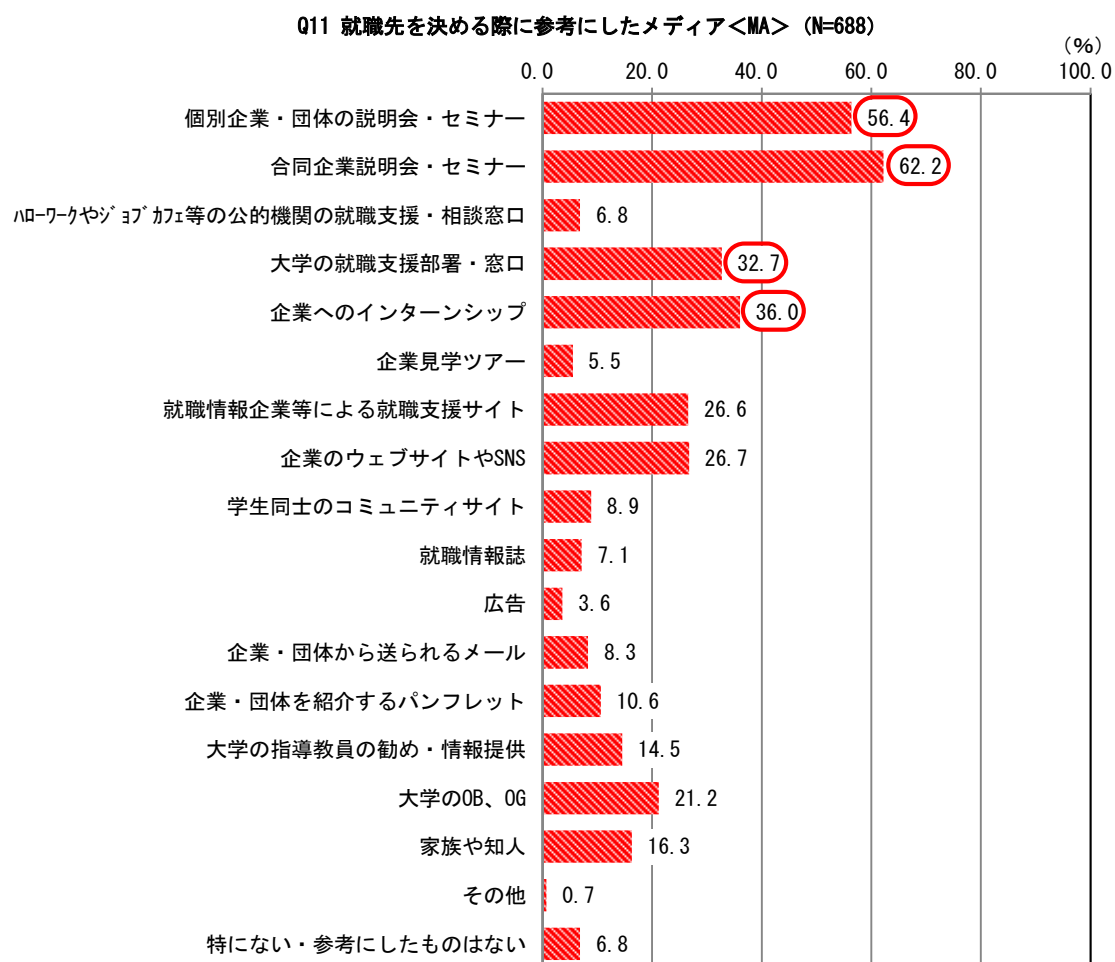
- 就職決定地域が「道外」の方(「道内→道外」「道内・道外とも→道外」「道外→道外」)について「文系」より「理系」の比率が高くなっている。

<クロス集計>就職希望地域→就職決定地域の推移別、
文系・理系の別<SA>

	N	文系	理系
全体	586	62.1	37.9
道内→道内	349	73.6	26.4
道内→道外	22	40.9	59.1
道内・道外とも→道内	55	74.5	25.5
道内・道外とも→道外	41	41.5	58.5
道外→道内	12	58.3	41.7
道外→道外	107	30.8	69.2

(6) 就職活動先を決める際に参考にしたメディア

- 「Q11 就職先を決める際に参考にしたメディア」として、「合同企業説明会・セミナー」(62.2%) が最も多く挙げられた。「個別企業・団体の説明会・セミナー」(56.4%) が僅差で次ぐ。以下、「企業へのインターンシップ」(36.0%)、「大学の就職支援部署・窓口」(32.7%) が3割を超えて挙げられている。
- 特に「企業へのインターンシップ」が3番めに多く挙げられていることが注目される。



その他

- 予備校 (2)
- 大学主催の公務員セミナー
- 政策会議
- 実習

<クロス集計結果>

■性別

- 上位4位まで、男性、女性が挙げるメディアの順番は同じであった。
- ただ、総じて男性よりも女性の方が多くの項目で男性よりも値が大きい。すなわち、男性よりも女性の方が様々なメディアを参考にしていることがわかる。

<クロス集計>性別、Q11 就職先を決める際に参考にしたメディア<MA>

	N	個別企業・団体の説明会・セミナー	合同企業説明会・セミナー	就職支援・相談窓口	カフェ等の公的機関の窓口	大学の就職支援部署・窓口	企業へのインターンシップ	企業見学ツアー	就職情報企業等による就職支援サイト	SNS企業のウェブサイトやSNS	学生同士のコミュニティサイト	就職情報誌	広告	企業・団体から送られるメール	企業・団体を紹介するパンフレット	大学の指導教員の勧め・情報提供	大学のOB、OG	家族や知人	その他	特にはない・参考にしたもの
男性	332	54.2	60.5	5.1	26.8	31.3	5.7	19.0	21.4	8.1	8.4	3.0	5.4	8.7	14.2	18.4	13.9	-	8.4	
女性	356	58.4	63.8	8.4	38.2	40.4	5.3	33.7	31.7	9.6	5.9	4.2	11.0	12.4	14.9	23.9	18.5	1.4	5.3	

※矢印は女性の方が値が大きい項目を示している。

■文系・理系の別

- 理系で文系よりも「大学の指導教員の勧め・情報提供」「大学のOB、OG」の値が10ポイント以上高い。

<クロス集計>文系・理系別、Q11 就職先を決める際に参考にしたメディア<MA>

	N	個別企業・団体の説明会・セミナー	合同企業説明会・セミナー	就職支援・相談窓口	カフェ等の公的機関の窓口	大学の就職支援部署・窓口	企業へのインターンシップ	企業見学ツアー	就職情報企業等による就職支援サイト	SNS企業のウェブサイトやSNS	学生同士のコミュニティサイト	就職情報誌	広告	企業・団体から送られるメール	企業・団体を紹介するパンフレット	大学の指導教員の勧め・情報提供	大学のOB、OG	家族や知人	その他	特にはない・参考にしたもの
文系	418	58.9	64.8	7.7	34.2	34.9	4.3	27.3	27.3	8.9	6.5	4.5	8.4	10.3	9.3	16.3	16.7	1.0	7.9	
理系	270	52.6	58.1	5.6	30.4	37.8	7.4	25.6	25.9	8.9	8.1	2.2	8.1	11.1	22.6	28.9	15.6	0.4	5.2	

■就職希望地別

- 「道外都府県」希望者については、「札幌市」「北海道内」希望者と比べて、「企業へのインターンシップ」「企業のウェブサイトやSNS」が10ポイント以上多く挙げられている。
- 「北海道内」希望者について、「道外都府県」希望者よりも「家族や知人」が10ポイント位上多く挙げられていることも注目される。

<クロス集計>就職希望地別、Q11 就職先を決める際に参考にしたメディア<MA>

	N	個別企業・団体の説明会・セミナー	合同企業説明会・セミナー	就職支援・相談窓口	カフェ等の公的機関の窓口	大学の就職支援部署・窓口	企業へのインターンシップ	企業見学ツアー	就職情報企業等による就職支援サイト	SNS企業のウェブサイトやSNS	学生同士のコミュニティサイト	就職情報誌	広告	企業・団体から送られるメール	企業・団体を紹介するパンフレット	大学の指導教員の勧め・情報提供	大学のOB、OG	家族や知人	その他	特にはない・参考にしたもの
札幌市	408	57.6	64.2	6.9	34.3	34.8	5.9	27.7	25.7	7.6	8.1	3.9	9.6	12.7	16.7	21.1	17.6	1.0	6.6	
北海道内(札幌市以外)	258	58.1	63.6	7.8	37.6	34.1	5.8	25.2	23.3	7.0	6.6	3.5	8.9	12.0	15.5	17.1	23.6	1.2	5.8	
道外都府県	231	62.3	64.5	7.4	32.9	46.8	8.7	32.5	37.7	14.3	8.7	4.8	9.1	13.4	11.3	26.0	10.4	0.9	3.9	
海外	15	53.3	33.3	-	33.3	33.3	20.0	26.7	26.7	13.3	6.7	-	13.3	13.3	20.0	13.3	13.3	-	13.3	
特にはない	65	53.8	66.2	4.6	32.3	32.3	4.6	30.8	35.4	6.2	9.2	3.1	12.3	6.2	9.2	24.6	12.3	-	7.7	

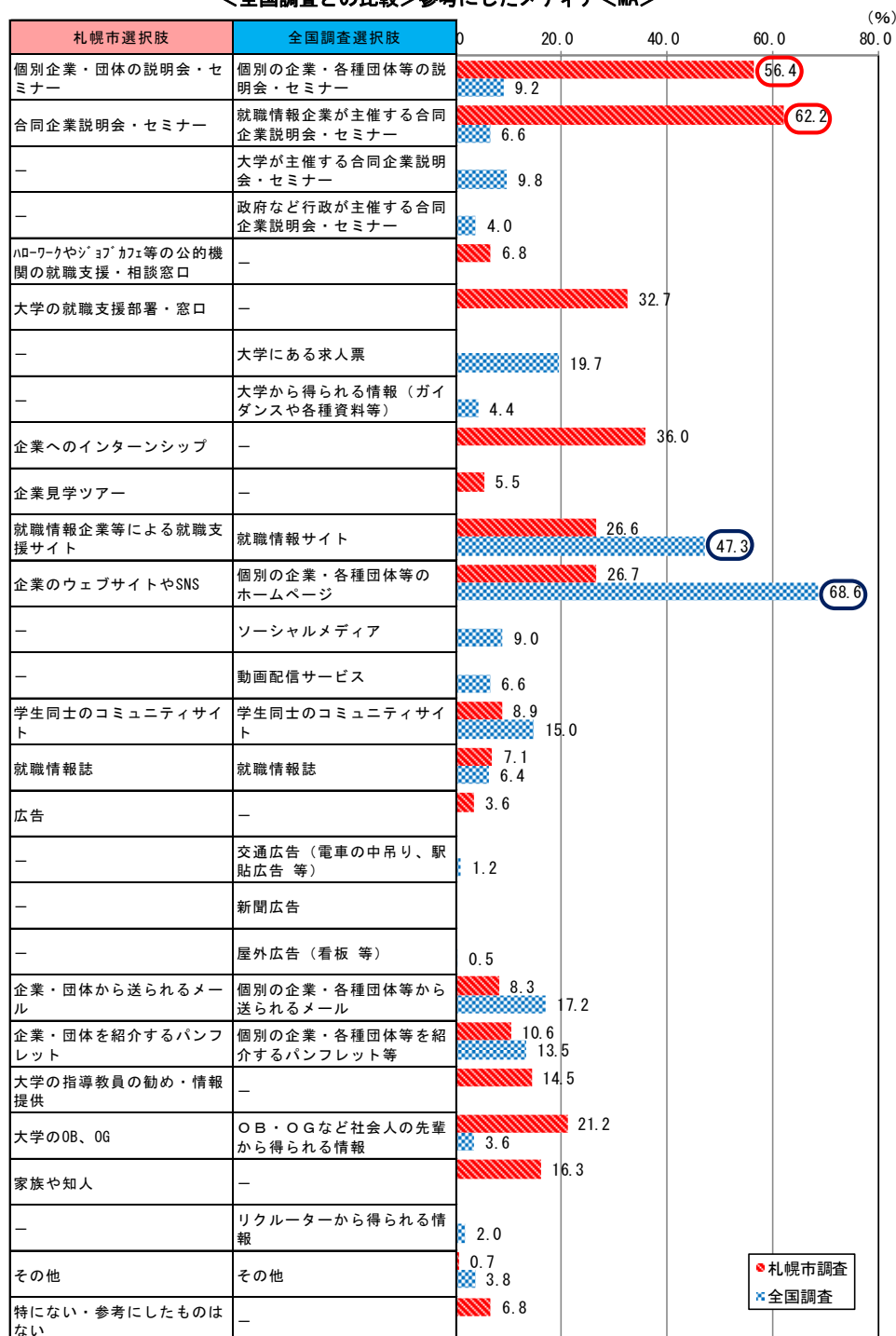
<全国調査※との比較>

○全国調査では、札幌市調査で3割以下にとどまっている「個別の企業・各種団体等のホームページ」「就職情報サイト」が1、2番めに多く挙げられている。逆に札幌市調査では、全国調査で2割以下である「合同企業説明会・セミナー」「個別企業・団体の説明会・セミナー」が1、2番めに多く挙げられている。

○ただ、この調査結果は、札幌市調査では「就職活動先の企業・団体を決める際に参考にしたメディア等」、全国調査では「参考にしたメディア等」を聞いたためである可能性が高い。

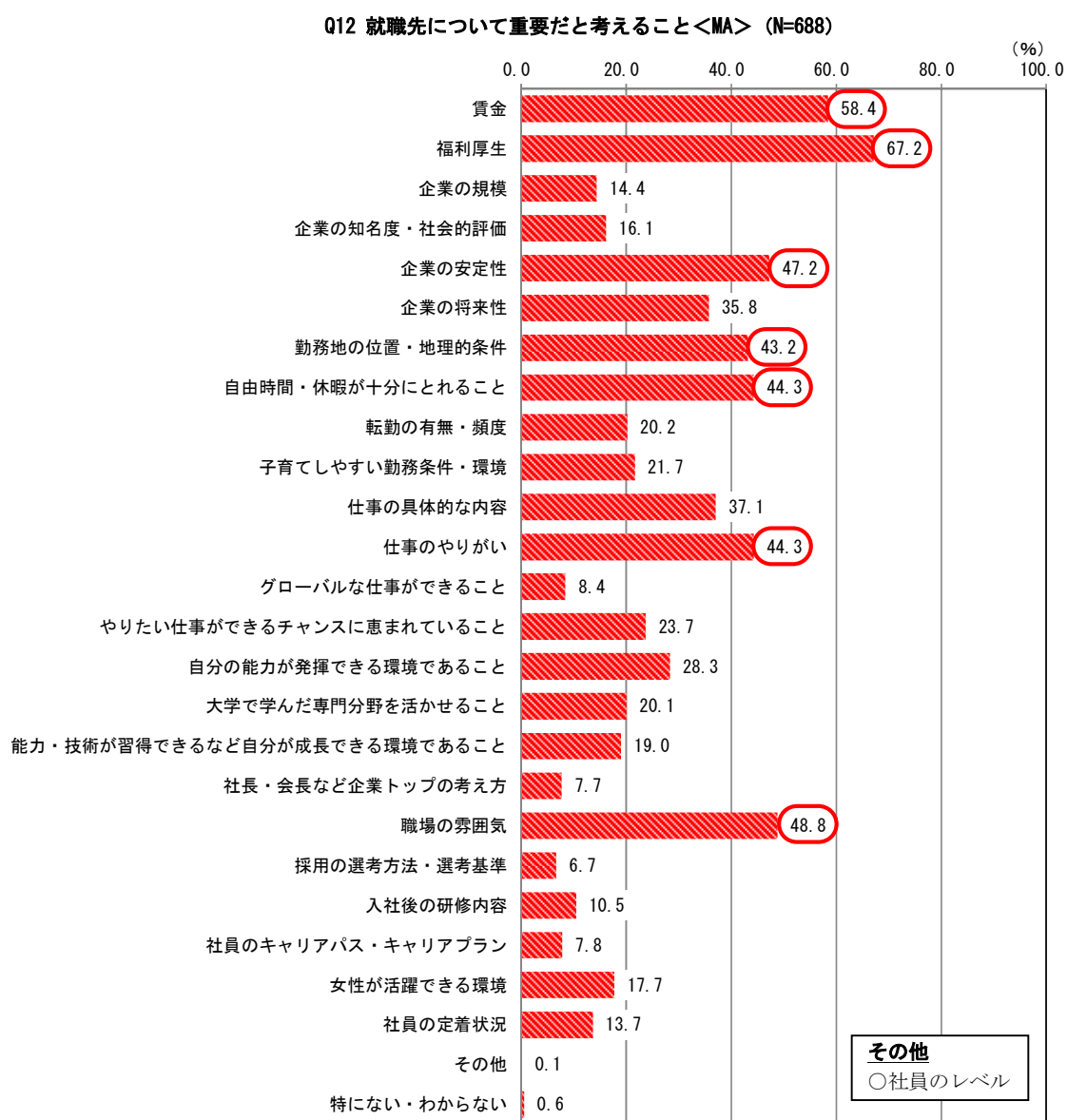
※全国調査：就職みらい研究所「就職プロセス調査 2019年卒 調査報告書」参考にしたメディア等<MA>（2018年12月、集計対象は大学生1,243人）

<全国調査との比較>参考にしたメディア<MA>



(7) 就職先について重要だと考えること

- 「福利厚生」(67.2%) が最も多く、「賃金」(58.4%) が次ぐ。
- 「職場の雰囲気」(48.8%)、「企業の安定性」(47.2%)、自由時間・休暇が十分にとれること」(44.3%)、「仕事のやりがい」(44.3%)、「勤務地の位置・地理的条件」(43.2%) についても 4 割以上が挙げている。
- 特に「職場の雰囲気」(48.8%) が 3 番目に挙げられていることが注目される。

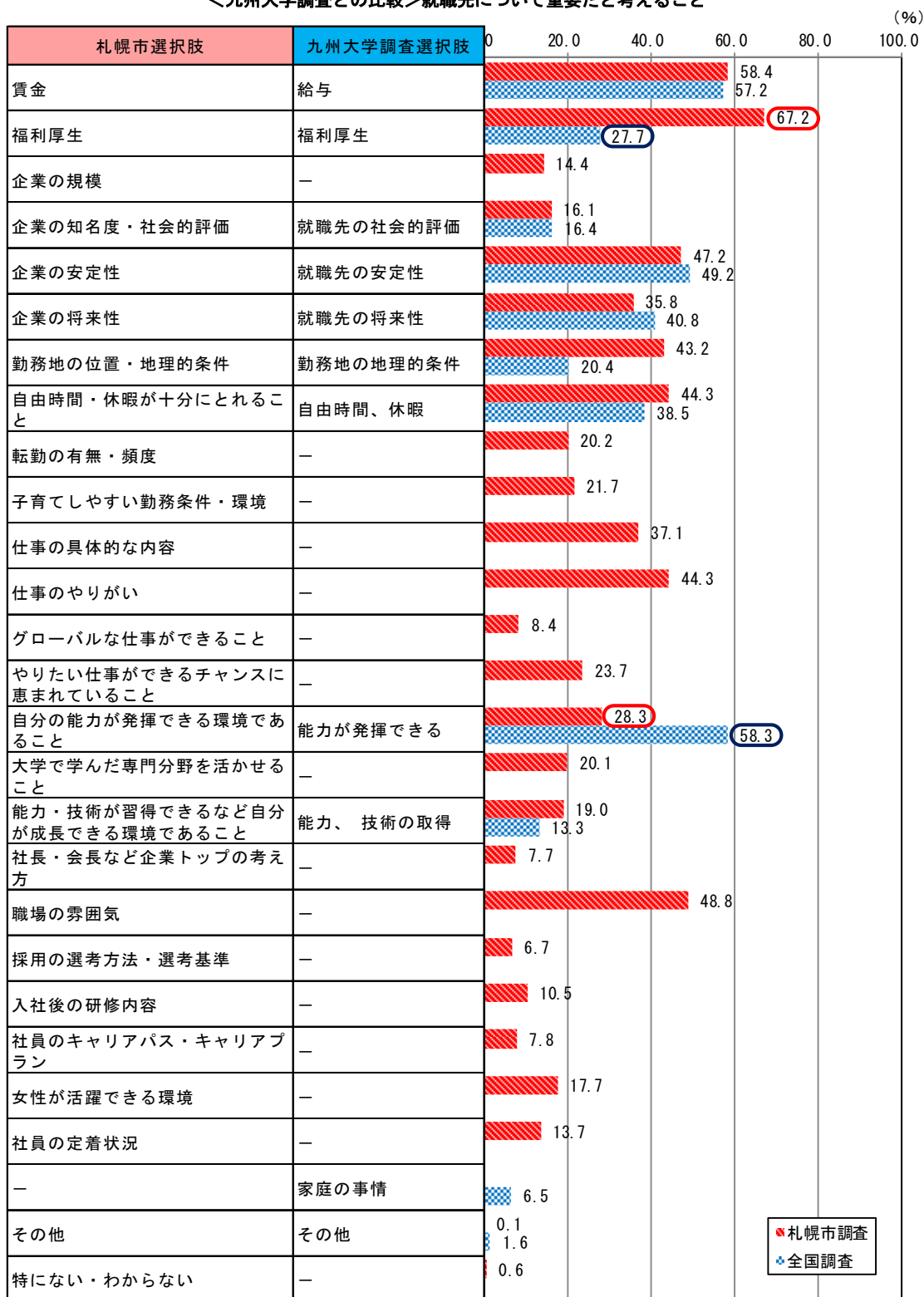


<九州大学調査※との比較>

○上位3位を見ると、九州大学では「能力が発揮できる」を約6割が挙げた一方、札幌市調査では「自分の能力が発揮できる環境であること」は3割未満にとどまっている。一方、札幌市調査では約7割が挙げた「福利厚生」は九州大学調査では3割未満であった。

※九州大学調査：九州大学「平成27年度学生生活実態調査報告書」将来の就職に関して重視するもの<MA>（平成27年10月、集計対象は学部生・院生計6,744人）

<九州大学調査との比較>就職先について重要だと考えること



<クロス集計結果>

■性別

- 女性については「職場の雰囲気」「勤務地の位置・地理的条件」「子育てしやすい勤務条件・環境」「女性が活躍できる環境」について男性よりも10ポイント以上高くなっている。
- 特に「職場の雰囲気」は女性の半数以上が挙げ、第3位となっている。「勤務地の位置・地理的条件」についても半数以上が、「子育てしやすい勤務条件・環境」「女性が活躍できる環境」は3割以上が挙げている。

<クロス集計>性別、Q12 就職先について重要だと考えること<MA>

	N	賃金	福利厚生	企業の規模	企業の知名度・社会的評価	企業の安定性	企業の将来性	勤務地の位置・地理的条件	自由時間・休暇が十分にとれること	転勤の有無・頻度	子育てしやすい勤務条件・環境	仕事の具体的な内容	仕事のやりがい	グローバルな仕事ができること
男性	332	57.2	64.8	18.1	16.3	45.8	36.4	32.8	41.0	17.5	9.0	34.3	43.1	10.2
女性	356	59.6	69.4	11.0	16.0	48.6	35.1	52.8	47.5	22.8	33.4	39.6	45.5	6.7

	N	やるべきことに恵まれていること	自分の能力が発揮できる環境であること	大学で学んだ専門分野を活かせること	能力・技術が習得できる環境であること	社長・会長など企業トップの考え方	職場の雰囲気	採用の選考方法・選考基準	入社後の研修内容	社員のキャリアパス・キャリアアップ	女性が活躍できる環境	社員の定着状況	その他	特にない・わからない
男性	332	24.1	28.6	17.5	19.0	8.4	40.4	5.4	9.0	8.4	3.0	12.3	0.3	1.2
女性	356	23.3	28.1	22.5	19.1	7.0	56.7	7.9	11.8	7.3	31.5	14.9	-	-

■文系・理系の別

- 理系で「職場の雰囲気」「大学で学んだ専門分野を活かせること」「能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること」の値が文系よりも10ポイント以上高くなっている。
- 特に「職場の雰囲気」は理系の半数以上が挙げている。

<クロス集計>文系・理系別、Q12 就職先について重要だと考えること<MA>

	N	賃金	福利厚生	企業の規模	企業の知名度・社会的評価	企業の安定性	企業の将来性	勤務地の位置・地理的条件	自由時間・休暇が十分にとれること	転勤の有無・頻度	子育てしやすい勤務条件・環境	仕事の具体的な内容	仕事のやりがい	グローバルな仕事ができること
文系	418	56.2	66.7	12.9	14.1	49.5	33.0	43.8	45.0	23.0	21.8	34.9	45.2	5.7
理系	270	61.9	67.8	16.7	19.3	43.7	40.0	42.2	43.3	15.9	21.5	40.4	43.0	12.6

	N	やるべきことに恵まれていること	自分の能力が発揮できる環境であること	大学で学んだ専門分野を活かせること	能力・技術が習得できる環境であること	社長・会長など企業トップの考え方	職場の雰囲気	採用の選考方法・選考基準	入社後の研修内容	社員のキャリアパス・キャリアアップ	女性が活躍できる環境	社員の定着状況	その他	特にない・わからない
文系	418	21.1	26.8	14.4	13.2	6.0	44.3	6.2	9.8	5.7	17.7	14.6	-	0.7
理系	270	27.8	30.7	28.9	28.1	10.4	55.9	7.4	11.5	11.1	17.8	12.2	0.4	0.4

■就職希望地別

- 「道外都府県」と「北海道内」希望者を比較すると、「企業の将来性」について「北海道内」希望者よりも約 20 ポイント高い値が示されていることが特筆される。
- また「賃金」「企業の知名度・社会的評価」については 10 ポイント以上、「職場の雰囲気」「やりたい仕事ができるチャンスに恵まれていること」「能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること」「企業の規模」「グローバルな仕事ができること」「社員のキャリアパス・キャリアプラン」については 5 ポイント以上「北海道内」希望者よりも高くなっている。

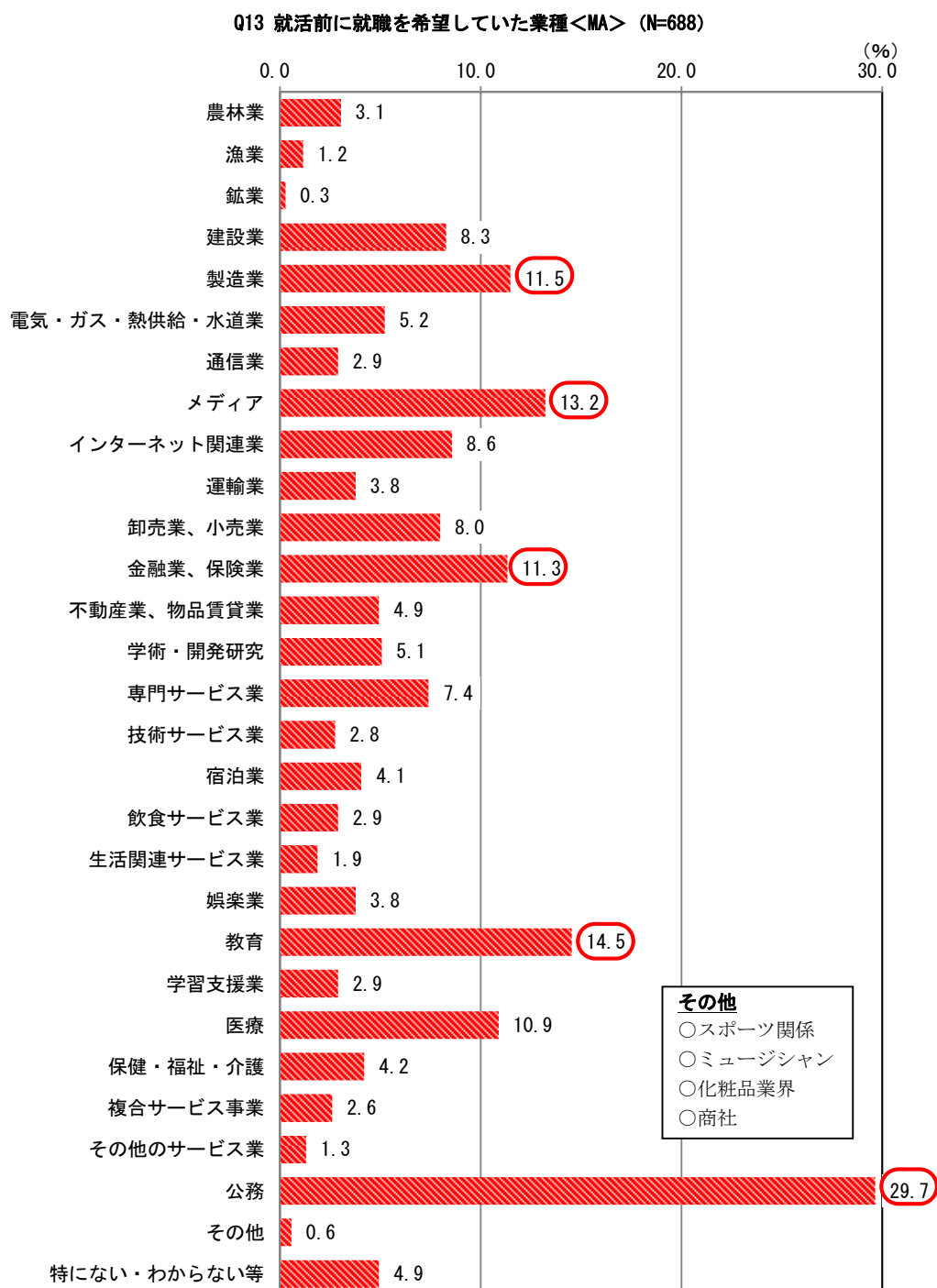
＜クロス集計＞就職希望地別、Q12 就職先について重要だと考えること＜MA＞

	N	賃金	福利厚生	企業の規模	企業の知名度・社会的評価	企業の安定性	企業の将来性	勤務地の位置・地理的条件	自由時間・休暇が十分にとれること	転勤の有無・頻度	子育てしやすい勤務条件・環境	仕事の具体的な内容	仕事のやりがい	グローバルな仕事ができること
札幌市	408	59.3	71.3	12.0	16.2	48.8	33.1	51.5	50.0	26.0	23.8	39.5	42.6	6.4
北海道内 (札幌市以外)	258	54.3	69.8	12.0	12.0	50.8	29.1	43.4	51.9	20.2	21.3	41.1	42.2	5.0
道外都府県	231	65.4	68.4	21.2	24.2	44.6	48.9	43.3	44.2	15.6	18.2	41.1	46.8	14.7
海外	15	73.3	40.0	33.3	26.7	13.3	40.0	46.7	40.0	13.3	6.7	33.3	26.7	66.7
特になし	65	60.0	64.6	20.0	13.8	46.2	44.6	21.5	38.5	15.4	16.9	40.0	50.8	10.8

	N	やりたい仕事に恵まれていること	自分の能力が発揮できる環境であること	大学で学んだ専門分野を活かせること	環境で自分が成長できること	能力・技術が習得できること	社長・会長など企業トップの考え方	職場の雰囲気	採用の選考方法・選考基準	入社後の研修内容	社員のキャリアパス・キャリアプラン	女性が活躍できる環境	社員の定着状況	その他	特になし・わからない
札幌市	408	23.5	26.5	18.6	17.4	7.1	49.8	7.6	11.3	8.6	18.4	15.0	-	-	
北海道内 (札幌市以外)	258	22.1	30.2	20.9	16.3	5.4	47.7	5.0	9.7	6.2	15.9	13.2	-	1.2	
道外都府県	231	29.4	30.3	24.2	24.7	8.7	55.4	6.9	13.4	12.1	19.0	12.6	0.4	-	
海外	15	33.3	26.7	26.7	26.7	-	40.0	-	-	-	6.7	6.7	-	-	
特になし	65	33.8	36.9	18.5	27.7	12.3	55.4	6.2	9.2	9.2	16.9	12.3	-	1.5	

(8) 就職を希望していた業種

- 「公務」(29.7%) が最も多く挙げられた。
- 「教育」(14.5%) が 2 番めに多く挙げられたが、これは北海道教育大学の学生が多く挙げたためである。また、「医療」(10.9%) が多く挙げられたのは、札幌医療大学の学生が多く挙げたためである。
- 上記以外では「メディア」(13.2%)、「製造業」(11.5%)、「金融業、保険業」(11.3%) が 1 割以上挙げられた。



<クロス集計>

■就職希望地域→就職決定地域の推移別

- 「道内・道外とも→道外」「道外→道内」「道外→道外」者において「製造業」が1、2番めに多く挙げられていること、「道内・道外とも→道外」「道外→道外」者にて「インターネット関連業」が2番めに多く挙げられている。
- 「製造業」「インターネット関連業」への就職が道外への流出の要因の一つであると考えられる。

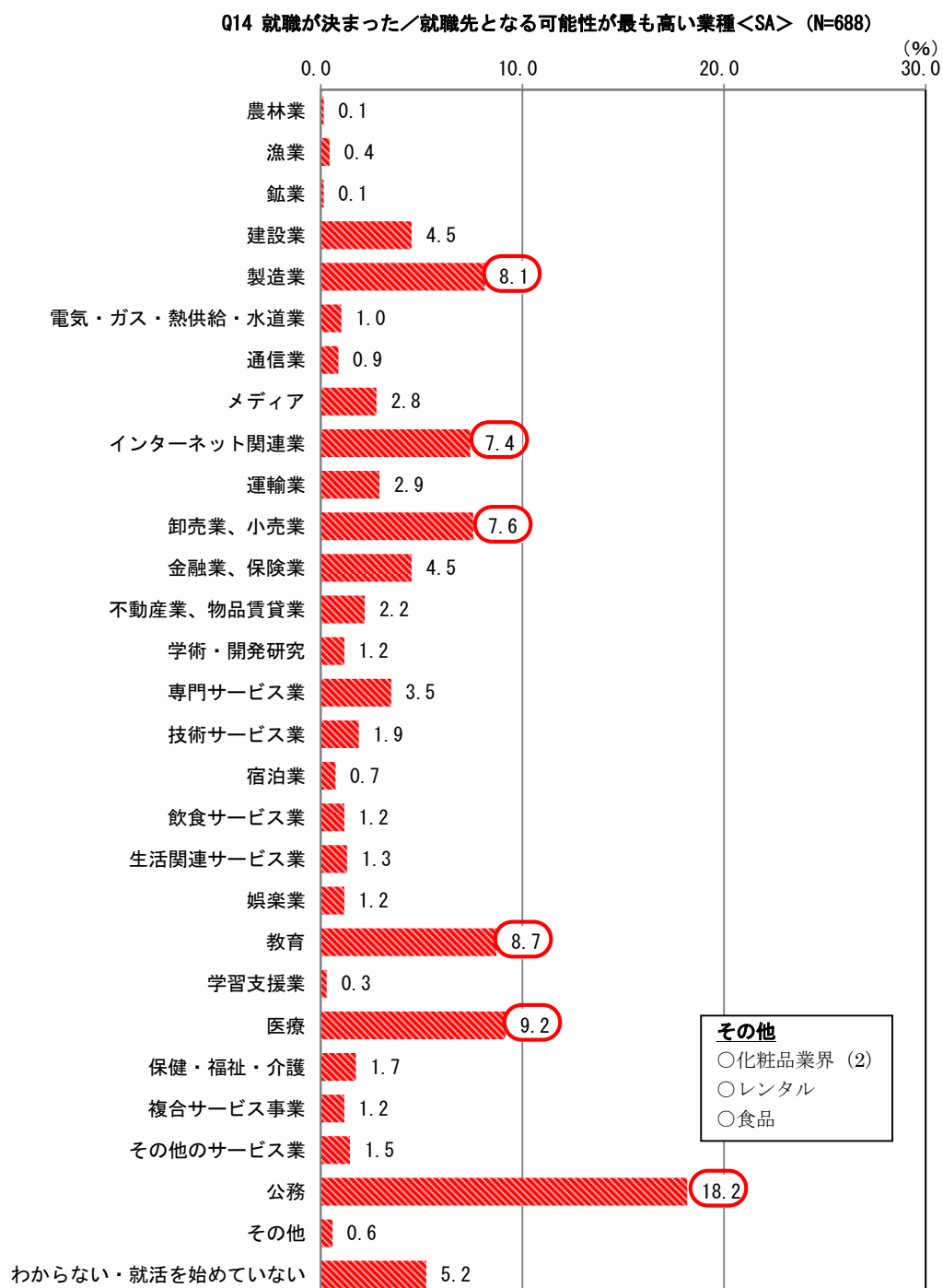
<クロス集計>就職希望地域→就職決定地域の推移別、
Q13 就活前に就職を希望していた業種<MA>

	N	農 林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給	通 信 業	メ デ ィ ア	イ ン タ ー ネ ッ ト 関 連 業	運 輸 業	卸 売 業 、 小 売 業	金 融 業 、 保 険 業	不 動 産 業 、 物 品 賃 貸 業	学 術 ・ 開 発 研 究	専 門 サ ー ビ ス 業
全体	586	3.2	1.2	0.2	7.0	9.9	5.1	2.2	13.3	8.9	3.6	8.0	12.3	4.6	4.3	7.0	
道内→道内	349	2.3	1.1	0.3	6.0	3.2	4.3	0.3	11.2	4.3	2.3	8.9	12.3	4.6	1.4	4.0	
道内→道外	22	4.5	-	-	13.6	13.6	-	-	36.4	13.6	-	13.6	-	-	-	4.5	
道内・道外とも→道内	55	5.5	-	-	5.5	7.3	5.5	-	27.3	16.4	3.6	10.9	21.8	3.6	1.8	7.3	
道内・道外とも→道外	41	4.9	2.4	-	14.6	19.5	9.8	14.6	12.2	19.5	9.8	2.4	9.8	7.3	14.6	17.1	
道外→道内	12	-	-	-	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	-	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	
道外→道外	107	4.7	1.9	-	6.5	28.0	6.5	4.7	9.3	15.0	6.5	4.7	10.3	4.7	11.2	13.1	

	N	技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業	飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	娯 楽 業	教 育	学 習 支 援 業	医 療	保 健 ・ 福 祉 ・ 介 護	複 合 サ ー ビ ス 事 業	そ の 他 の サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	特 に な い ・ わ か ら な い
全体	586	2.4	3.9	3.1	1.7	3.4	14.2	2.4	12.1	4.4	2.6	1.4	30.9	0.5	3.6
道内→道内	349	2.3	5.4	3.2	1.4	3.4	18.6	3.2	11.7	5.4	3.7	1.7	37.5	-	4.9
道内→道外	22	-	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-	9.1	-	-	-	22.7	-	4.5
道内・道外とも→道内	55	1.8	5.5	5.5	3.6	7.3	10.9	1.8	12.7	9.1	-	1.8	34.5	-	1.8
道内・道外とも→道外	41	7.3	-	2.4	4.9	-	12.2	2.4	14.6	2.4	2.4	2.4	24.4	-	2.4
道外→道内	12	-	-	-	-	-	8.3	-	16.7	-	8.3	-	16.7	-	-
道外→道外	107	1.9	-	1.9	0.9	2.8	4.7	0.9	12.1	0.9	-	-	13.1	2.8	0.9

(9) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い業種

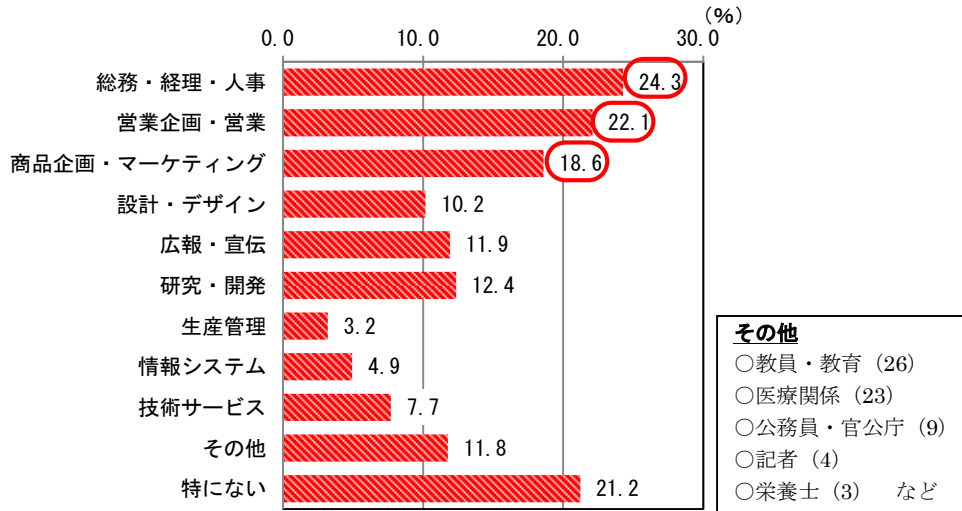
- 「Q13 就活前に就職を希望していた業種」と同様、「公務」(18.2%) が最も多かった。
- 以下、5%以上挙げられたのは「医療」(9.2%)、「教育」(8.7%)、「製造業」(8.1%)、「卸売業、小売業」(7.6%)、インターネット関連業(7.4%)であった。
- なお、「医療」(9.2%)、「教育」(8.7%) が多く挙げられているのは、前問と同様の理由である。



(10) 就職を希望していた職種

- 「総務・経理・人事」(24.3%)、「営業企画・営業」(22.1%)、「商品企画・マーケティング」(18.6%)の順で多く挙げられた。

Q15 就活前に就職を希望していた職種<MA> (N=688)



<クロス集計>

■就職希望地域→就職決定地域の推移別

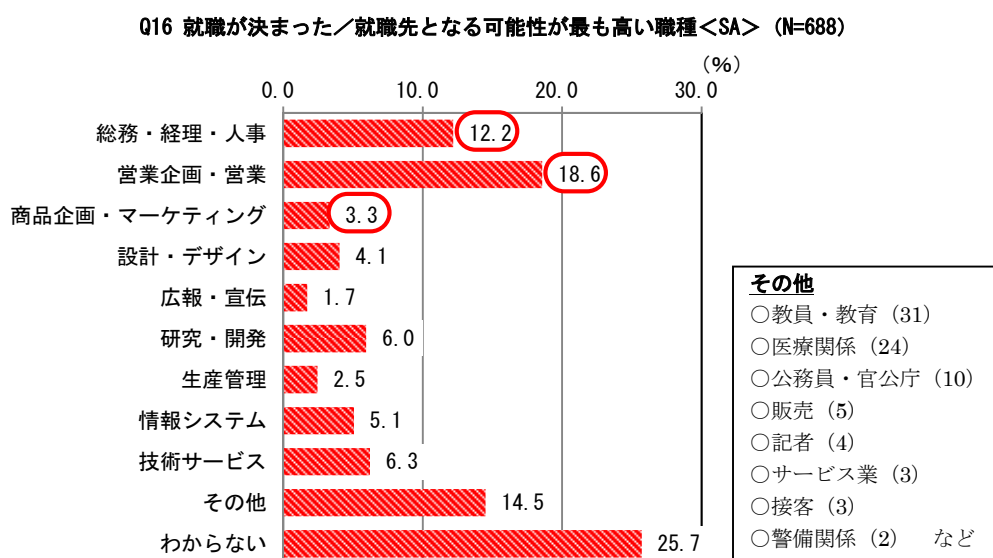
- 「道内・道外とも→道外」「道外→道外」者において「研究・開発」が1、2番めに多く挙げられている。

<クロス集計>就職希望地域→就職決定地域の推移別、
Q15 就活前に就職を希望していた職種<MA>

	N	総務・経理・人事	営業企画・営業	商品企画・マーケティング	設計・デザイン	広報・宣伝	研究・開発	生産管理	情報システム	技術サービス	その他	特にない
全体	586	24.9	22.7	17.1	8.7	11.8	10.6	2.4	5.3	7.5	12.8	20.6
道内→道内	349	30.1	20.1	13.5	6.9	11.7	5.2	1.7	3.2	6.6	13.8	24.4
道内→道外	22	22.7	4.5	22.7	27.3	18.2	9.1	-	-	-	13.6	18.2
道内・道外とも→道内	55	29.1	30.9	25.5	3.6	20.0	7.3	1.8	10.9	7.3	18.2	14.5
道内・道外とも→道外	41	17.1	26.8	14.6	9.8	4.9	19.5	4.9	14.6	12.2	9.8	19.5
道外→道内	12	8.3	41.7	16.7	-	8.3	8.3	-	-	25.0	8.3	8.3
道外→道外	107	11.2	27.1	24.3	14.0	9.3	27.1	4.7	7.5	8.4	8.4	14.0

(11) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い職種

- 「営業企画・営業」(18.6%) が最も多く、「総務・経理・人事」(12.2%) が次ぐ結果となった。
- 前問の「就職を希望していた職種」と比較すると「商品企画・マーケティング」の減少が著しい。特に「商品企画・マーケティング」希望者において、希望と実際のギャップが生じている。

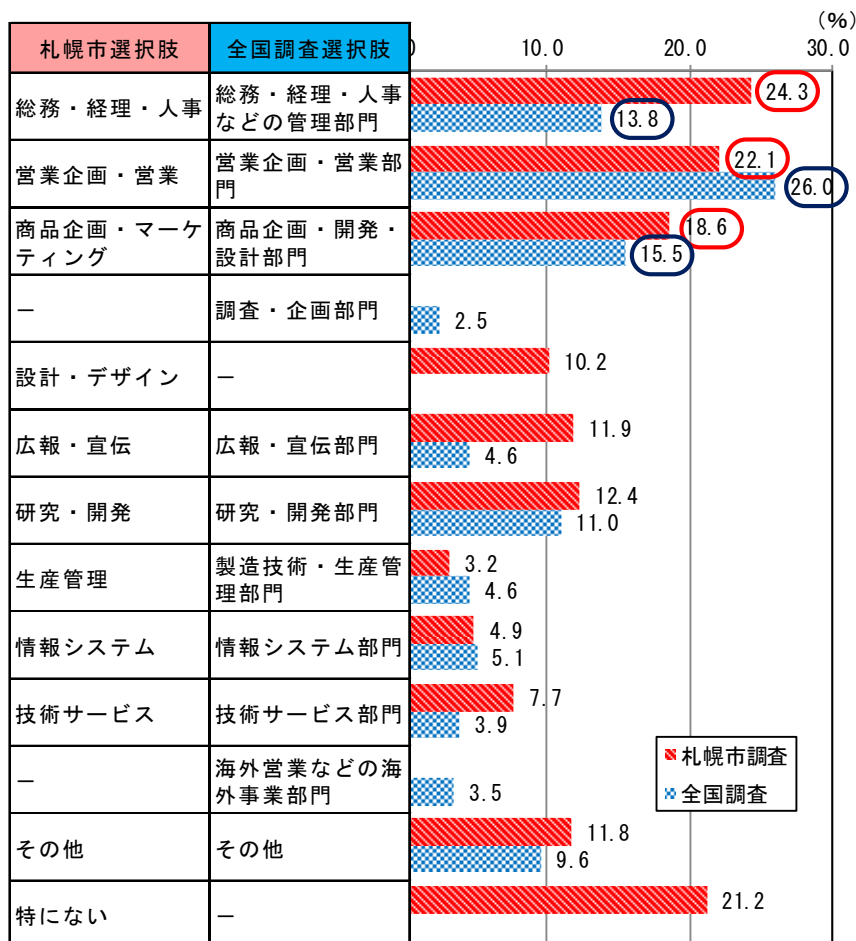


<就職を希望していた職種～全国調査※との比較>

○上位3位には同じ職種が挙げられたが、全国では3位だった「総務・経理・人事などの管理部門（総務・経理・人事）」が札幌市では最も多く挙げられている。

※全国調査：(株)マイナビ「2019年卒マイナビ大学生就職意識調査」現時点での志望職種は何ですか<SA>（2018年4月、集計対象は大学生15,894人）

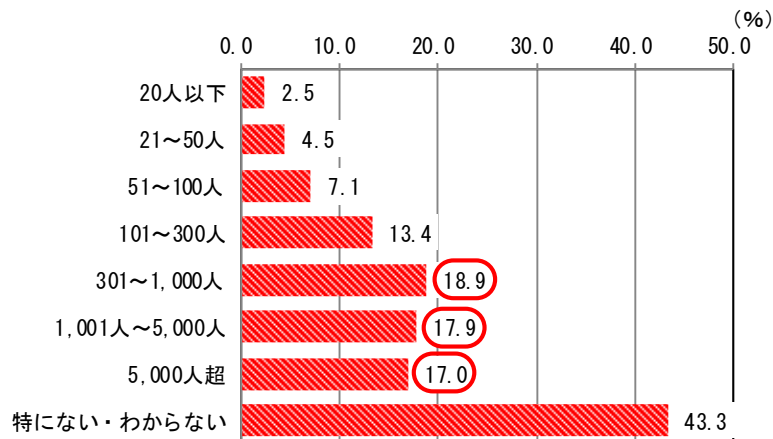
<全国調査との比較>就活前に就職を希望していた職種



(12) 就職を希望していた企業規模

- 「301～1,000人」(18.9%)が最も多く挙げられた。以降「1,001人～5,000人」(17.9%)、「5,000人超」(17.0%)の順で多く挙げられている。

Q17 就活前に就職を希望していた企業規模<MA> (N=688)

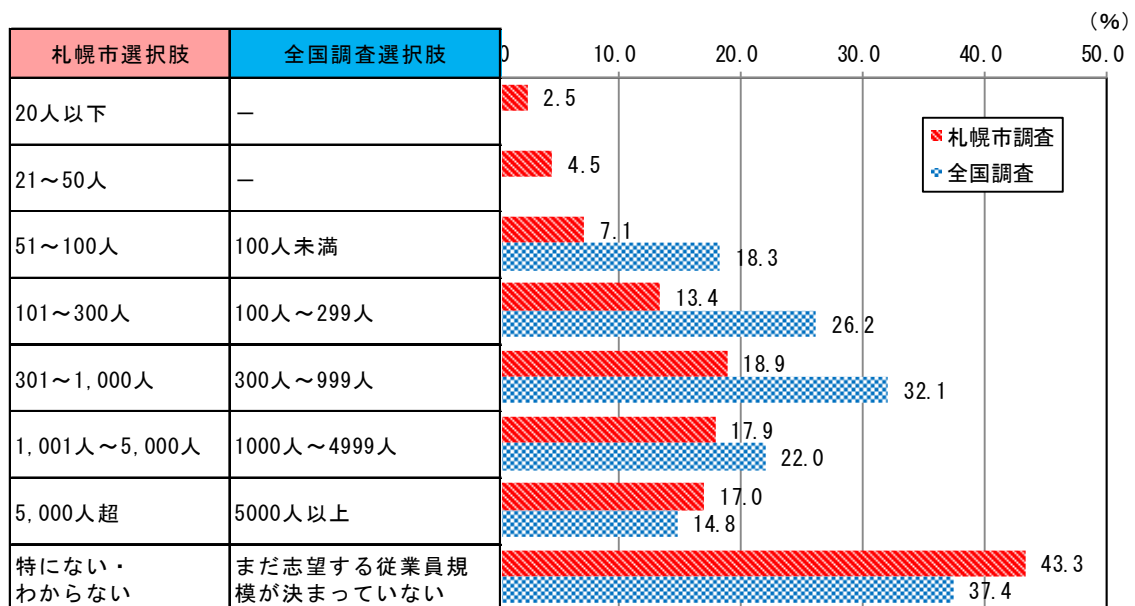


<全国調査※との比較>

- 全国調査においても「300人～999人(301～1,000人)」が最も多くなっており、札幌市の調査結果は全国調査と概ね同様の傾向を示していると言える。
- 一方で、札幌市では全国調査結果と比較して「5,000人超」以外で割合が下回っているが、これは札幌市の学生は全国と比較して企業規模による希望の幅が狭いことを意味していると考えられる。

※全国調査：就職みらい研究所「就職プロセス調査 2019年卒 調査報告書」働くことを志望する従業員規模<MA> (2018年12月、集計対象は大学生1,243人)

<全国調査との比較>就活前に就職を希望していた企業規模



<クロス集計>

■就職希望地域→就職決定地域の推移別

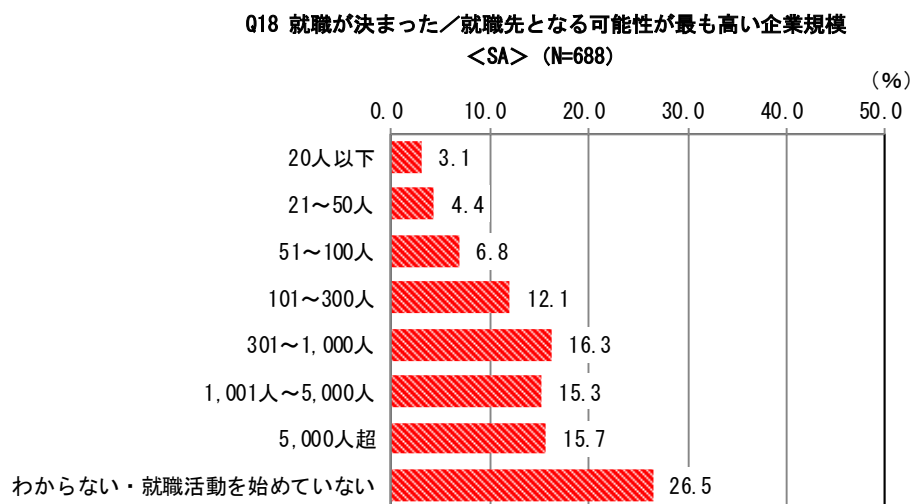
- 「道内・道外とも→道外」「道外→道内」「道外→道外」者において「5,000人超」「1,001人～5,000人」が1、2番めに多く挙げられている。
- 道外就職希望者・決定者は比較的大企業志向であると言える。

<クロス集計>就職希望地域→就職決定地域の推移別、
Q17 就活前に就職を希望していた企業規模<MA>

	N	20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301～500人	501～1,000人	1,001人超	特にない・わからない
全体	586	2.7	4.6	7.5	13.8	19.5	18.3	16.4	41.3
道内→道内	349	4.0	5.2	8.0	15.5	16.3	11.2	7.7	48.4
道内→道外	22	-	4.5	-	4.5	27.3	31.8	13.6	40.9
道内・道外とも→道内	55	3.6	7.3	10.9	21.8	25.5	20.0	14.5	43.6
道内・道外とも→道外	41	-	2.4	4.9	12.2	24.4	36.6	31.7	29.3
道外→道内	12	-	-	-	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7
道外→道外	107	-	2.8	7.5	6.5	23.4	30.8	38.3	24.3

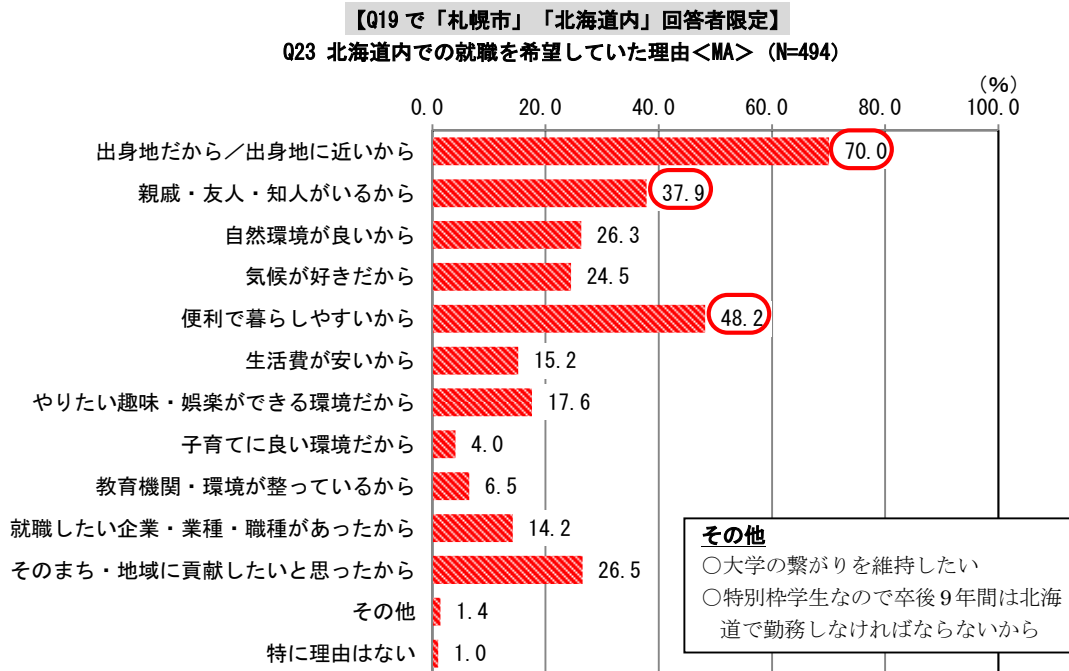
(13) 就職が決まった／就職先となる可能性が最も高い企業規模

○「Q17 就活前に就職を希望していた企業規模」と同様、「301～1,000人」(16.3%)、「1,001人～5,000人」(15.3%)、「5,000人超」(15.7%)の順となった。



(14) 北海道内での就職を希望していた理由

- 「出身地だから／出身地に近いから」(70.0%) が最も多く挙げられた。以下、「便利で暮らしやすいから」(48.2%)、「親戚・友人・知人がいるから」(37.9%) が多く挙げられている。



<クロス集計>

■出身地別

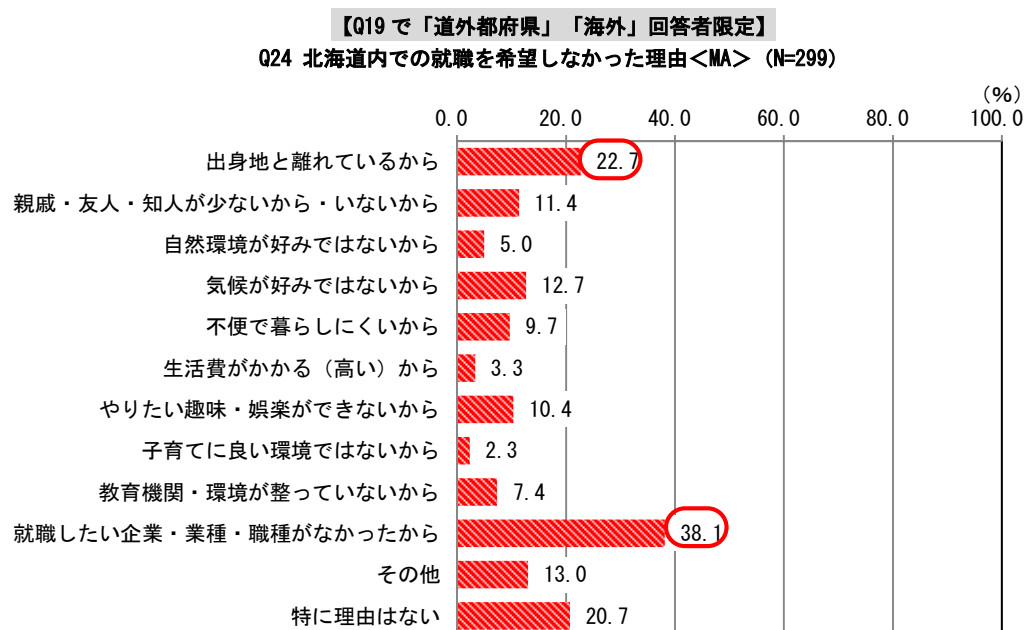
- 「道外都府県」出身者の回答を見ると、「便利で暮らしやすいから」が最も多く挙げられ、以下「やりたい趣味・娯楽ができる環境だから」「自然環境が良いから」と続く結果となった。いずれも約5割～5割以上の方が挙げているほか、「札幌市」「北海道内」出身者よりも10ポイント以上高い値となっている。
- また、3、4番めに多く挙げられている「気候が好きだから」「生活費が安いから」についても「札幌市」「北海道内」出身者と比較して10ポイント以上高い。

<クロス集計>出身地別、Q23 北海道内での就職を希望していた理由<MA>

	N	出身地だから／出身地に近いから	親戚・友人・知人がいるから	自然環境が良いから	気候が好きだから	便利で暮らしやすいから	生活費が安いから	やりたい趣味・娯楽ができる環境だから	子育てに良い環境だから	教育機関・環境が整っているから	就職したい企業・業種・職種があったから	そのまち・地域に貢献したいと思ったから	その他	特に理由はない
札幌市	252	82.5	41.3	24.2	23.0	48.0	16.3	17.9	5.2	5.6	14.3	31.3	1.6	1.2
北海道内 (札幌市以外)	194	69.6	37.6	22.7	21.6	44.8	9.3	11.3	2.6	7.2	13.4	21.1	1.0	0.5
道外都府県	44	6.8	20.5	50.0	40.9	59.1	34.1	45.5	4.5	9.1	15.9	22.7	2.3	2.3
海外	4	-	25.0	75.0	75.0	100.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-

(15) 北海道内での就職を希望しなかった理由

○「就職したい企業・業種・職種がなかったから」(38.1%)が最も多く挙げられた。「出身地と離れているから」(22.7%)が次ぐ。



その他

- 道外・他の場所に行きたかった・住みたかった・働きたかったから (10)
- 一人暮らし・親から離れた暮らしをしたかったから (4)
- 多くの経験を積みたかったら (4)
- 賃金が低いから (2)
- 志望の企業が道外にあるから (2)
- 地域の発展が見通せないから (2) など

<クロス集計>

■性別

- 男性については、女性と比較して「就職したい企業・業種・職種がなかったから」「教育機関・環境が整っていないから」の回答率が5ポイント以上高くなっている。
- 女性については、男性と比較して「出身地と離れているから」「親戚・友人・知人が少ないから・いないから」「気候が好みではないから」の値が5ポイント以上高くなっている。

<クロス集計>性別、Q24 北海道内での就職を希望しなかった理由<MA>

	N	出身地と離れているから	親戚・友人・知人が少ないから	自然環境が好みではないから	気候が好みではないから	不便で暮らしにくいから	生活費がかかる(高い)から	やりたい趣味・娯楽ができないから	子育てに良い環境ではないから	教育機関・環境が整っていないから	就職したい企業・業種がなかったから	その他	特に理由はない
男性	142	16.2	6.3	4.2	9.2	11.3	1.4	8.5	2.1	11.3	47.2	13.4	21.1
女性	157	28.7	15.9	5.7	15.9	8.3	5.1	12.1	2.5	3.8	29.9	12.7	20.4

■文系・理系の別

- 理系を見ると、特に「就職したい企業・業種・職種がなかったから」が文系と比較して26.0ポイント高いことが特筆される。

<クロス集計>文系・理系別、Q24 北海道内での就職を希望しなかった理由<MA>

	N	出身地と離れているから	親戚・友人・知人が少ないから	自然環境が好みではないから	気候が好みではないから	不便で暮らしにくいから	生活費がかかる(高い)から	やりたい趣味・娯楽ができないから	子育てに良い環境ではないから	教育機関・環境が整っていないから	就職したい企業・業種がなかったから	その他	特に理由はない
文系	140	22.9	7.9	3.6	8.6	8.6	5.7	12.1	1.4	5.7	24.3	13.6	26.4
理系	159	22.6	14.5	6.3	16.4	10.7	1.3	8.8	3.1	8.8	50.3	12.6	15.7

■出身地の別

- 「札幌市」出身者については「就職したい企業・業種・職種がなかったから」が最も多く挙げられている。
- 「道外都府県」出身者では、「出身地と離れているから」「就職したい企業・業種・職種がなかったから」「親戚・友人・知人が少ないから・いないから」の順で多く挙げられた。

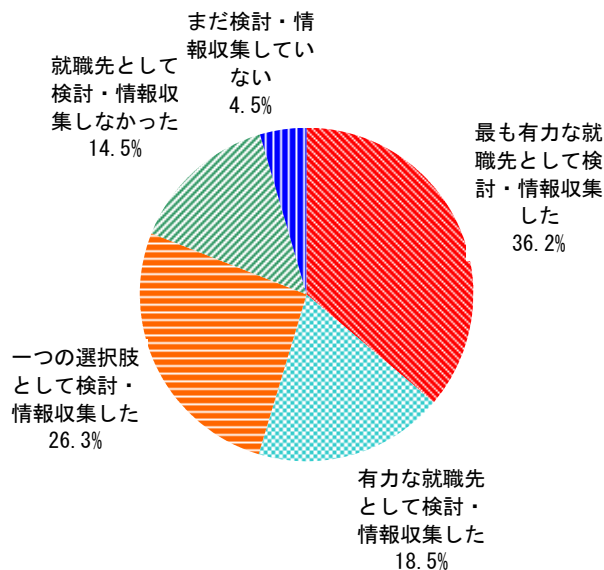
<クロス集計>出身地別、Q24 北海道内での就職を希望しなかった理由<MA>

	N	出身地と離れているから	親戚・友人・知人が少ないから	自然環境が好みではないから	気候が好みではないから	不便で暮らしにくいから	生活費がかかる(高い)から	やりたい趣味・娯楽ができないから	子育てに良い環境ではないから	教育機関・環境が整っていないから	就職したい企業・業種がなかったから	その他	特に理由はない
札幌市	101	9.9	5.9	3.0	10.9	9.9	4.0	13.9	1.0	6.9	43.6	17.8	21.8
北海道内(札幌市以外)	79	6.3	3.8	3.8	10.1	10.1	7.6	11.4	1.3	10.1	27.8	19.0	29.1
道外都府県	113	43.4	20.4	8.0	16.8	9.7	-	5.3	4.4	6.2	40.7	4.4	15.0
海外	6	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	16.7	-

(16) 道内企業を就職先として検討・情報収集したか

- 「最も有力な就職先として検討・情報収集した」を4割近くの方(36.2%)が挙げた。
- 「有力な就職先として検討・情報収集した」(18.5%)、「一つの選択肢として検討・情報収集した」(26.3%)と合わせて、81.0%が「就職先として検討・情報収集した」と回答している。この結果からも札幌市内学生の道内志向は高いと言える。

Q25 道内企業を就職先として検討・情報収集したか<SA> (N=688)



<クロス集計>

■出身地別

- 「道外都府県」出身者についても、計69.2%が道内企業について「検討・情報収集した」と回答しており、「検討・情報収集しなかった」人は24.6%にとどまっている。道外都府県出身者についても道内志向は高いのではないかと思われる。

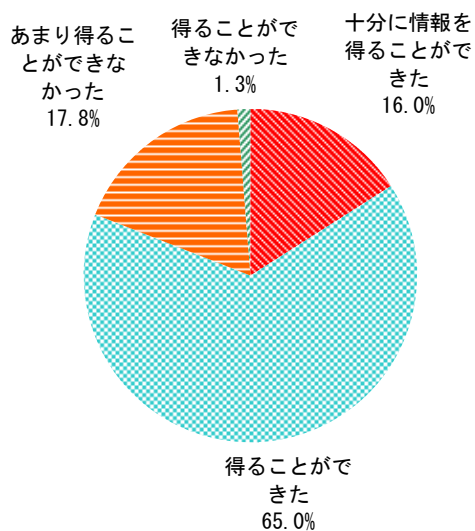
<クロス集計>出身地別、Q25 道内企業を就職先として検討・情報収集したか<SA>

	N	最も有力な就職先として検討・情報収集した	有力な就職先として検討・情報収集した	一つの選択肢として検討・情報収集した	就職先として検討・情報収集しなかった	まだ検討・情報収集していない
札幌市	306	42.8	17.3	25.8	10.8	3.3
北海道内 (札幌市以外)	244	43.4	21.3	16.0	13.9	5.3
道外都府県	130	9.2	15.4	44.6	24.6	6.2
海外	8	-	25.0	62.5	12.5	-

(17) 道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか

- 「十分に情報を得ることができた」(16.0%)、「得ることができた」(65.0%) が計 81.0% であった一方、「あまり得ることができなかつた」との回答者も約 2 割 (17.8%) 存在する。
- なお、この設問については Q27 分析の際のクロス集計軸として使用した。

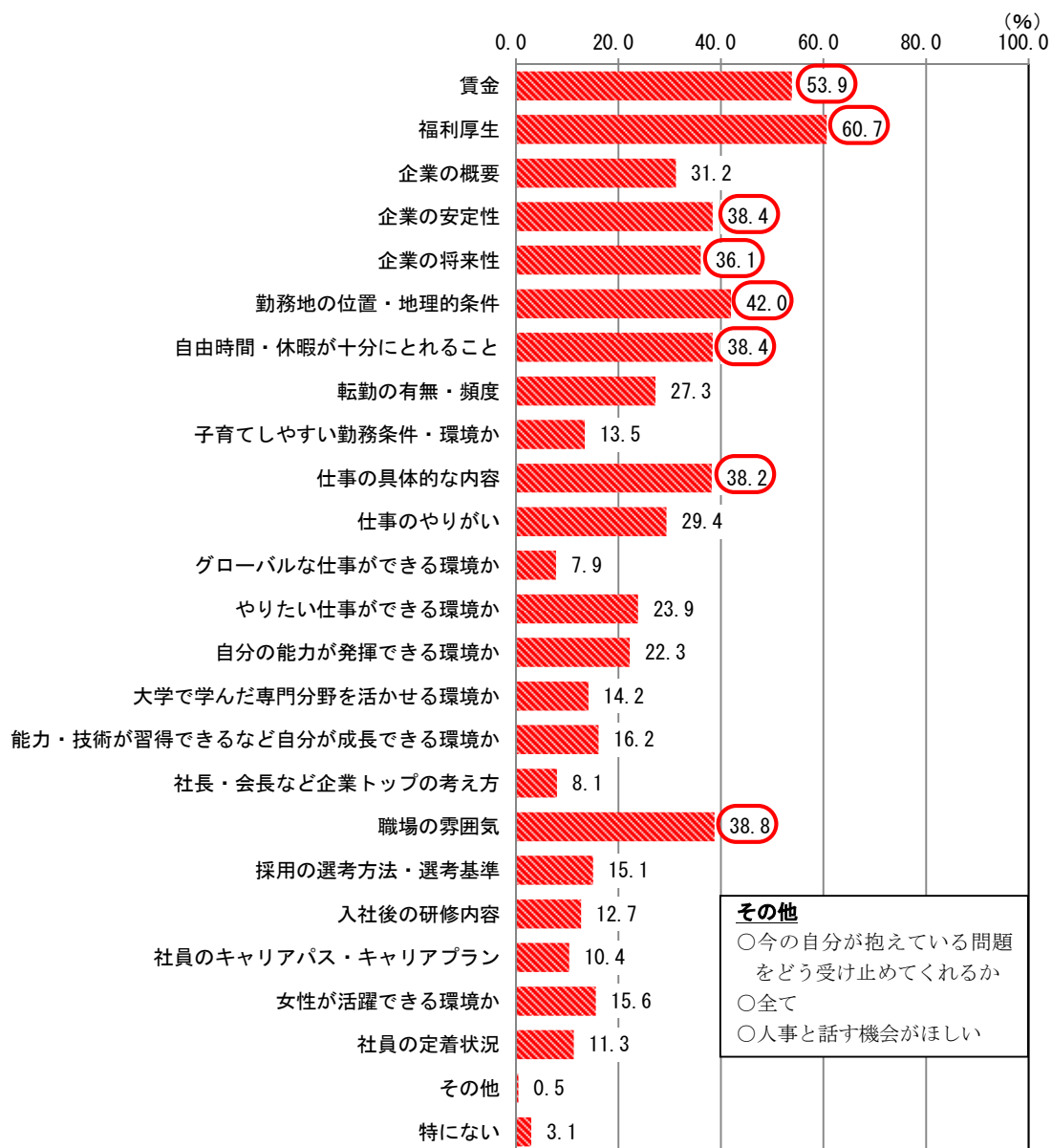
【Q25 で道内企業の情報収集をした回答者限定】
Q26 道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか
<SA> (N=557)
クロス集計軸として使用 (Ⅲ-35)



(18) 道内企業について知りたかった情報

- 「福利厚生」(60.7%)、「賃金」(53.9%) が1、2番めに多く挙げられた。
- 以下、約4割の回答者が挙げたのが「勤務地の位置・地理的条件」(42.0%)、「職場の雰囲気」(38.8%)、「企業の安定性」(38.4%)、「自由時間・休暇が十分にとれること」(38.4%)、「仕事の具体的な内容」(38.2%)、「企業の将来性」(36.1%)である。
- 特に「職場の雰囲気」(38.8%)、「仕事の具体的な内容」(38.2%)という、職場・仕事の実際に関連する項目について多く挙げられたことが注目される。

【Q25で道内企業の情報収集をした回答者限定】
Q27 道内企業について知りたかった情報<MA> (N=557)



<クロス集計>

■道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか否か別

- 「Q26 道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか」の回答結果を、情報「得ることができた」と「得ることができなかった」に統合し、その結果を集計軸としてクロス集計を行った。
- 「得ることができなかった」と回答した人について、「得ることができた」と回答した人と比較すると、「自由時間・休暇が十分にとれること」「企業の将来性」「やりたい仕事ができる環境か」「能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境か」「大学で学んだ専門分野を活かせる環境か」「グローバルな仕事ができる環境か」について5ポイント以上高い値となっている。
- 情報が「得ることができなかった」人は「得ることができた」人より、上記の情報について不十分だと感じた、あるいは内容が物足りないと感じたということが言える。

道内企業について「知りたい」情報を得ることができたか否か別、

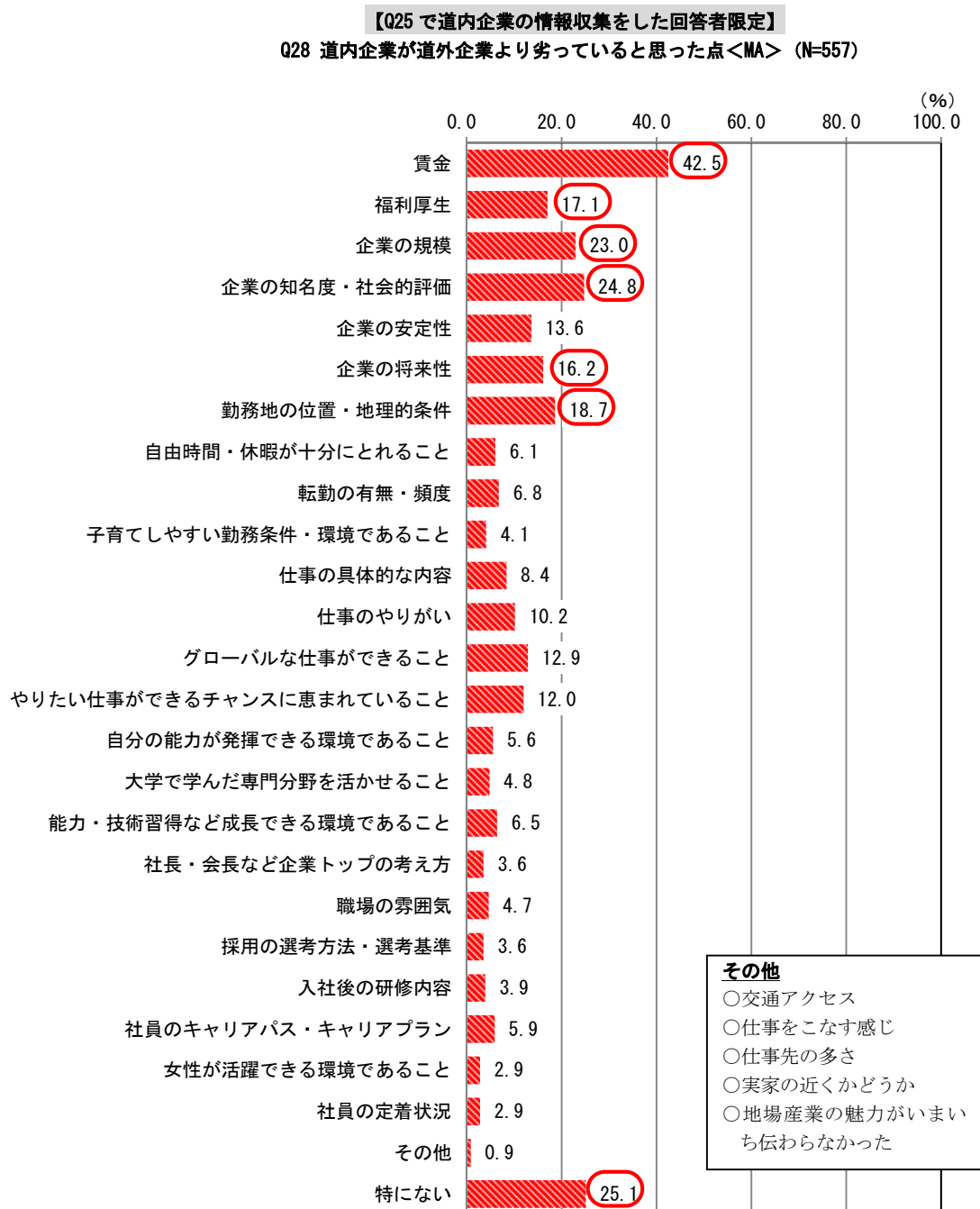
Q27 道内企業について知りたかった情報<MA>

	N	賃金	福利厚生	企業の概要	企業の安定性	企業の将来性	業務地の位置・地理的条件	自由時間・休暇が十分にとれること	転勤の有無・頻度	子育てしやすい勤務条件・環境か	仕事の具体的な内容	仕事のやりがい	グローバルな仕事ができる環境か	やりたい仕事ができる環境か
得ることができた	451	53.2	60.8	32.6	38.4	35.0	43.5	37.5	28.8	14.2	39.5	30.6	6.0	22.8
得ることができなかった	106	56.6	60.4	25.5	38.7	40.6	35.8	42.5	20.8	10.4	33.0	24.5	16.0	28.3

	N	自分の能力が発揮できる環境か	大学で学んだ専門分野を活かせる環境か	能力・技術が習得できる環境か	社長・会長など企業トップの考え	職場の雰囲気	採用の選考方法・選考基準	入社後の研修内容	社員のキャリアパス・キャリアアップ	女性が活躍できる環境か	社員の定着状況	その他	特になし
得ることができた	451	23.1	13.1	15.1	7.8	39.2	14.6	12.9	10.0	15.7	11.8	0.4	2.9
得ることができなかった	106	18.9	18.9	20.8	9.4	36.8	17.0	12.3	12.3	15.1	9.4	0.9	3.8

(19) 道内企業が道外企業より劣っていると思った点

- 「賃金」(42.5%) が最も多く挙げられた。一方「特にない」(25.1%) との回答も多かった。
- 以下、「企業の知名度・社会的評価」(24.8%)、「企業の規模」(23.0%)、「勤務地の位置・地理的条件」(18.7%)、「福利厚生」(17.1%)、「企業の将来性」(16.2%) も約 2 割挙げられている。



<クロス集計>

■就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域別

- 「道内都府県就職者」は道内企業について「賃金」の次に「企業の将来性」「企業の規模」が劣っていると考えていることがわかる。
- 「道外都府県」就職者と、「札幌市」「北海道内」就職者を比較すると、上述した「企業の将来性」「企業の規模」のほかに「企業の知名度・社会的評価」「企業の安定性」「仕事のやりがい」「やりたい仕事ができるチャンスに恵まれていること」「グローバルな仕事ができること」「能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること」「大学で学んだ専門分野を活かせること」「社員のキャリアパス・キャリアプラン」について、「札幌市」または「北海道内」就職者と比較して10ポイント以上高い値となっている。
- 特に「企業の知名度・社会的評価」「企業の安定性」「仕事のやりがい」については、4～6番目に多く挙げられており重視されていることがわかる。

就職先として決まった／就職先となる可能性が最も高い地域別、
Q28 道内企業が道外企業より劣っていると思った点<MA>

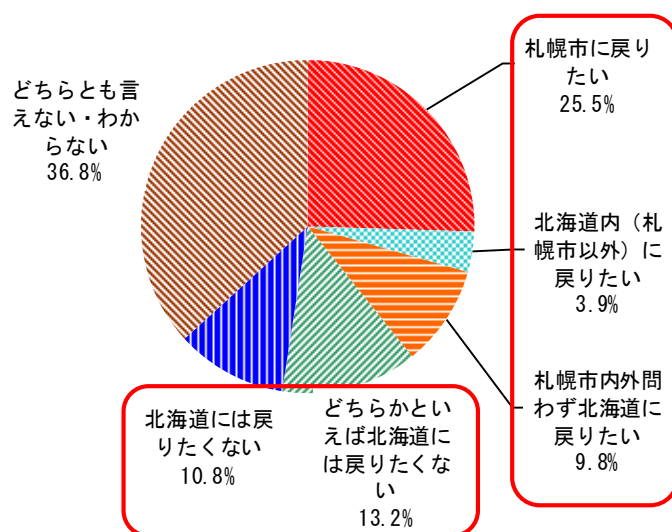
	N	賃金	福利厚生	企業の規模	企業の知名度・社会的評価	企業の安定性	企業の将来性	勤務地の位置・地理的条件	自由時間・休暇が十分にとれること	転勤の有無・頻度	子育てしやすい勤務条件・環境であること	仕事の具体的な内容	仕事のやりがい	グローバルな仕事ができること
札幌市	235	47.7	20.0	23.8	25.5	8.9	8.1	14.9	6.0	8.1	7.2	7.7	6.8	12.3
北海道内 (札幌市以外)	145	40.0	13.1	11.0	16.6	11.7	11.7	19.3	6.9	4.8	2.8	6.2	6.2	9.0
道外都府県	138	39.9	18.8	31.9	29.7	21.7	33.3	24.6	6.5	8.7	1.4	14.5	21.7	16.7
海外	3	-	-	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	100.0
特になし・就職活動を始めていない	36	33.3	8.3	27.8	30.6	19.4	19.4	13.9	-	-	-	-	2.8	11.1

	N	やりたい仕事ができること	自分の能力が発揮できる環境であること	大学で学んだ専門分野を活かせること	環境で自分が成長できること	能力・技術が習得できること	社長の考えなど企業トツブの考え方	職場の雰囲気	採用の選考方法・選考基準	入社後の研修内容	社員のキャリアパス・キャリアアップ	女性が活躍できる環境であること	社員の定着状況	その他	特になし
札幌市	235	10.2	4.7	2.1	4.3	5.1	3.8	3.8	3.0	3.8	2.1	2.6	0.4	23.8	
北海道内 (札幌市以外)	145	6.9	-	0.7	1.4	1.4	4.1	4.1	2.8	2.8	4.1	4.1	-	34.5	
道外都府県	138	18.8	11.6	13.8	14.5	4.3	8.0	3.6	7.2	13.8	2.9	2.9	2.9	15.9	
海外	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	
特になし・就職活動を始めていない	36	16.7	8.3	2.8	8.3	-	-	-	-	2.8	2.8	-	-	33.3	

(20) 札幌市・北海道へのUターン意向

- 「Q29 札幌市・北海道へのUターン意向」はUターン意向者を抽出するために設けた設問である。
- 道外就職決定者で「札幌市・北海道に戻りたい」と回答したのは計39.2%、「(どちらかといえば)戻りたくない」との回答は計24.0%であった。
- 道外就職決定者でも「札幌市・北海道に戻りたい」人が「戻りたくない」人よりも多くなっている。

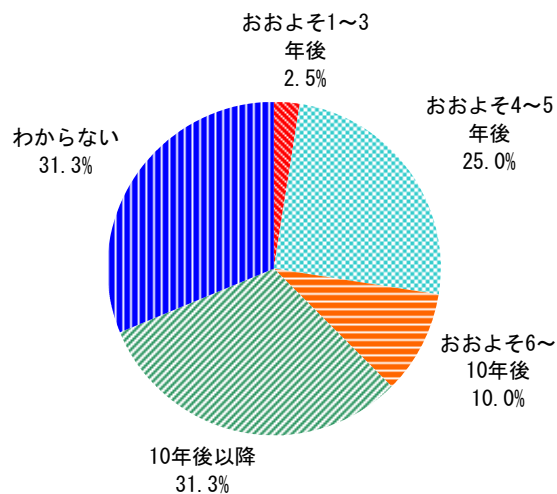
【Q21で「道外都府県」「海外」回答者限定】
Q29 札幌市・北海道へのUターン意向<SA> (N=204)



(21) Uターンしたい時期

- 「札幌市・北海道に戻りたい」と回答した人のうち、「10年以内」と回答したのは計37.5%であった。一方「10年後以降」「わからない」との回答は計62.6%となっている。

【Q29で札幌市・北海道Uターンしたい回答者限定】
Q30 Uターンしたい時期<SA> (N=80)



<クロス集計>

■出身地別

- 「札幌市」「北海道内」出身者で「10年以内」と回答した人はそれぞれ62.5%、39.1%だったが、「道外都府県」出身者では16.1%にとどまり「10年後以降」との回答が41.9%となっている。

【Q29で札幌市・北海道Uターンしたい回答者限定】
出身地別、Q30 Uターンしたい時期<SA> (N=80)

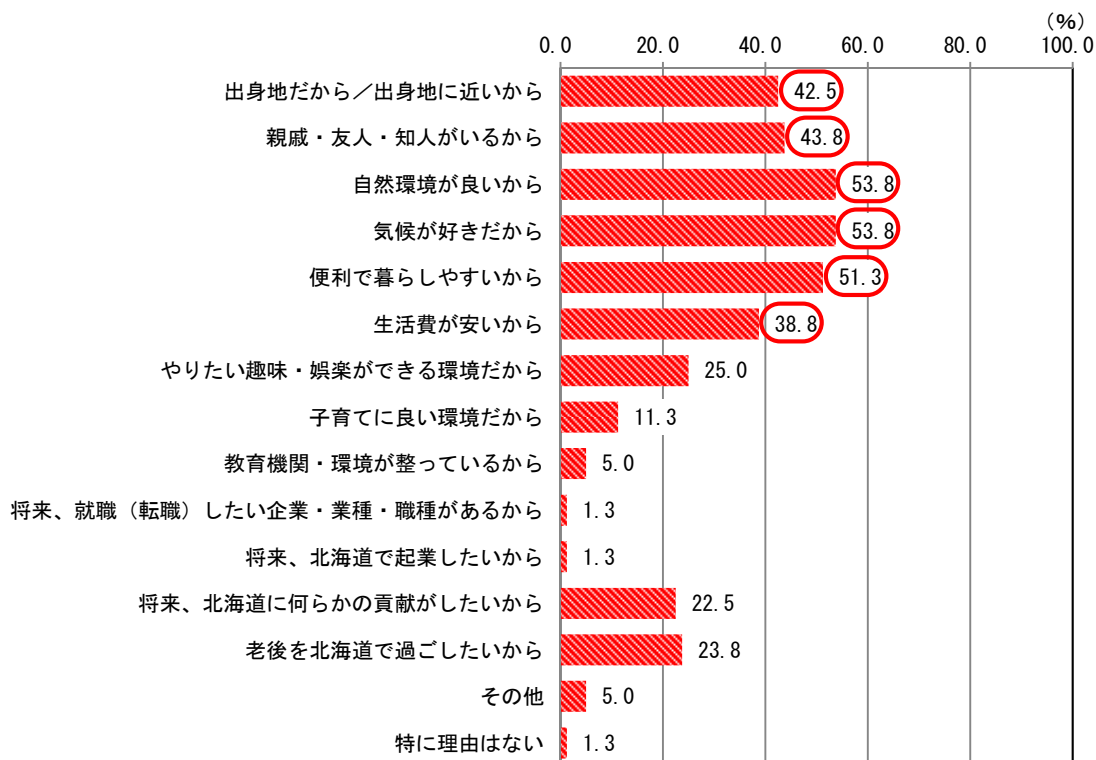
	N	1 お よ 3 年 後	4 お よ 5 年 後	6 お よ 1 0 年 後	1 0 年 後 以 降	わ か ら な い
札幌市	24	4.2	45.8	12.5	20.8	16.7
北海道内 (札幌市以外)	23	-	21.7	17.4	26.1	34.8
道外都府県	31	3.2	9.7	3.2	41.9	41.9
海外	2	-	50.0	-	50.0	-

(22) Uターン希望者が市内・道内にUターンしたい理由

- 「Q29 札幌市・北海道へのUターン意向」で「札幌市・北海道に戻りたい」と回答した人の「Uターンしたい理由」だが、5割以上挙げられたのは「自然環境が良いから」「気候が好きだから」(以上53.8%)、「便利で暮らしやすいから」(51.3%)であった。
- 「親戚・友人・知人がいるから」(43.8%)、「出身地だから／出身地に近いから」(42.5%)、「生活費が安いから」(38.8%)も約4割が挙げている。

【Q29で札幌市・北海道Uターンしたい回答者限定】

Q31 Uターンしたい理由<MA> (N=80)



その他

- お金を落としたいから
- スギやヒノキの花粉が飛ばないから
- 親の介護が必要になると思うから
- 農家だから

<クロス集計>

■出身地別

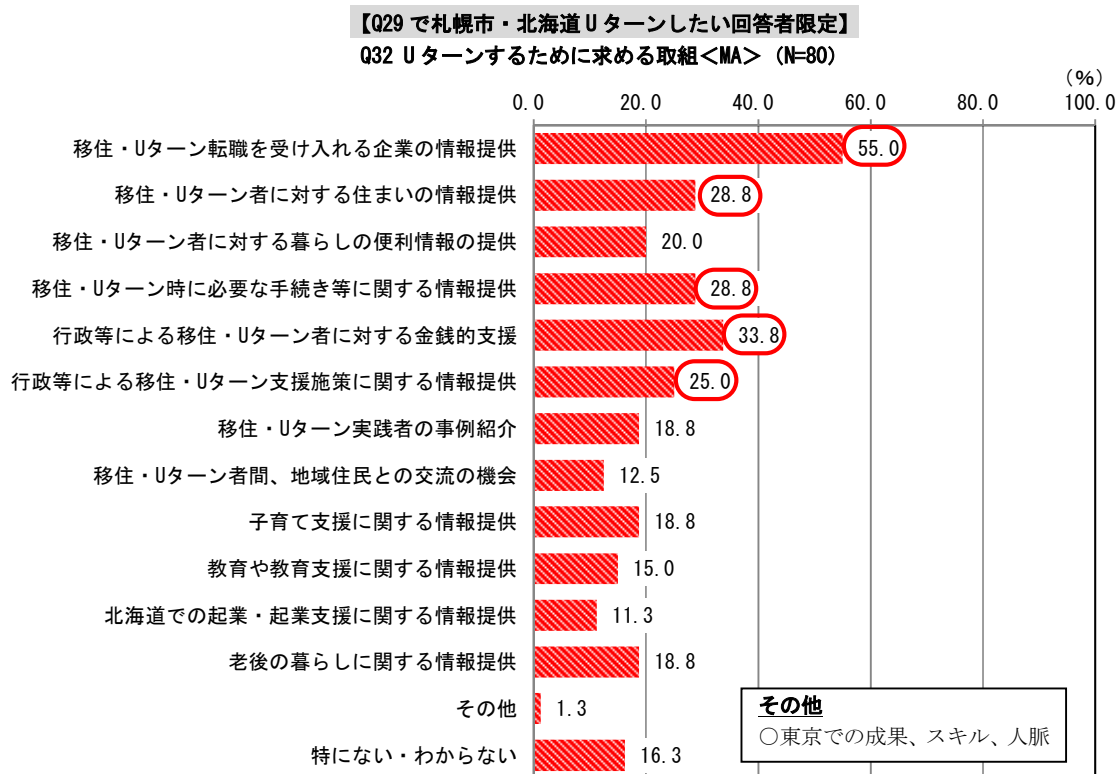
- 各出身地のサンプルサイズが小さいため、参考として掲載する。
- 「道外都府県」出身者を見ると、「自然環境が良いから」が最も多く挙げられ、「気候が好きだから」が次ぐ結果となった。3番めには「便利で暮らしやすいから」が挙げられている。

<クロス集計>出身地別 Q31 Uターンしたい理由<MA>

	N	出身地だから に近いから	親戚・友人・ 知人がいるから	自然環境が 良いから	気候が好き だから	便利で暮らし やすいから	生活費が安い から	やりたい趣味・ 環境だから	子育てに良い 環境だから	教育機関・環 境が整っているから	将来、就職（ 転職）したい 企業・業種・ 職種があるから	将来、北海 道で起業し たいから	将来、北海 道に何らか の貢献がし たいから	老後を北海 道で過ごし たいから	その他	特に理由 はない
札幌市	24	79.2	70.8	41.7	41.7	50.0	29.2	8.3	16.7	4.2	-	4.2	37.5	41.7	4.2	4.2
北海道内 (札幌市以外)	23	65.2	34.8	43.5	52.2	47.8	34.8	13.0	13.0	8.7	-	-	26.1	21.7	8.7	-
道外都府県	31	-	29.0	67.7	61.3	51.6	45.2	48.4	6.5	3.2	3.2	-	6.5	12.9	3.2	-
海外	2	-	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-

(23) Uターンするために求める取組

- 「Q29 札幌市・北海道へのUターン意向」で「札幌市・北海道に戻りたい」と回答した人の半数以上が「Uターンするために求める取組」として、「移住・Uターン転職を受け入れる企業の情報提供」(55.0%)を挙げた。
- 「行政等による移住・Uターン者に対する金銭的支援」(33.8%)、「移住・Uターン者に対する住まいの情報提供」(28.8%)、「移住・Uターン時に必要な手続き等に関する情報提供」(28.8%)、「行政等による移住・Uターン支援施策に関する情報提供」(25.0%)を約3割が挙げている。



<クロス集計>

■出身地別

- 各出身地のサンプルサイズが小さいため、参考として掲載する。
- 「道外都府県」出身者を見ると「移住・Uターン転職を受け入れる企業の情報提供」「行政等による移住・Uターン者に対する金銭的支援」「移住・Uターン者に対する住まいの情報提供」が3割を超えて挙げられている。

出身地別、Q32 Uターンするために求める取組<MA>

	N	移住・Uターン転職を受け入れる企業の情報提供	移住・Uターン者に対する住まいの情報提供	移住・Uターン者に対する暮らしの便利情報の提供	移住・Uターン時に必要な手続き等に関する情報提供	行政等による移住・Uターン者に対する金銭的支援	行政等による移住・Uターン支援施策に関する情報提供	移住・Uターン実践者の事例紹介	移住・Uターン者間、地域住民との交流の機会	子育て支援に関する情報提供	教育や教育支援に関する情報提供	北海道での起業・起業支援に関する情報提供	老後の暮らしに関する情報提供	その他	特にない・わからない
札幌市	24	70.8	25.0	12.5	33.3	29.2	25.0	33.3	12.5	25.0	16.7	12.5	33.3	-	8.3
北海道内 (札幌市以外)	23	43.5	21.7	26.1	34.8	34.8	21.7	4.3	8.7	13.0	13.0	17.4	17.4	4.3	21.7
道外都府県	31	51.6	32.3	19.4	16.1	35.5	25.8	16.1	12.9	16.1	12.9	6.5	9.7	-	19.4
海外	2	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-

(24) 札幌市・北海道での就職促進、Uターンを促進するための意見・アイデア

212名の方が、意見・アイデアを記入した。寄せられた中から主なものを掲載する。

■道内企業を紹介・アピールする取組（29件）

- 様々な場所、会場で説明会を開く。
- 道内で就職を考えていても、自ずと札幌市に絞られてくるため、出身地での就職情報を上手く取得できずにいる。各振興局管内に特化した情報サイト等を整備してみてもいいのでは。
- 地元企業と若者とのかけ橋をもっと充実すべきと考えます。
- リクルーターがあまり大学に来てないように感じたので、派遣すれば良いと思います。
- 中小企業の情報について得られる機会が少ないと感じます。
- 道内企業だけの合同説明会をもっと頻繁に開催する。
- 大学での企業説明会を増やして学生と人事の方が対等に話せる機会を作る。学生が萎縮しないで話せるためには慣れた場所での説明会のほうが良いと思うため。また企業としてもその大学の雰囲気やリラックスした学生を見て必要な人材か判断しやすいと思うため。
- 就活解禁前の就活イベントへの参加は自分の周囲では少なかったと感じます。意欲の問題もありますが、イベント自体を認知してないことが多かったと思うので、参加の意義や必要性を感じるイベントの広告が、しっかりと就活生のところまで届くようなシステムがあればより納得のいく就活ができる人が増えるかな…と就活を終えて私は考えました。
- 私は元々道内企業を中心に就職活動をしていたので、大学の就職課で道内企業中心の合同企業説明会を紹介してくれたのは非常に助かりました。引き続き大学の就職課による道内企業の紹介を継続すれば、助かる学生もいると思いました。
- 道内地方都市にある企業のPR強化。
- 各市町村で、若者向けの就活セミナーをもっと開くべき。そういったものを見かけないし、若者向けより、転職者、定年退職者向けが多い印象。
- 公務員試験や民間での就活が落ち着いてくる時期に、札幌市や道内の企業の方とゆっくり話をきけるようなイベントがあるとよいのではと思います。道外への就職をあきらめる人が出る前にアプローチがあると、参加は見込まれるような気がします。
- 大学内での講義のプログラムの中に企業と提携したインターン的な講義を組み込んで行い、社会を学ぶべき。そうすると社会に対するマイナスイメージを払拭できると思う。
- 道内の企業の説明会をもっと広げ、多く開催してほしいと思いました。
- 大学の授業に、北海道の企業に関われる授業を増やす。北海道で働くイメージを持ちやすくする。
- もっと道内企業が採用活動をしているという情報を流してほしい。大きな合同説明会でも中小企業同友会の説明会でも道内企業は同じ会社ばかり参加していた印象があった。自分が内定を頂いた会社も合同説明会は一度しか参加せず、あとはサイトなどで単独説明会を行った位で、時期を逃せば見逃していた。
など

■給与水準・最低賃金の向上（25件）

- 賃金アップ。
- 就活中に感じたことだが、満足できる賃金を支払ってくれる能力のある企業がとても少ない。
- 最低賃金を引き上げるのはどうでしょうか。
- 給与の高さを求める人、または都会への憧れを感じている人が道外での就職を考えている人が周りに多いため、東京のようないわゆる大都会と少しでも差を縮められるように給与を増やしたりするなどの努力が必要だと思う。
- 札幌市以外の賃金が安いと感じる。
など

■経済的支援（24件）

- 地域的な魅力はものすごいあるので、金銭面での支援があると後押しとなる。
- 民間企業にも寒冷地手当があれば良いと思う。
- 住居手当を出す。
- 奨学金返済援助など、金銭面での助成の充実。
- 社会人となるための資金を少しでも給付する。
- 一人暮らししたいが、少ない給料で家賃水道光熱費などをまかない、奨学金の返済もあることを考えると、賃金や補助などが充実していて通いやすい場所を第一候補としがち。例えば職員宿舎や借り上げ社宅などがあり家賃補助があれば候補として考えやすい。
- 北海道へのUターンを望むためには、住居に関する補助が充実していることが必要だと思います。ただでさえ冬には厳しい環境にさらされるため、家を持つと考えた場合、道外より費用がかさみ、若者にとってはハードルが高いと思われます。衣食住のうちの1つの「住」が充実することがある程度保証されていれば、若者のUターン意欲も高まるのではないのでしょうか。
- とにかく何らかの補助金が良いと思います。もしそれらの補助金があるのなら周知できるような広報があるといいかと思います。
- 寒冷地支援などとして、スキーリフト券や、灯油代補助などを行う。
- 継続して生活すると、北海道内で使える旅行券や特産品をもらえるサービス。出産し北海道で生活すれば補助金が得られるサービス
- 交通費の援助があれば非常に嬉しいです。
- 札幌市で一定年数働くことを条件にした給付型奨学金を拡充すると良いと思います。
- 奨学金援助や寒冷地手当などが、より充実するようになれば、札幌・北海道での就職促進に繋がるのではないかと思います。また、充実していたとしても認知している人が少ない場合もあるので、そういった点に力を入れている企業を集めた説明会等があれば、参加者としても比較がしやすいので有難いです。
など

■企業誘致（19件）

- 大手企業の誘致。
- 札幌に企業の規模の大きい支店があればより北海道就職が選択肢の一つになると思います。
- 企業の工場や支社の誘致。
- 大企業の本社機能誘致。
- 企業がたくさん北海道に進出するのが重要。
- 魅力的な企業や大企業の本社は東京や大阪にあるので、どうしても本州での就職を考えてしまいます。そのため本社を北海道に誘致するなど良いかと思います。
- 北海道の大手企業というものがまだまだ少ないと感じたので、北海道の広大な土地の強みを活かして大手企業の誘致や、活動基盤を北海道（札幌）に移してもらうよう働きかけ、それらの企業を含めた大手企業を前面に押すことで北海道（札幌）全体の活性化につながると思います。
- 企業誘致、道内起業支援に力を入れることにより若者にとって魅力的な企業を増やし、道内に留まってもらう等。
- 食品以外の製造業の会社が少ないイメージです。そのような企業を誘致できればいいと思います。
- 東京や大阪などの北海道外に本社がある会社のサテライトオフィス等を増やす取り組みが重要だと思う。
など

■仕事・業種・職種の選択肢が少ない、または、ない（16件）

- ライフサイエンス系の研究開発職を希望していた自分にとって、北海道に該当企業の研究所がほぼないので就職先の選択肢になりませんでした
- 道内は業種の選択肢が少なく感じました（サービス、ホテルが多かったです）。また、東京、大阪並みのスケールの仕事ができる職が少ないと感じました。そもそも大半の企業の本社は道内にあることが少ないのも一つの原因ですが、例えば、企業は北海道の支社の位置づけを下請けでなく、技術センターなど作っていただければもっと魅力だと思います。それを実現するためにはもっと北海道の魅力を企業にアピールするべきです。また、北海道でもグローバルな仕事ができる環境を作るのはいかがでしょうか？ 北海道で仕事ができるのは幸せだと思います。アメリカのシアトル市は人口 72 万ぐらいで小さいまちだが、アマゾン、マイクロソフトなど大企業の本社はたくさんあります。シアトル市のような世界中のまちを参考にしているかがでしょうか？
- 修士まで行くと北海道に魅力的な職種が少ないので、修士卒が自分が学んだ学問を生かせるような職種や業種を集めたセミナーや就職情報サイトでの特集などがあればよいと思う。
- 道内での理系、特に研究開発職の枠が増えて欲しいです。私自身も北海道に残りたい気持ちはありましたが職種を優先して道外就職することに決めました。おそらくそのような人は多いのではないかと思います。
- 道外でなければ就職できない業種・職種が多く、道内企業に就職する時の業種・職種の選択肢が少ないと感じます。または、本来選択肢があったとしても、それを知る機会が少ない

と感じます。

- 北海道内にある企業に研究開発職が少ないため、理系の学生は道外に出てしまうことが多いと感じる。
- 仕事の種類が増えれば他の都道府県ではなく北海道へUターンしようとする人も出てくると思う。
- そもそもの仕事先が少なく、業種、職種も少ないため選択肢が狭まる。専門性や特異な職業を選んでいる側からしたら道内で就職したくともそもそも出来ないため外に出るしかない。

■公共交通等の向上（11件）

- 雪に対する対策(特に JR などの交通機関)を、寒冷地としてすべきだと思います。冬の遅延や運休は、生活に支障をきたします。札幌市営地下鉄の路線をもっと伸ばすことは、長い目でみると必要不可欠だと思います。公共交通機関の充実は若者の就職促進に大きな影響を及ぼしていると考えます。
- 実家との航空などアクセスの充実。
- 北海道内の企業の中にも事業内容等に魅力を感じたところはいくつかあったが、それらのほとんどが通勤に不便な立地であった為に志望先として考える際躊躇した。もし勤務地が札幌市内中心部に近いところか、そうでなくとも電車一本で通えるところにあったならば、就職活動先として考える価値は十分にあったと思う。そのような場所に、企業がオフィスや研究所を置きやすいような支援をしてはいかがだろうか。
- 北海道の広さによる地方都市との隔たりをなくすために、大都市と地方を結ぶ交通網の整備に力を入れる。
- 北海道新幹線と高速道路の整備を行い、本州並びに各市町村とのアクセス時間を減らす。
- 私が北海道を出る理由の1つとして雪害です。JRが毎日止まるのは痛いです。なので、何か解決策をたててほしいです。
など

■勤務地・転勤地（11件）

- 私は実家が札幌です。若いうちは道内転勤をして各地域での生活を楽しめますが、年を重ねたときに転勤は人生設計をしていく上でどうしても枷になると思ってしまいます。これを逆手にとって、特に高卒や学部卒の若者に対して道内転勤にプラスのイメージを抱くことができるようなプロモーションができれば道内就職の促進に繋がると思います。
- 札幌市が魅力的すぎる。旭川や函館など中規模なところに通勤できる町や村を推していくべきだ。もしくは北海道内における単身赴任の実例紹介など。
- 就職活動をしていて、北海道全域に支部・支店のある企業では、転勤の頻度・範囲が大きく、消極的になる学生が多かったように感じました。難しいこととは思いますが、転勤の構造を変更するか、各地方の魅力を伝え、転勤に対する意識を変えていくことが必要かと考えました。
- 道外出身者からすると、札幌以外の土地に転勤になるのは避けたいと思っている人が多いのではないかと思います。

- 他都府県と比べたときのアクセスの悪さや気候条件などを考えると、エリア限定採用を進めない限り道内就職は難しいと思います。
 - 道内に残りたい人は転勤がしたくなく、さらに札幌がいい人が多いのでまずは転勤をどうにかしたらいと思います。
 - 札幌に住んでいる人は、道内というよりも札幌で働きたいという気持ちが強いと思うので、勤務地が札幌限定のほうが希望する人が多いのではないかと感じました。
 - 勤務地を明確にしてほしいです。
 - 北海道は広いので、転勤があるとどこに行くのかわからないのがネックだと思います。北海道の中でも転勤の地域が限定すると、将来のことも考えやすく、就職しやすくなると思います。
- など

■子育て・教育（9件）

- 育児、出産に対する援助。男女問わず。
 - 子育て支援、教育支援を充実させること、女性が働きやすくなることが大切であるとする。
 - 子育て支援；保育士の給料を他都府県と比較しても高水準にし、保育園数を充実。また、長期産休を取りたい人には簡単な申請のみで可能とさせるなど行政が道内企業に通知すれば、子育てする若い家族層が定着すると考えられる。都会で子育てが難しいと気が付いた若い世代が結婚を機に戻る可能性もある。
 - 子育てしやすい環境づくりが整ったら、もっと促進されると思う。
 - 子供ができて、働きやすい環境だというイメージや、賃金が他の都道府県より高いイメージができたらいと思います。
 - 子育て支援と義務教育の充実が促進されてほしい。札幌東西南北の高校生は北大をトップに見ているようだが、そのレベルは低いように感じてしまい自分の子供に札幌で教育を受けさせたいとは思えない。
- など

■生活面の魅力・メリットのPR（7件）

- 仕事内容ではなく、働く環境(オフィスの広さや周りに自然がたくさんある、など)や生活環境(休日に楽しめる場所がたくさんあるなど)が道外企業と比べると優れていることを第一に推していくことが大切なのではないかと思う。職種の数や企業規模では道外企業に敵うところは少ないと思うので。
- 東京に比べ経済至上主義の圧力が低く、人間らしいワーク、ライフを実現できると思います。私自身、愛知県出身で就職は東京を希望しましたが、東京に行くたび札幌の良さを実感し、札幌に本社を構える企業への就職を決めました。このような良さを伝えるべく、東京と札幌両方で働いた経験のある社会人の方を集めて、就活生と座談会をすることなどが有効かと思っています。
- 空気や食がおいしい、質の高い生活をできることをアピール。
- 札幌市は特に交通や買い物に便利で生活費が安いことに恵まれている。どれほど他の都府県

と比べて生活するうえでコストを圧縮できるか、賃金の高さ安さにとらわれず積極的にアピールしていけば良い。

など

■地域の発展・成長（6件）

- 東京のように最新の情報や人が集まって来る場所であれば札幌で就職してみたいです
- 札幌市はともかくとして、衰退する道内地方に就職するメリットが見いだせない。地方での生活が不便すぎる。
- 北海道(特に札幌)を観光都市ではなく、産業都市として成長してほしい。
- 北海道では都市部である札幌近郊への人口集中が進んでいることもあり、まずはやはり札幌市が中心となって北海道の魅力などを伝えていき、地方も活性化しながら北海道全体で活気ある場にしていくことが必要ではないかと思います。

など

■Uターンに関する経済的支援（6件）

- 就職活動で道外から来た人々への交通費等の助成、Uターン者への引っ越し費用の負担等を行うといいと思います。
- 新潟県が県外学生に対して交通費・宿泊費を支給している制度を真似して、道内学生への上限付き交通費の支給を行えば、多くの就職活動中の学生の助けになると考えます。
- Uターンした者への賃金補助。
- 帰省手当を支給する。
- 札幌市、北海道へのUターン就職を希望する人への優待をつける。
- Uターンで就職できた場合、住宅補助を企業とは別に出す。道内で就職活動をする際の交通費や、一時的な泊まる場所を用意する。など、金銭面での支援があれば良いと思います。

■Uターンに関する情報発信（5件）

- Uターンイベントの開催、道内出身タレントのCM起用、東京や大阪などの大学での告知。
- 就活生と、札幌市・北海道内での就労者やUターンしてきた人達との交流の場を設ける。
- U・Iターンのためのセミナーなど情報発信を行う。
- 道内企業の説明会を本州でも積極的に行う。
- 道外の大学での説明会を積極的に行うといいと思う。

■インターンシップ（5件）

- 表面上しか見せないようなインターンシップをやるのではなく、がっちりした内容でやる。内部までしっかり見せる。
- 大学と連携してインターンシップを推進する。
- さまざまな業界に視野を広げてもらうために、合同インターンシップ(一日で複数の企業の就業体験ができるもの)の機会が増えるといいと思いました。興味のある業界が広がれば、道内での選択肢も増えます。また、学生はインターンシップに参加した企業を本選考でも

受けるケースがとても多いです。

- インターシップを増やす、インターシップの宣伝をわかりやすくする、SNSなども使う。
など

■その他

- 大学でのキャリア教育をもっとすべきだと思います。また、北海道は全国に比べて給料が低く、成長する兆しが見えにくい県だと思います。ですから、より明確にどんなキャリアプランがあるのか、全国と比較して北海道で働くことに何がキャリア面でプラスになるのか提示すべきだと思います。
- 札幌市内・道内企業への就職を促進させるだけでなく、その後に定着させるためのアフターフォローが必要だと思います。
- 給料や会社の規模では都市部にかなわないこともあるので、福利厚生や休暇、職場の雰囲気を整えることが必要だと思います。
- ホワイト企業であることをアピールする。
- 札幌市・北海道内の企業に就職することで、どのような将来設計が描けそうなのか、イメージを持ってもらうことが重要だと思います。ですので、実際の事例を紹介することが効果的なのではないでしょうか。
- 北海道に、貢献してほしいと言う熱意を伝えるべき。その上で働くメリットや他と違うところを述べてく必要があると思う。土地としての魅力だけでなく北海道ならではの文化など色々ないい点があるので推してくべき。
- 賃金の低さや企業の数で道外よりも負けているのであれば、働く環境などで勝てる要素があればいいのではないかなと思います。
- 道内企業が、本州へ出て活躍することが必要。大きな企業とは違った良さがある企業が多いのに、それを知らないで就活している学生が多い。
- やはり北海道の技術力というのは本土よりも劣っています。そこを劣ってないように見せる企業が大変多いと思うのですが、劣っていることは認めて将来的に進化していけることをもっと前面に出してほしいです。
- 市や道として、どのような分野の産業を活性化させていくのか今以上に広報を行い、将来性がある土地であることをアピールする。
など

IV. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査

1. 調査の概要

(1) 目的

アンケート調査結果も踏まえ、市内大学の卒業予定者が、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて、具体的にどのように感じているか、考えているかを定性的に把握すること。

(2) 実施日時：平成 31 年 3 月 4 日（月）、5 日（火）14:00～17:00

(3) 会場：かでの 2.7 920 会議室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

(4) 参加者

○アンケート調査にて、グループインタビュー参加希望の有無を聞く設問（Q33）で参加の意思を示した回答者に打診した結果、計 33 名の参加を得た。

日	学年	性別		計
		男性	女性	
3 月 4 日（月）	短大 1 年生	－	1 名	1 名
	大学 3 年生	2 名	2 名	4 名
	大学 4 年生	6 名	5 名	11 名
	修士 2 年生	－	－	16 名
3 月 5 日（火）	短大 1 年生	－	1 名	1 名
	大学 3 年生	－	3 名	3 名
	大学 4 年生	8 名	2 名	10 名
	修士 2 年生	2 名	1 名	3 名
	計	18 名	15 名	33 名

(5) 実施方法

○「グループワーク Q&A 方式」にてグループインタビューを行った。その手順は下記のとおりである。

- ①参加者に 3～5 名の A～D グループ（テーブル）に分かれてもらい、各テーブルにインタビュアー1 名を配置。
- ②インタビュアーは質問票を提示し、参加者はそれに応じた回答を手元の付箋に記入。
- ③記入後、各参加者は順番に模造紙（ワークシート）に付箋を貼り付けながらその内容を説明。
- ④インタビュアーは必要に応じて補足質問を行い、回答内容を付箋でワークシートに追記していく。
- ⑤参加者同士の会話（同意・反論、補足等）についても、インタビュアーは付箋にて記録。

○また、A～Dのグループ分けは下記のように行っている。

- A グループ：就職先が道外に決まった方
- B グループ：主として、就職先が札幌市内の方
- C グループ：主として、就職先が道内の方
- D グループ：主として、短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）

（6）その他

○参加者にはグループヒアリング参加の謝礼として3,000円相当、アンケート調査協力の謝礼として500円相当、計3,500円相当のクオカードを差し上げた。

2. グループインタビュー風景



主催者挨拶



グループヒアリングの進め方を説明



グループインタビュー風景



グループインタビュー風景




会場の全体風景



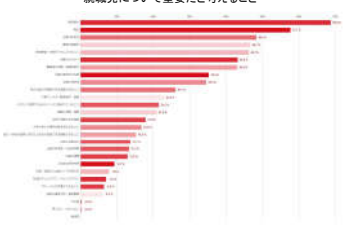
作成したワークシート


3. インタビュー設問シート

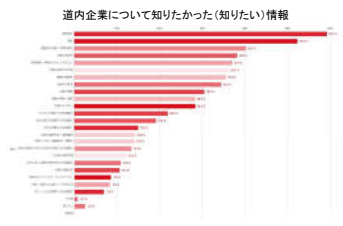
質問項目や質問に関するアンケート調査結果を記した下記の A3 判のシートを参加者に提示しグループインタビューを行った。

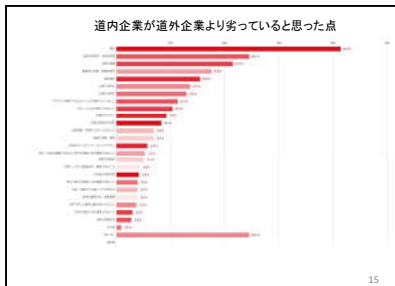
<p>インタビュー設問シート</p>  <p>0</p>	<p>Q1 最初に自己紹介を: (1)お名前 (2)大学・回生 (3)札幌での大学生活の一番の思い出は?</p> <p>1</p>	<p>Q2 (1)出身地 (2)就職先地域(決まった/希望) (3)就職先企業・業種(決まった/希望)</p> <p>2</p>
---	---	--

<p>Q3 就職先の企業に出会ったきっかけは? / 就職先の企業にどこで・どういうシチュエーションで出会いたい?</p> <p>3</p>	<p>Q4 (1)企業の情報は何で(どのような媒体で)調べた? (2) " 何で(どのような媒体で)知られると良い? / 調べられると良い?</p> <p>4</p>	<p>Q5 就職先の企業を決めた/希望した一番の理由は?(条件、魅力等)</p> <p>5</p>
---	---	---

<p>就職先について重要だと考えること</p>  <p>6</p>	<p>Q6 (1)就職活動に対する考え方・心構えについて最も影響を受けたのは誰?何? (2)具体的に、どのように言われた? / 示唆された?(「やりきる」?)</p> <p>7</p>	<p>Q7 (1)就職先の地域を決めた/希望した一番の理由は? (2)【就職先/希望先が道外の人のみ】就職先地域が「道内」に変わるのには何が必要?</p> <p>8</p>
--	--	--

<p>北海道内での就職を希望していた(希望している)理由</p>  <p>9</p>	<p>北海道内での就職を希望しなかった(希望していない)理由</p>  <p>10</p>	<p>Q8 (1)【就職先決定者のみ】就職先(企業・地域)の希望はどの程度かなったか? 100点満点で言うと? (2)希望がかなわなかった/希望がかなうのが難しそうなのはどういった点?</p> <p>11</p>
---	--	--

<p>Q9 企業について最も知りたかった/知りたい情報は?</p> <p>12</p>	<p>道内企業について知りたかった(知りたい)情報</p>  <p>13</p>	<p>Q10 就職先として、道内企業と道外企業を比較して劣っていると思った点は?</p> <p>14</p>
---	---	--



Q11
 (1) (市外就職者／希望者)札幌にUターンしたい？／(市内就職者／希望者)住み続けたい？
 (2) Uターンするには／Uターン者を増やすためには、何が必要？

16

Q12
 市内の中小企業は、知ってもらおう・面接に来てもらう・就職してもらうためにどうすれば良いと思う？／どんな取組があれば良いと思う？

17

Q13
 「札幌市は若者の地元定着やUターン就職の促進のためにこれをすべきだ！」…言い残したことがあれば

18

4. グループインタビュー調査結果の概要

※Q1についてはアイスブレイク（導入）設問、Q2は属性把握のための設問であるため、ここでは取り上げていない。

Q3 就職先の企業に出会ったきっかけは？／就職先の企業にどこで・どのようなシチュエーションで出会いたい？

- 道外就職者については、就職活動を開始する前の比較的早い段階からから企業・業種を絞り込んでいる一方、道内就職者は就職活動を開始してから業種を絞り込む傾向がある。
- 特に道内の民間企業就職者については「インターンで一番良かった会社に決めた」「出会い・縁で決めた」「ミーツカンパニー」「業務を通じて、その会社の雰囲気を知りたい」など、実際に会社・社員と接することに関する回答が目についた。実際に企業・社員と接してその雰囲気を知ることにより、就職先を選ぶという行動をとっていることがわかる。

Q4 (1) 企業の情報は何で（どのような媒体で）調べた？ (2) 企業の情報は何で（どのような媒体で）知られると良い？／調べられると良い？

- ここでも特に（2）の設問において、Q3と同様に「OBに直接」「説明会などで直接会う」「一番はやはり会って話すこと」「学生と職員がフリートークし合えるような」「働いている人の生の声が聴きたかった」など、社員と直接会って話をしたかったとの声が多く聞かれた。
- また「社員の生の声が分かるサイト」「社内のイメージを知る」ことができるサイトとして転職情報サイト、転職口コミサイトも広く活用されていることがわかった。

Q5 就職先の企業を決めた／希望した一番の理由は？（条件、魅力等）

- 道外就職者については「仕事の内容、やりがいのある仕事」「やりがいがあるから」「仕事内容が魅力的だった」「やりたいと思えること」などのように仕事のやりがいや仕事内容に魅力を感じたという意見、「自信をもって自社製品を紹介できる」「扱っている機器に魅力があったため」というようにその企業の製品（サービス）に魅力を感じたという意見が目立った。
- 一方、道内就職者については、「福利厚生」「異動なし」「転勤が少ない」「賃金」「給料が良い」「勤務時間」「残業が少ない」「有休、産休」「雰囲気」など、仕事そのものよりも職場の「環境」や「待遇」に関する意見・単語が目立って出されている。

Q6 (1) 就職活動に対する考え方・心構えについて最も影響を受けたのは誰？何？ (2) 具体的に、どのように言われた？／示唆された？（「やりきる」？）

- 企業向けヒアリングで、「内定が出て就職活動を最後まで『やりきる』学生がいる」「就職ではなく内定をたくさん取ることが就活の目的になっている」との指摘があった。それを踏まえて、学生は大学の就職担当部署から「内定が出ても予定していた就活を続けるように」との指導を受けているのではないかという疑問もあり設けた設問である。
- その回答としては、上記の趣旨で「就活をやりきるように」と言われた学生はいなかった。

- 影響を受けた人物としては、就職担当部署よりも、「親」「ゼミの指導教員」、就活先企業の「社員」「メンター」「先輩」、「友人」などが多く挙げられている。

Q7 (1) 就職先の地域を決めた／希望した一番の理由は？ (2) 【就職先／希望先が道外の人のみ】就職先地域が「道内」に変わるのには何が必要？

- Q5に続き、道外就職者については「行きたい企業がたまたまその地域だった」「やりたい仕事ができる」「志望業界の中で、道内で受けることができる企業に落ちたため」「地域では選んでいない」など、仕事内容や企業で選んでいる人が多い。
- 一方、道内就職者については「生活が便利」「札幌の住み心地が良いから」「札幌の気候が自分に合っているから」「涼しいから」「実家がある」「自分が良く知っている場所だから」「待遇の良い企業が釧路に在ったから」など、住み心地の良さ、慣れ親しんだ生活環境・気候、職場環境・待遇を挙げる人が目立った。

Q8 (1) 【就職先決定者のみ】就職先（企業・地域）の希望はどの程度かなったか？100点満点で言うと？ (2) 希望がかなわなかった／希望がかなうのが難しそうなのはどのような点？

- 道外就職者では道内出身者1名が「50点。札幌（北海道）に居たかったから」と回答したが、その理由を突っ込んで聞くと「生活がかつかつになりそう」ということであり、北海道への愛着といった理由ではなかった。
- 道内就職者を見ると、概ね「高得点」であり、希望はほぼかなっていると考えられる。一方で減点の理由として「入ってからでないとわからないから」「仕事内容に不透明な部分がある。説明会が一切ない」「勤務地未定であるので」「勤務先が選べない」「転勤が多い」と、仕事環境・内容、勤務地が不明である点が挙げられている。

Q9 企業について最も知りたかった／知りたい情報は？

- 注目されるのは「社内の内情、風通し」「空気感」「人間関係」「上司の人柄」「職場の生の風景」といった仕事環境の「雰囲気」と、「仕事の実情」「社員の生活モデル」「どういった仕事をするか」といった実際の「仕事内容」について挙げられたことである。
- 上記のようなことについて「採用担当の人と触れあうことで探った」「社員と直接話す機会を」「働いている人の本音が聞きたい」というように、社員と触れ合うことで実際に聞いたという要望も出されている。

Q10 就職先として、道内企業と道外企業を比較して劣っていると思った点は？

- 「賃金」や、「大企業の有無」「大手が少ない」「企業の数」「安定感のある企業」など企業の規模・数、「できる仕事の大きさ」「人脈の弱さ」「視野の狭さ」「仕事の幅、チャンス」といった仕事のスケールについての意見が出された。
- また、設問の主題ではないが、道外就職決定者から「道内のインターンシップは東京に比べて機会が少ない。東京は夜のインターンや面接もあるので、もっと効率的にめぐることができる」「道内だとグループワークなどが多いので実際の業務体験型が増えてほしい」とい

う意見が出されたことも注目される。

Q11 (1) (市外就職者／希望者) 札幌にUターンしたい？／(市内就職者／希望者) 住み続けたい？ (2) Uターンするには／Uターン者を増やすためには、何が必要？

- 道外就職者から「札幌への転勤希望者は多い」「転勤は苦ではない」「数年後に考えたい(居心地がいいから)」という回答とともに、「札幌は転勤先としてとても魅力的な場所である(そのように就活先社員からよく聞く)」との指摘があった。本調査のテーマではないが、Uターン者増の取組としては、転勤先である支社・支店誘致も有りうる。
- 札幌市、道内就職者からは、多く札幌市・道内に「住み続けたい」との意見が出されている。
- 「Uターン者増の取組」アイデアとしては、「奨学金返済補助」「Uターン転職等の補助」「市内外から説明会に来た人に交通費を渡す」といった経済面の支援、「賃金を上げる」「給料を高くする」、「交通機関の利便性向上」「交通網の発達」などが挙げられている。

Q12 市内の中小企業は、知ってもらふ・面接に来てもらう・就職してもらうためにどうすれば良いと思う？／どんな取組があれば良いと思う？

- 「単独説明会の開催」「大学への出張講座(または説明会)」「OJT。学びとつなげる」「学生とのタイアップ」など「学生と直接会う機会を増やす」ための取組についてのアイデアが多数出された。「学生と泥臭く会って話すことが効果的」ではないかという指摘もされている。
- また、「道内・市内企業に絞った就職サイト」「中小企業だけでまとめてみる」ことが出来るサイト、「業種や分野ごとにまとめた会社説明会を行う」「中小企業だけの説明会」というように、道内の中小企業・業種を絞った情報発信・紹介に関するアイデアも注目される。

Q13 「札幌市は若者の地元定着やUターン就職の促進のためにこれをすべきだ！」…言い残したことがあれば

- さまざまなアイデアが出されたが、ここまでで取り上げた回答内容を踏まえると、「企業が学生と一緒に対処法を考えてあげる」「中小企業と楽しいイベントを増やそう!」「企業との出会いがない」といった、学生と道内企業との接点を生む・増やす取組に関する意見が注目される。

5. グループインタビュー全回答結果

Q1 最初に自己紹介を：(1) お名前 (2) 大学・回生 (3) 札幌での大学生生活の一番の思い出は？(※アイスブレイク〔導入〕設問のため回答結果は掲載しない)

Q2 (1) 出身地 (2) 就職先地域(決まった/希望) (3) 就職先企業・業種(決まった/希望)

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1) 東京都 (2) 神奈川県 (3) 地方自治体
A2	4年男性・道外・道外	(1) 大阪府高槻市 (2) 大阪府、京都府 (3) 鉄道業務
A3	4年女性・道外・道外	(1) 愛知県豊川市 (2) 神奈川県横浜市 (3) 地方自治体
A4	4年女性・市内・道外	(1) 札幌市 (2) 神奈川県横浜市 (3) 家具販売・営業
A5	4年男性・市内・道外	(1) 札幌市 (2) 近日中に決定 (3) 電機メーカー〔国内に50拠点あり〕
A6	4年男性・道内・道外	(1) 函館市 (2) 東京都 (3) マスコミ
A7	4年男性・市内・道外	(1) 札幌市 (2) 大阪府・京都府 (3) 医療機器販売・保守
A8	4年男性・道外・道外	(1) 京都府 (2) 東京都 (3) ゼネコン
A9	修士2年女性・道外・道外	(1) 福岡県 (2) 東京都 (3) 空間デザイン、営業もしくはディレクター〔博物館を作る会社〕

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1) 北見市 (2) 札幌市 (3) 教員〔小～中で内定〕
B2	4年男性・市内・道内	(1) 札幌市 (2) 道内 (3) エネルギー関係〔LPガス、再生エネルギー、ホームライフ事業〕
B3	4年男性・道内・市内	(1) 滝川市 (2) 札幌市 (3) ハウスメーカー(営業職、土地の仲介)〔すでに週4回5時間の時短で働いている〕
B4	4年女性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) 広告・営業〔食品に絞るが、思い直して広告業に就職。求人広告で営業職を見つけた〕
B5	修士2年男性・道内・市内	(1) 苫小牧市 (2) 札幌市 (3) IT系〔厚別テクノパークが勤務地。工作機械設計〕
B6	4年男性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) 商社、自動ドアなど〔カスタマーサービス、営業〕
B7	4年男性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) 電機メーカーまたは商社
B8	4年女性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) 地方自治体

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	(1) 留萌管内苫前町 (2) 三笠市 (3) 地方自治体
C2	4年女性・市内・道内	(1) 札幌市 (2) 北海道もしくは東北 (3) ハウスメーカー(営業職)〔全国職とブロック職があるが、後者で入社し、勤務地は北日本ブロックを希望している〕
C3	4年女性・道内・市内	(1) 小樽市 (2) 小樽市 (3) 地方自治体
C4	4年男性・道内・道内	(1) 名寄市 (2) 道内のどこか (3) 国家公務員(一般)
C5	4年男性・道内・道内	(1) 岩見沢市 (2) 岩見沢市 (3) 地方自治体
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) 標茶町 (2) 道内(札幌市を除く) (3) 小学校の教員
C7	4年女性・道内・道内	(1) 釧路市 (2) 釧路市 (3) IT企業(SE)

■Dグループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアールによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) (できれば) 札幌市、もしくは道内 (3) 決まっていない[2019年の1月から探し始めたばかり。ITやエンタメ系に興味がある]
D2	3年男性・道内・未定	(1) 弟子屈町 (2) 特になし (3) 総合系コンサルティングファーム〔業務で関わる分野やエリアが広く、色々やれそうだから。候補となる企業は6社ほど〕
D3	3年女性・市内・道外	(1) 札幌市 (2) 関東 (3) 商品の企画開発〔日用品(文房具など)やIoT製品を世に送り出す仕事がしたい〕
D4	3年女性・道外・未定	(1) 岡山県 (2) どこでも可 (3) 特になし〔親が転勤族で東京(実家がある)や千葉、徳島などを転々としてきた〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) 事務系(会社は決まっていない)
D6	短大1年女性・市内・市内	(1) 札幌市 (2) 札幌市 (3) IT企業〔通信関連企業を志望(今年の2月から調べ始めている)〕
D7	3年女性・道外・道外	(1) 神戸市 (2) 東京都か大阪府 (3) 電機メーカー〔海外にも展開している企業〕
D8	3年女性・道内・市内	(1) 美幌町 (2) 札幌市 (3) IT系、ゲーム系〔勤務地よりは内定優先。SE、ソフトウェア、コンシューマなど〕
D9	3年女性・道外・市内	(1) 熊本県 (2) 札幌市 (3) 公務員〔地方公務員を志望〕

Q3 就職先の企業に出会ったきっかけは？／就職先の企業にどこで・どのようなシチュエーションで出会いたい？

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	地元で都市計画などに関わりたいと考えたため〔公・民、両にらみだった〕
A2	4年男性・道外・道外	昔から知っていた〔その企業がやっている事業が好きだから〕
A3	4年女性・道外・道外	関東で就職したかった(主に娯楽、候補のひとつになった)〔元々公務員志望。北海道だと情報が集まってこない。一生住もうと思える場所。実家と同じ本州〕
A4	4年女性・市内・道外	関連会社の選考に落選したが、横浜を薦められた(営業がやりたくて)〔元々は道内企業志望だった〕
A5	4年男性・市内・道外	2018年2月に世界一周。最終地、ハワイホノルルで日立のCMに出ている樹を見て感銘を受け、電機メーカーを志望。
A6	4年男性・道内・道外	新聞、ネットニュースを通じて
A7	4年男性・市内・道外	病院にてその企業の機器と対面。以降、リクナビ等で調べエントリーした〔元々医療関係志望だった〕
A8	4年男性・道外・道外	建築学科でハウスメーカーかゼネコンかで迷い、最終的にゼネコンに決めた
A9	修士2年女性・道外・道外	マイナビ・リクナビで「空間デザイン賞」(博物館を作りたいから)をキーワードに検索し、ヒットした会社の中から選んだ

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	教育実習(研修)〔学校の先生の研修会に参加してきた。刺激を受けて、教師像を考えた〕
B2	4年男性・市内・道内	ボランティア〔ミニさっぽろボランティアの時やモータースポーツの企業スポンサーを自然と確認〕
B3	4年男性・道内・市内	マイナビでとりあえずエントリー。インターンに参加。〔大学2年のときに、志望業種を不動産と決めていた。そのころからマイナビで企業を調べ始めた。インターンで一番良かった会社に決めた〕
B4	4年女性・市内・市内	道新、ジョブスタCMをみて何となく調べて〔マイナビ・リクナビを見て、春に別の会社から内定をもらっていたが、地元企業の深堀ができていないことに不安を感じた。道新主催のジョブスタがあるのを知り、参加してみたところ今の内定企業と出会った〕
B5	修士2年男性・道内・市内	リクナビかマイナビの検索で試しに入れてみた条件で1番上に表示されたから〔インターンをした企業に決まった〕
B6	4年男性・市内・市内	大学内の企業説明会で。単独説明会や合同説明会〔自分としては理想的な形で決まった。企業担当者と直接会える。就職活動を熱心にやるタイプではなく、出会い・縁で決めた〕
B7	4年男性・市内・市内	マイナビの説明会。CMなど一般に周知されている形で〔企業のことは何も知らなかったので、去年お試しで札幌ドームのマイナビ説明会に行って、企業の名前を広く知ることができた〕
B8	4年女性・市内・市内	親が公務員。学内説明会〔企業の講演など、学内説明会で民間をイメージしてから公務員へ。授業でも聴いた〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	きっかけは新聞やニュースで、シチュエーションは説明会が良い〔就職活動スタートの時期に合わせて新聞を読み始めたので、情報を得ていた。大きな合同説明会に行政も参加してくれると、公務員志望の人も情報を得ることができると思う〕

■C グループ：就職先が道内の方が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C2	4年女性・市内・道内	合同説明会〔3年生の時にマイナビやインターンフェアで住宅メーカーに興味を持った。教育系のゼミではあったが、民間企業を志望していた〕
C3	4年女性・道内・市内	きっかけは地元・家族・大学。シチュエーションとしては説明会がほしかった(政策会議で)〔行政の情報を得る場が少ないため、政策会議などに参加し、見たことや周囲の人からの声からイメージを得ていた〕
C4	4年男性・道内・道内	予備校で教えてもらった
C5	4年男性・道内・道内	両親の薦め。大学での活動から色々なことが出来るところを探した→市役所〔元々は教育関連に進みたかった〕
C6	修士2年男性・道内・道内	部活の先生志望→実習を経て小学校志望へ〔部活を通して教育に興味を持った。最終的には部活の顧問がない小学校に就職した〕
C7	4年女性・道内・道内	両親の紹介。企業説明会で出会いたい〔元々は札幌で就職したいと思っていた〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(1)「ミーツカンパニー」(2) イベント〔学生と企業が直接会う形が良い。「ミーツカンパニー」は株式会社DYMが札幌駅近くで毎日実施。参加企業が毎回ランダムなので、どの企業と出会うかは参加しないとわからない〕
D2	3年男性・道内・未定	就職説明会で、同じ大学の内定者から経験談として聞いた〔説明会でコンサル系の業務について聞き、興味を持った〕
D3	3年女性・市内・道外	美術の教科書で製品デザイン(障がい者向けキーボード)を見て興味を持った
D4	3年女性・道外・未定	合同説明会〔小人数や個別でやってほしい。業務を通じて、その会社の雰囲気を知りたい〕
D5	短大1年女性・市内・市内	企業を利用したり、商品に直接触れたりした時〔いち利用者として触れ合った時に、企業の良い雰囲気を感じ取れば〕
D6	短大1年女性・市内・市内	マイナビのアプリ。合同説明会、Web説明会、学内説明会〔マイナビで業種検索。Web上での説明会や学内説明会に参加〕
D7	3年女性・道外・道外	製品を通してその会社を知ることが多い。自社製品のお試し会があれば、普段見ない・触れないものを作っている企業にも興味を持てるかも〔製品のデモンストレーションを学内説明会でもやってほしい〕
D8	3年女性・道内・市内	両親と話して進路を決めた。説明会は3年になってから参加。大学主催で1~2年も参加しやすい説明会を開いてほしい〔企業志望でない状態で説明会に行くのはキツイ(私服自由など、却ってわかりにくい)。大学主催の半強制的説明会があると、自分のような人も行くのではないだろうか〕
D9	3年女性・道外・市内	企業の公式サイト、インターンシップ、学内説明会、合同説明会。マイナビの企業ページは少しわかりにくい。学内説明会で興味を持った企業へインターンシップに行った。インターンシップは社風が分かりやすくよかった〔3年にならないと就職活動の意欲が出ない。インターンシップに行くと初めて、働くということを意識した〕

Q4 (1) 企業の情報は何で(どのような媒体で)調べた? (2) 企業の情報は何で(どのような媒体で)知られると良い?/調べられると良い?

■A グループ: 就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1) 起業の採用サイト (2) 専門雑誌やOBに直接〔企業の採用サイト(日経ビジネスなど)には内部の情報がなかったの〕
A2	4年男性・道外・道外	(1) ネットや就職の本。説明会などで直接会う。募集の利用。(2) 説明会(事業の利用)〔直接、人と会ったことが大きかった〕
A3	4年女性・道外・道外	(1) インターネット。現地(の市役所のパンフレット)。(2) インターネット(自宅でもどこでも手軽に調べられるから)〔他地域のこととなるとやはりインターネット〕
A4	4年女性・市内・道外	(1) Webのナビ、ホームページ。合同説明会、単独説明会。(2) 紙媒体〔(1) マイナビ、リクナビ(2) 企業のパンフレット。一番はやはり会って話すこと〕
A5	4年男性・市内・道外	(1) マイナビやリクナビ、転職口コミサイト、四季報、業界地図(2) 新聞データベース、口コミは「?」
A6	4年男性・道内・道外	(1) マイナビ、リクナビ(2) インスタなど、こちらからアクセスして適当な気持ちでざっくり見れると良い〔マイナビやリクナビでもいいけど、メールがたくさん来るのがうっとうしかった〕
A7	4年男性・市内・道外	(1) 企業のWebサイトや企業説明会。(2) 企業のWebサイトや企業説明会〔客観的な情報が知れたかった〕
A8	4年男性・道外・道外	(1) 会社のWebサイトやインターネット、四季報など(2) ネットや四季報でOK
A9	修士2年女性・道外・道外	(1) 企業採用ページ、新聞、マイナビ、Workers、エン転職など(2) 社員の生の声分かるサイト〔Workers、エン転職→会社の生の評判が分かるサイト〕

■B グループ: 就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1) 大学、ボランティア、ポータルサイト、勉強会(2) サイト〔(1) 現役の先生にお会いして生の声でいろいろかえるよう心掛けた。「先生ポータル」というサイトで若者を募集しているので、先生と触れ合えるボランティアを探して参加した〕
B2	4年男性・市内・道内	(1) 先輩、単独説明会、Webサイト、就活本。(2) 社会人からの情報〔(1) 転職サイト(社会人向け)も見て企業を探した。「日経業界地図」で広く浅く企業を学んで就職活動にも役立った。(2) Facebookを通じて社会人とのつながりも自動的に広がっていった〕
B3	4年男性・道内・市内	(1) リクナビ、マイナビ、インターンとか。(2) インターン、直で行く〔(1) マイナビ・リクナビは皆がついているから、とりあえず申し込んだ。(2) 社風をリアルに知りたいので直接うかがいたいと当初から思っていたので、インターンはできるだけ多く参加した。不動産業種が大半だが、のべ30~40回のインターンに参加し、3年の夏はほぼ毎日インターンに行っていた。1日だけのインターンが最近多いので、それだけいろいろな企業にうかがうことができた。学生は大人と話す機会が少ないので良い機会になった。また他のインターン生の考えを聞くことができるので自分を客観的に見ることができた〕
B4	4年女性・市内・市内	(1) リクナビ、マイナビ、道新ジョブダス、企業HP(2) もっと穏やかな企業説明会〔(1) 就職先が学校の近所だったので、外から様子はどうかがった。(2) 大学に企業が来てくれて、学生と職員がフリートークし合えるような〕
B5	修士2年男性・道内・市内	(1) 企業のWebサイト(2) ネットで調べられると良い。社員のタイムスケジュールや生活スタイルが例示されるとわかりやすい〔2社応募した〕

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B6	4年男性・市内・市内	(1) インターネットや資料 (2) <u>会社訪問</u> で直接知れたら良かった〔6月の単独説明会を受けて、1週間後には1次選考あつという間に決まった。受けた企業数は3社〕
B7	4年男性・市内・市内	(1) 就活系サイト (2) 不便ではなかった〔まちなかの企業は実際に見に行った（19時ごろに外から退社の様子をうかがった）。15社応募して7社面接〕
B8	4年女性・市内・市内	学内企業説明会、パンフレット、Webサイト。(2) 具体的にどんな仕事をするのか。優しく聞ける先輩がほしかった〔公務員1本〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
C1	4年男性・道内・道内	(1) 札幌市のWebサイト、札幌市を知っている人、予備校 (2) 説明会。企業や自治体のことを知っている人に聞く〔キャリア支援センターの人とのつながり。ネット上でわからないことは人から聞く。市職員（市役所のことを知っている人）から情報を提供〕
C2	4年女性・市内・道内	(1) インターネット（マイナビ）、学校、会社訪問 (2) インターネット〔インターンシップ、説明会、ワークショップなど。大学で就活の基本を学ぶ場が設けられていたため、参加していた。就活の基本を学ぶ場では、自己分析の情報。展示場を見に行くことで営業の人の対応を見ることができた〕
C3	4年女性・道内・市内	リーサス、市役所職員
C4	4年男性・道内・道内	(1) インターネット、友人 (2) 説明会に足を運ぶ〔インターネットで書かれている情報は少ないので、 <u>働いている人の生の声が聴きたかった</u> 〕
C5	4年男性・道内・道内	(1) 大学の講義等 (2) CM〔youtubeの広告など、現代だと色々な手法があると思う〕
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) 大学のポータルサイト、キャリア支援センター。インターネット、人伝え。(2) スマートフォンのアプリ、新聞、YouTube 広告〔ミナトコム（大学専用の口コミ情報）〕
C7	4年女性・道内・道内	(1) リクナビなどの就職支援サイト。(2) スマホアプリ〔大学の就職支援センターは微妙。参考サイトはリクナビ、マイナビの他にキャリアタス、ダイヤモンド就活ナビなど〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
D1	3年男性・市内・市内	(1) 就活サイト (2) スマートフォン用ニュースアプリ〔地元企業を紹介しているような地域情報誌を、ネットを通じて全国に周知する〕
D2	3年男性・道内・未定	(1) 就活サイト+企業のHP (2) Web上での複数企業の比較〔自分がセレクトした企業を複数の条件で比較できるような表を自分で作成し、Web上で見れるようになると良い〕
D3	3年女性・市内・道外	(1) 新卒向け就職サイト (2) 大学内のポスターやチラシ（イベントやセミナーの案内）〔Webだと例えば総合職の中にデザイン業務の企業があったりと、調べにくいケースがある〕
D4	3年女性・道外・未定	(1) 就活サイト (2) 公的機関が発行する冊子〔就活サイトに登録するとたくさんメールが来て、かえってわかりにくくなる。事前登録情報と企業とのマッチングもずれている〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(1) インターネット (2) SNS (Facebook) など〔SNSだと企業が身近に感じる。親しみやすい。週数回の頻度の更新があると、SNSを活用していると考える〕
D6	短大1年女性・市内・市内	(1) マイナビアプリ、過去の先輩の報告書。(2) Web〔報告書は学校でも（強制的に）見ると良い〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
D7	3年女性・道外・道外	(1) 社名をネット検索。(2) ロコミサイトなど（公式ページは自己紹介、ロコミサイトは他己紹介）〔 <u>転職のロコミサイトで社内のイメージを知る</u> 〕
D8	3年女性・道内・市内	(1) Webのみ（公式サイト中心）。(2) Webだけで良いと思う〔Web検索やマイナビの結果から公式ページへ。ただ、マイナビは載ってない企業もままある〕
D9	3年女性・道外・市内	(1) 冊子。いつでもどこでも読むことができる。(2) 大学のキャリアセンターやホームページ〔知らない企業は調べられないから、キャリアセンターの冊子などでどんな企業があるか知らせてくれるのが良い〕

Q5 就職先の企業を決めた／希望した一番の理由は？（条件、魅力等）

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	勤務地（地元、友人が多い）
A2	4年男性・道外・道外	関わる仕事の内容〔インフラで社会を支える。やりがいのある仕事〕
A3	4年女性・道外・道外	政策（仕事内容）が魅力的だった〔まちづくり、環境保全〕
A4	4年女性・市内・道外	自信をもって自社製品を紹介できる。自分の長所を活かせる〔関連会社が道内企業だったこともある。学んだこと（家具、インテリアデザイン）〕
A5	4年男性・市内・道外	賃金、休日の多さ、ネームバリュー、財閥の強み。もちろん、やりたいと思えること〔親も大きい企業であることを喜んでくれた〕
A6	4年男性・道内・道外	自分にとってのやりがいがあるから、様々な人と会って飯が食える。様々な媒体がある
A7	4年男性・市内・道外	扱っている機器に魅力があったため。また、教育制度が充実（OJT）〔大学に入る前から医療関連志望〕
A8	4年男性・道外・道外	賃金。ハウスメーカーとゼネコンを比較すると、ゼネコンの方が平均年収が高い〔結構差があった〕
A9	修士2年女性・道外・道外	博物館に関わること（やりがい）。他2社は落ちた

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	環境。「札幌市学校教育の重点」を読んで。大学の担当教授の勧めも受けて〔大学の担当教授からは、「教員になるのなら札幌市は良い」と勧められた。「札幌市はやる気のある人・フレッシュな人が多いし、研修が多い。」と聞いた。ボランティアに参加して同様の感想をもった。札幌市の「教育の重点」と自分の教員への理想が合っていた〕
B2	4年男性・市内・道内	お金（福利厚生）。会社規模〔資格補助手当のことや、生涯賃金。業界社会人1年目にかかる経費・収入を計算（年収400万円×20年＝1.6億円）し、収入が支出を下回るのであればその企業は受けないと基準を決めた。会社で自分がいかに成長できるか。60代からも独立して働けるようになれるか。土日祝が必ず休みであること。なぜならキャリアカウンセラーなど将来に向けて資格取得できるためにと考えている。やりがいではなく自分ができることは何かを考えて就職先を考えたい〕
B3	4年男性・道内・市内	企業の成長が早そう。雰囲気〔企業理念と自分のマインドが一致するか。自分のスキルが付くか。自分を飾らず素でいられるか。起業もしたい。土地家屋調査士事務所。会社はハウスメーカーだが土地仲介事業を始める時期で、会社のビジョンと自分の方向性とのタイミングが合った。内定は5社からもらい、就活は5月で終了した〕
B4	4年女性・市内・市内	札幌勤務で異動なし。面接の際の質問が3つしかなかった〔札幌勤務で移動無しは労働環境、ライフスタイル、生き方を豊かにする職場を探したため。地元で落ち着いて社会人生活をスタートしたい。面接での3つの質問は「好きな色、嫌いな教科、貧困問題の解決方法」質問が少ないが印象深かった。他の会社からはたくさんの質問内容を聞いてきたが、表面的な気がした。〕
B5	修士2年男性・道内・市内	北海道・札幌で安心して働き続けられそうだったため〔子育て、賃金、休暇、楽しく生きていけるか〕
B6	4年男性・市内・市内	将来性〔東日本中心の会社。「西日本で自動ドアを売る！」と言われ、頑張ろうと思った〕
B7	4年男性・市内・市内	賃金〔初任給のみでなく昇給可能性を含めて。今のところは休みが少なくてもお金が稼げるのならよいと思っている〕
B8	4年女性・市内・市内	転職は考えてなかったの、長く勤められるかどうか〔色々な仕事を体験できる〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
C1	4年男性・道内・道内	まちづくりが盛んだったこと(まちづくりと言えば地域イベントのイメージがあったが、レストランは前例がなく面白かった〔イベントを行って地域振興、といった従来のまちづくり活動ではなく、先進的なまちづくりが行われているため])
C2	4年女性・市内・道内	社員の雰囲気、家の性能の高さ、 <u>北海道に残れる</u> 、 <u>給料が良い</u> 〔社員：人の接し方、考え方。家の性能：仕事をしていく上で誇りを持てる。好きな北海道で働けること、社員・仕事の質が良く、モチベーションが高まること+α(給料が良い)〕
C3	4年女性・道内・市内	人(職員、市民(高齢化))、観光客を活かしていない〔女性が多い職場であること、小樽市における社会的な問題への意識から志望した〕
C4	4年男性・道内・道内	面白そうな仕事内容〔長い期間、知らないまちにいるよりは転勤したい〕
C5	4年男性・道内・道内	大学での経験を活かし、かつ地元に戻元できる〔自分の経験的にふさわしい。待遇はそれなり〕
C6	修士2年男性・道内・道内	いつか地元で…〔待遇は微妙だけど自己実現のために就職を決めた〕
C7	4年女性・道内・道内	待遇〔時間単位で有給が出ること。手当が豊富なこと。1人暮らしの不安。転職もあり得る〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
D1	3年男性・市内・市内	自分が興味持てる仕事かどうか〔モチベーションの維持が大事。会社の方向性が自分の目指す方向と合っているかどうか〕
D2	3年男性・道内・未定	プロジェクトベースで仕事を進められること〔終わりが見える仕事の方が自分の性に合っているから〕
D3	3年女性・市内・道外	利用者の生活の豊かさを高められる仕事に携われるか〔魅力的な商品を世に送り出せるなら他部署でも!〕
D4	3年女性・道外・未定	福利厚生 <u>の充実</u> 〔有休(年10日)季節休(夏休み1週間)や産休(3年ほど)が取得できるか、産休復帰後に元のキャリアに戻れるか(「プラチナくるみん」を取得しているか)など〕
D5	短大1年女性・市内・市内	やりがい!〔自分が楽しいと感じるか(インターンでは、地域の人と触れ合ったり、業務のアイデア出しをしている時にやりがいを感じた)〕
D6	短大1年女性・市内・市内	産休・育休を取得しても元の職場にもどることができる〔手に職があれば、産休・育休をとっても職場復帰しやすいから〕
D7	3年女性・道外・道外	技術力。良い技術力を持つ会社はエンジニアの待遇も良い傾向(社員や会社の将来性にもつながる)〔他の会社に比べて優位性や競争力が高いかどうかで判断〕
D8	3年女性・道内・市内	福利厚生(生活の上で重要)。賃金、勤務時間、勤務地(もし、すぐに行きたい道外企業の内定がもらえたら道外に行く)〔社宅や引っ越し費用の一部負担など、住環境に関する補助があると良い〕
D9	3年女性・道外・市内	育休が取れる。残業が少ない(きちんと残業代が出る)。転勤が少ない

Q6 (1) 就職活動に対する考え方・心構えについて最も影響を受けたのは誰？何？ (2) 具体的に、どのように言われた？／示唆された？(「やりきる」?)

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1) 民間企業の社員。(2) 「仕事は妥協しないほうがいいよ」 [じっくり考えた決めた方がよい]
A2	4年男性・道外・道外	(1) ゼミの先生 (2) 就活は規定演技 [心を楽にもってやれ！ということ]
A3	4年女性・道外・道外	(1) 大学生協の公務員講座のスタッフ (2) 「ご縁」があるとかないとかいう考え方
A4	4年女性・市内・道外	(1) 同期の友人 (2) やりたいことか行きたいところか、胸を張れるか [「言葉をかけあって」そういう交流を進めた。「納得いくまでやりなさい」と就職担当から言われた。「見ただけ見ていいよ」民間企業の採用担当から言われた。「懐の深い企業」という印象をうけた]
A5	4年男性・市内・道外	(1) 海外生活体験 (2) 世界の広さ。この世界には面白いことがたくさんある [札幌にとらわれる必要はないと気づいた]
A6	4年男性・道内・道外	(1) 元記者。(2) 当時の経験
A7	4年男性・市内・道外	(1) 先輩 (2) 覚えていない
A8	4年男性・道外・道外	(1) 大学発行の指導本。(2) 説明会、インターン、面接の時期 [「心構え」などは頭に残っていない]
A9	修士2年女性・道外・道外	(1) 同じ業界に進んだ研究生の先輩 (2) 「やりたいことを伝えられればOK!」「受からなくても、学芸員になれば良い」

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1) 高校や大学の先生、仲間、ドラマ(鈴木先生) (2) 「向いている」と褒められた。「給料3倍」 [大学や教師採用試験の面接の際、高校の先生が色々教えてくれた。仲間とも面接し合って学んだ。尊敬している先生が「給料3倍なら教師を辞める？」かと聞かれていたとき「学校を建てる。」と答えている先生がいて、教師はカッコいいなと思った]
B2	4年男性・市内・道内	(1) YouTuber (Fさん) (2) 企業に対して考える力を身につけられた [「Fさんの就職チャンネル」のこと。Fさんは現経営コンサルタントで以前は某大学就職課で10年働いていたそうだ。チャンネルには5万人ほど登録している。内容は「合同企業説明会に行く意味はあるか？」など、基本から応用まで分かりやすい内容だった]
B3	4年男性・道内・市内	(1) サークルの先輩 (2) 先輩は何もしてなくて失敗していた [先輩を反面教師にした。就活をまともにしなくて社会人になった。話を聞きに行くと愚痴ばかりを言われて格好良くないと思った。生の状況を見ていないから愚痴を言うことになるのだと、2年生の時に気づいたので頑張った]
B4	4年女性・市内・市内	(1) ゼミの指導教員 (2) 「学びの場は大学(教育機関)」だけではない [短大から北海道大学に編入して「高等継続教育」を学んだこと。ゼミ担当教授から (2) と言われた。最初は食品業界のみを考えていたが、他の業界を広く見つめて学びが得られる場を探した]
B5	修士2年男性・道内・市内	(1) 父親。(2) 夜の呼び出しにも応じて、日々すり減らしているのを見ていたのが根本にあります [両親は離婚している。父の仕事は医師で激務。すぐ電話で呼び出されて休日も少なく「父は楽しいのだろうか」と子ども心に疑問に思った。自分は家族と共に歩みたい]
B6	4年男性・市内・市内	(1) 母親。(2) 「好きなようにやりなさい」と言われた
B7	4年男性・市内・市内	(1) 強いて言えば親。(2) 助言は心に留める程度 [父親は単身赴任中。両親ともに「好きにきなさい」]

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B8	4年女性・市内・市内	(1) 親。(2) 相談に乗ってくれた〔母親には活動内容について相談した。父親は公務員なので日ごろの様子で。父も私も体が弱いので、長く続けられる仕事を選んだ〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	(1) 学校職員の助言 (2) ここまで頑張ったのだからやりきろう。終わってからでも良い〔最初に受けた行政で内定がもらえず、民間で就活を進めようと思ったときに、就活サポートの人から「公務員をやり通す」ことを進められた〕
C2	4年女性・市内・道内	(1) 人事、先輩職員。(2) 就職活動の軸を持つ。自己分析をしっかりする。自分の言葉で話す〔過去の経験から自己分析を行うこと〕
C3	4年女性・道内・市内	(1) 転学科。教授から「PTより公務員では？」と言われた。(2) 就職担当の職員「10月過ぎてから内定を辞退するのはやめてほしい」、ゼミの教授「やりきりなさい」〔既に内定をもらっていた企業も出身大学からの就職は初めてだったため、担当職員からは辞退は勧められなかった。公務員を強く志望していることを知っているゼミの教授からはやりきることを勧められた〕
C4	4年男性・道内・道内	(1) 公務員を目指していた先輩 (2) 「勉強と面接をしろ」〔大学の先輩から失敗談を聞いた〕
C5	4年男性・道内・道内	(1) 高校の元担任、キャリアセンターの事務員。(2) 「どの道を選んでも後悔しないことはない」〔教職から公務員に志望を変えようとしたときに、やってみたいことにチャレンジすることを勧められた〕
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) 実習 (2) 実際に肌で感じてフィットしている気がした〔4年で合格、院で2年間の猶予を貰った。小学校でサポーターの経験があり、自分に向いている職業だと感じた〕
C7	4年女性・道内・道内	(1) 母親、先輩。(2) 「手に職をつけるべき」〔手に職をつけておくと転職がしやすいため〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(1) 教授 (2) 社会を広く見ること〔自分の感性に沿って活動する（飾らない）よう助言してくれた。内定も手ごたえを感じたらそこで活動終了。フィージングが合わなければ活動を続ける。「やりきる」は聞いたことが無い〕
D2	3年男性・道内・未定	(1) メンター (2) 就活の軸の決め方、企業の絞りこみについて〔なりたい自分になるためには、どの会社が良いか。それを判断するための「軸」を決める。メンターから「やりきる」手法もあると聞いた（自分自身はしていない）〕
D3	3年女性・市内・道外	(1) ネットのロコミ (2) 浪人していると就職が厳しい〔就職と進学で悩んだこともあった。ロコミサイトは参考程度に見ている。「やりきる」は聞いたことが無い〕
D4	3年女性・道外・未定	(1) 本と親族 (2) 本からは就活の軸を、親族からは企業の価値観に関して影響を受けた〔祖父から「トップがいなくなったらダメになるような会社には就職するな」と言われ、応募をやめた会社がある。「やりきる」は聞いたことが無い〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(1) 就職課の職員 (2) 早めに動くこと（1年の12月ごろから）〔4年生大学の新卒者向けの説明が多く、短大生向けの説明会は少ないため。「やりきる」は聞いたことが無い〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
D6	短大1年女性・市内・市内	(1) 学内就職説明会。(2) 「早めに行動すること。」学内の就職関連施設の使い方やWebサイトの見方など〔周りも就職活動に熱が入る(同学年の友人)。業種は少数(できれば1つ)に絞るようには言われた。「やりきる」というのは聞いたことがない]
D7	3年女性・道外・道外	(1) 父親と社会人の知人。(2) (父親)有名・無名に関係なく、面白いことが出来る会社に入りなさい。(知人)社会で自分の役割を果たす〔会社の軸や方針をしっかり持っている会社、きちんと社会に還元している会社かどうかを見極める。『自分と社風』のマッチングを重視しなさい』とは言われたことがある。「やりきる」というのは聞いたことがない]
D8	3年女性・道内・市内	(1) 母親。(2) 中小企業よりは大企業の方が安定していると思う。ただ、やりたいことが特になければ福利厚生で就職先を決めるべきだと思う〔「やりきる」というのは聞いたことがない]
D9	3年女性・道外・市内	(1) 色々な人から話を聞いて考えたが、最終的には自分のやりたいようにやる!という感じに開き直った。(2) どのように就職活動を行うか、具体的なことは何も言われなかった〔友人から「大企業は分業・専門家が進み、様々な関われない。中小企業の方が色々なことが出来て良い」との意見は聞いたことがある。「やりきる」というのは聞いたことがない]

Q7 (1) 就職先の地域を決めた／希望した一番の理由は？ (2) 【就職先／希望先が道外の人のみ】就職先地域が「道内」に変わるのには何が必要？

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1) 東京に行く人が多い。情報やイベントが多い。他へのアクセス。 (2) 札幌での説明会、セミナー、展示会〔知り合いの人・先輩。東京の会社に誘われて「明後日、面接やるから」と言われた。東京の優位性を感じさせられた〕
A2	4年男性・道外・道外	(1) 行きたい企業がたまたまその地域だった。(2) 北海道の中心地以外の活性化〔全国視点でみて札幌も活性化している。「大きいもの」を作りたい〕
A3	4年女性・道外・道外	(1) 休日(プライベート)が充実しそうだったから。(2) 大規模なイベントを増やす。賃金を上げる。地理的に問題が〔ジャンプが好き！(人生の80%)〕
A4	4年女性・市内・道外	(1) やりたい仕事ができる&憧れ。(2) 内定、多様な業種〔地域より企業だった。アーティストの出身地…ということも少しある〕
A5	4年男性・市内・道外	(1) 都市の規模(東京、大阪、名古屋、札幌) (2) 企業の競争力、規模、賃金等〔色々な刺激の中で働きたい〕
A6	4年男性・道内・道外	志望業界の中で、道内で受けることができる企業に落ちたため。(2) 魅力に気づいていないのでは？(生活費の安さ)。北海道は広いのがデメリット〔一般的な話として〕
A7	4年男性・市内・道外	(1) 地域では選んでいない(2) 思い浮かばない
A8	4年男性・道外・道外	(1) 賃金が高い(全国規模で) (2) 給料が上がる
A9	修士2年女性・道外・道外	(1) 大学の友人が多く、どこでも行きやすい(福岡県にも安価で帰ることができる)。(2) 交通機関が安価で便利

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1) 制度〔家族のことも考えて(北見出身、札幌住まい)。自分がよく理解している地域でしっかりと教えたかった〕
B2	4年男性・市内・道内	(1) 人とのつながりを増やすため〔人の集まるところに住んでいたい〕
B3	4年男性・道内・市内	(1) 北海道内の顧客数が多い(道内の会社だから)〔札幌は顧客数、出会える人が多い〕
B4	4年女性・市内・市内	(1) 生活しやすさ。新しいことを始めるにあたって、住む地域まで変わるのは負担
B5	修士2年男性・道内・市内	(1) 涼しいから〔子どものころからテニスの道外大会に行っていた。暑すぎるので暮らせないと思った〕
B6	4年男性・市内・市内	(1) お金〔奨学金返済の必要があるので、しばらくは実家から通いたい〕
B7	4年男性・市内・市内	(1) 実家に住んで貯金したい〔お金を貯めて一人暮らしをしたい。今は難しい〕
B8	4年女性・市内・市内	(1) 実家がある。生活が便利〔親が近いと安心〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
C1	4年男性・道内・道内	(1) 北海道が好き。北海道に貢献したかった〔大学選びの時は道外への憧れもあったが、大学生になってから北海道を好きになり、道内で就職することを決めた。高校生の時よりは判断力がついたと思っている〕
C2	4年女性・市内・道内	(1) 札幌の住み心地が良いから〔旅行で道外を見た時に更に札幌が好きになった〕
C3	4年女性・道内・市内	(1) 実家から通勤可能(お金の問題)。小樽が好き

■C グループ：就職先が道内の方が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C4	4年男性・道内・道内	(1) 転勤が道内のみだから。道内出身だから
C5	4年男性・道内・道内	(1) 地元。祖父母も住んでいるから。
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) 宗谷（私的な理由で。昔は地元だった）
C7	4年女性・道内・道内	(1) 待遇の良い企業が釧路に在ったから〔道外の会社が受からなかったので、道内に絞った〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(1) 自分が良く知っている場所だから。(2) 行政による個人負担の軽減〔会社説明会だとお堅い話しか聞けない（ネットですぐ調べられる程度の情報）。道外で就職活動するにも費用（交通費や宿泊費）がかかりすぎる。家賃や水道光熱費、奨学金（手数料だけでも…）など補助してくれたら〕
D2	3年男性・道内・未定	(1) 特になし（地域で決めていないため）。(2) (なし)〔たまたまやりたいことが出来る会社が札幌にあったから〕
D3	3年女性・市内・道外	(1) やりたいことができる会社がありそうだから。(2) ものづくり産業の会社がたくさんあれば（たくさん来るような環境になれば）〔経済特区をつくって、札幌にもものづくりに関する企業をどんどん誘致する〕
D4	3年女性・道外・未定	(1) (比較的、札幌市志望) 地域としての魅力があったから。(2) 交通機関の利便性向上〔他県に比べて、道内他都市は中心部（札幌）との行き来が難しい。札幌市以外の道内は交通機関が使いづらい（運賃が高額、便数が少ない等）〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(1) 札幌の気候が自分に合っているから〔道外向けには「冬は寒くても家の中は暖かい」ことをPRしてみてはどうか？〕
D6	短大1年女性・市内・市内	(1) 実家から通えること。札幌が大好き（住み慣れた町に対する安心感）。小さなころから住んでいる札幌を支える人になりたい。(2) (なし)〔兄の学費がかかり、実家暮らしせざるを得なかったという理由もある〕
D7	3年女性・道外・道外	(1) 生活の便（交通機関）。(2) 車が無いと不便（車があることが前提）。交通機関の充実や免許取得のしやすさ向上〔車前提の生活は厳しい〕
D8	3年女性・道内・市内	(1) 住みやすい、息苦しくない、（出身地よりは）適度に都会。就職と同時に引っ越すのは経済的負担が大きい
D9	3年女性・道外・市内	(1) 住みやすい、車が要らない（地下鉄）、市街地中心部が密で、近いところで全てそろそろ。通勤ラッシュも辛くない〔発達した交通機関、でも混雑していない。コンパクトシティ〕

Q8 (1) 【就職先決定者のみ】就職先(企業・地域)の希望はどの程度かなったか?100点満点で言うと? (2)希望がかなわなかった/希望がかなうのが難しそうなのはこういった点?

■Aグループ:就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1) 70件。希望する部署に行けるかどうか
A2	4年男性・道外・道外	(1) 100点満点 (2) 配属先〔配属先によっては減点の可能性あり〕
A3	4年女性・道外・道外	(1) 第一希望のまち(東京の区)ではなかった(第2希望に就職した)
A4	4年女性・市内・道外	(1) 85点 (2) 初めてのひとり暮らしが道外なので不安
A5	4年男性・市内・道外	(1) 90点。日立に受かっていたら100点? (2) 日立の方がやりたいことに近かったかも
A6	4年男性・道内・道外	(1) 50点。 (2) 札幌(北海道)に居たかったから〔生活がかつかつになりそう〕
A7	4年男性・市内・道外	(1) 100点。 (2) なし
A8	4年男性・道外・道外	(1) 75点。 (2) もっと大きい会社(平均年収が高い会社)があったが、不採用だったため
A9	修士2年女性・道外・道外	(1) 90点。 (2) 第一志望に落ちたから。業界自体はOK〔受かった会社は第2志望〕

■Bグループ:就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1) 100点 (2) 選考倍率〔 (2) 教採試験に無事受かったので良かったが、教採試験は市と道しかないので非常勤が多いこと。小学校の教員を希望しても、中学校の資格をもっていると中学校に配属されることもある〕
B2	4年男性・市内・道内	(1) 70% (2) 入ってから〔1年休学しているので、同期は社会人1年目なのだが1年で辞める人が多い。-30%は入ってからでないといけないから〕
B3	4年男性・道内・市内	(1) 90% (2) インテリア系からはそれってしまった〔 (2) 元々建築志望だったが挫折し、不動産会社で営業とインテリアデザイナーができればと思っていたが土地に関わる仕事に変わっていった。本来の要望はあるが、この変更は納得できる範囲。先輩に営業とインテリアデザイナー両方をしている人もいたので、働きながら考えていきたい〕
B4	4年女性・市内・市内	(1) 98点 (2) 矛盾〔 (2) 生活の基盤は札幌に置きたいが、一方で色々なまちも見てみたい〕
B5	修士2年男性・道内・市内	(1) 99.5点 (2) 強いて言えば中央区・西区が良かった〔勤務地は厚別区。中央区・西区は環境がよさそうなので、数年後に家庭をもつことを考えたら、くらいの気持ち〕
B6	4年男性・市内・市内	(1) 100点 (2) (なし)〔どこに行くのではなく、めぐりあわせの縁で。社長も魅力的なので満足している〕
B7	4年男性・市内・市内	(1) 98点 (2) 当初とは違うものになったのと、希望地未定のため〔希望業種(金融)と異なるのと、勤務地未定であるので-2点。満足しているが。銀行も内定をいただいたがブラック企業のような感じた〕
B8	4年女性・市内・市内	(1) 100点 (2) (なし)〔公務員試験に色々受かったため、選べたことも良かった〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	(1) 95点 (2) 意外に家賃が高い…〔中小都市の割りに家賃が高いこと〕
C2	4年女性・市内・道内	(1) 100点 (2) (なし)〔志望は2つあった。内定先は安定性があり、社員・仕事の質が良い。もう1社は設立から日が浅いベンチャー企業であり安定性はないが、成長中で仕事が面白いと思っていた。結局後者から内定はもらえなかった〕
C3	4年女性・道内・市内	(1) 99点 (2) 財政破綻の危険性〔行政といえども財政破綻する可能性はあるため〕
C4	4年男性・道内・道内	(1) 80点。(2) 親に転勤族になるのを反対されたため〔長男であることや、家庭をもつことが難しいことについて反対された〕
C5	4年男性・道内・道内	(1) 90点。(2) <u>仕事内容に不透明な部分がある。説明会が一切ない</u> 〔去年入社した友人から情報を得た〕
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) 80点。時間外労働の多さは不満。(2) <u>勤務先が選べない</u>
C7	4年女性・道内・道内	(1) 80点。(2) 札幌で働くことができない〔札幌には色々なものがあるため〕

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(2) スピーディな選考〔面接を受けた会社もそうだが、意思決定が遅く感じる〕
D2	3年男性・道内・未定	(2) 移動〔移動に時間が取られて、色々な企業に応募する機会が減ってしまう〕
D3	3年女性・市内・道外	(2) 道内だと業界や業種が限られていて選択の幅が狭い〔業界や業種が少ないのは元より、その業界や業種に関連した知識や技術を学ぶ場所や機会も少ない(大学や学科、技術系イベントなど)〕
D4	3年女性・道外・未定	(2) 面接会場〔面接1時間に対し、移動で1日(飛行機、宿泊)。お金や時間の無駄が多い〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(2) 短大卒を受け入れてくれる企業〔短大卒となると、そもそも話を聞いてくれない〕
D6	短大1年女性・市内・市内	(2) <u>そもそも募集条件が4年生大学ばかりで、短大だと面接も受けられない。転勤が多い</u>
D7	3年女性・道外・道外	(2) 自分がこれまで培ってきた専門性が軽視される可能性がある。「経験問わず」といった表記や説明ばかり。実際にこれまで学んだことと関連性のない分野に配属される人も多い〔これまで学んできたことが考慮されていないのは苦痛〕
D8	3年女性・道内・市内	(2) 残業は避けられなさそう(きちんと残業代をだすならOK)。10時出勤やフレックス通勤など(会社によって制度がまちまちだから、かなうかどうかわからない)
D9	3年女性・道外・市内	(2) 試験・面接で落選した場合

Q9 企業について最も知りたかった／知りたい情報は？

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	社風・雰囲気
A2	4年男性・道外・道外	働いている人の <u>雰囲気</u> 〔後は自分で調べられるので。長く働くためには大切〕
A3	4年女性・道外・道外	仕事の実情〔残業、手当の状況。配属希望をどこまで聞き入れてもらえるか。「 <u>雰囲気</u> 」もある〕
A4	4年女性・市内・道外	社の <u>雰囲気</u> 。自分が居て違和感がないか〔 <u>採用担当の人と触れあうこと</u> で探った〕
A5	4年男性・市内・道外	値代別の平均賃金、残業時間、昇級の条件、福利厚生(社販、保養地)、女性の活躍、障がい者、LGBTの雇用など〔答は帰ってこなかった〕
A6	4年男性・道内・道外	社内の内情、風通し、人間関係、財務諸表(決算書)、仕事の中身(社員の一日、いつ帰れるのか、激務なのか、どんな仕事を任せてもらえるのか、仕事は単調なの)
A7	4年男性・市内・道外	<u>仕事内容</u> (1日のタイムスケジュールなど)〔残業の多さ(入社することが決まってから残業が多いことを知った)〕
A8	4年男性・道外・道外	賃金(特に年代別平均)〔仕事内容は大学の授業である程度わかっていたので〕
A9	修士2年女性・道外・道外	<u>仕事内容</u> 、どんな業績があるのか、女性の活躍〔博物館にどの程度関わられるのか。女性が結婚した後でも働けるのか〕

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	帰宅時間、校務分掌、保護者、地域〔教員の定時は8時30分～16時35分だが、ボランティアにいても、実習にいても定時で帰っている人は一人もいない。教職は異動が多いので、 <u>雰囲気</u> はつかみきれない。校務分掌(学芸会担当、地域との関係づくり等)何を担当するかわからないので不安〕
B2	4年男性・市内・道内	<u>人間関係</u> 、 <u>雰囲気</u> 、将来性〔3年以内の離職理由「人間関係」。職場力のバロメーター。グローバル。各国との関係性〕
B3	4年男性・道内・市内	社内全体、事務所ごとの <u>雰囲気</u> 、 <u>人間関係</u> 〔会社は見ればわかる。人は会わないとわからない。「オフィスに行ってもいいですか?」とお電話して実際に伺った。コミュニケーションがあるか、ムダ話をしているときがあるか、などを見ていた。会話のない会社は不安だなと思った。就職活動で会う企業の人人事担当者。人事はいい人ばかりなので現場とは違うことがある〕
B4	4年女性・市内・市内	<u>上司の人柄</u> 。 <u>社員の生活モデル</u> 。退職理由〔「休日は何をやってますか?」と聞き出すが、本音かどうかわからない。働いている人たちのタイムスケジュール、習い事、おしゃれ、身なりなどから余裕を測り取る。退職理由は知りたいが教えてくれないので、Web「 <u>転職会議</u> 」も参考にした。入社前に会社の先輩方と腹をわって話せる機会などがあるとよいのだが〕
B5	修士2年男性・道内・市内	会社の空気感。賃金、余暇と合わせた社員のライフサイクル〔社員さんに趣味の確認をしたら、賃金面や勤務体制の状況は伝わってきた〕
B6	4年男性・市内・市内	休日について〔有休をとれるかどうか。人事課の社員が「海外旅行に有休をとってよく行く」と言っていたので安心した〕
B7	4年男性・市内・市内	人事担当者の賃金〔ライフステージごとの給与、内定後、人事の人に40代後半の給与を聞いたが、やはり教えてもらえなかったが、安くはないから大丈夫と言われた〕
B8	4年女性・市内・市内	どういった仕事をするか

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	職場の生の風景 [インターンのように公務員としてのリアルな体験ができる場]
C2	4年女性・市内・道内	会社の雰囲気。社員と直接話す機会を
C3	4年女性・道内・市内	(自分は知ることができたが) どのようにして知る方法を探すのか? [困ったときにどの手段を用いるとよい、といったことがすぐわかるとより良いと思った]
C4	4年男性・道内・道内	福利厚生。働き方 [細かな福利厚生の内容]
C5	4年男性・道内・道内	仕事内容。(入庁1~3年目くらいの人の) 生の声
C6	修士2年男性・道内・道内	社員のモデルケース
C7	4年女性・道内・道内	本音 [良いこと以外を聞ける場が無い。働いている人の本音が聞きたい]

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	その会社や業界の嫌なところ [会社説明会では良い点しか聞かない。悪い点も知りたい (どこまでなら許容できるか、といった判断材料にしたい)]
D2	3年男性・道内・未定	働いている人の人柄 [個人的感情で判断せず、意見やアイデア等をきちんと聞いてくれる人がいるかどうか]
D3	3年女性・市内・道外	人材に求める具体的な内容 [専門的な勉強をしてきているのに関係ない仕事をさせようとしているのでは? 会社が求めているスキルを教えてください]
D4	3年女性・道外・未定	その会社の業務内容と、社員の経歴 [その会社の平均的な社員像が知りたい (どのようなキャリアを歩めるか)。社員の経歴をデータベース化し、一覧で見たい]
D5	短大1年女性・市内・市内	転勤の有無 [業務命令には従うが、札幌にいたい気持ちが強いので、いやな気分になる]
D6	短大1年女性・市内・市内	産休・育休・時短労働などの制度があるか。また、その制度を利用している人はどれくらいの割合か。転勤の有無 [休暇の消化率など、具体的な数値を示してほしい]
D7	3年女性・道外・道外	入社後の配属先について希望は通るのか? その後の異動は? 自分で選んでキャリア形成はできるのか [他のグループ企業への出向などは嫌だ。配属希望と希望の実現度合いを数値で示してほしい]
D8	3年女性・道内・市内	福利厚生 (休暇の充実、手当、社宅または住宅補助)、賃金、勤務時間、年間休日、社員教育 [子育てに関する休み (育休・看護休暇) がきちんと取れるか。研修の期間や内容が充実しているかどうか]
D9	3年女性・道外・市内	社内の雰囲気ややりがい (働いている人の生の声) について知りたい [大学内での少人数説明会で聞いた時は、社内の雰囲気などの説明があったので良かった]

Q10 就職先として、道内企業と道外企業を比較して劣っていると思った点は？

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	できる仕事の大きさ〔JR北海道、インフラ系の将来性を考えて〕
A2	4年男性・道外・道外	知名度、規模(経済性)〔まず、道外企業の名が浮かんたので〕
A3	4年女性・道外・道外	予算、財源の少なさ(人口の少なさ)。やれる事業が少ない。新しい取組が出来ない〔自治体を比較して〕
A4	4年女性・市内・道外	視野の狭さ。道内は道内の人材を取る人数を増やす。道外は各地から〔採用活動の中での(狭い地域で採用)。業務の内容も?〕
A5	4年男性・市内・道外	人事制度の差(規模に比例する)。仕事の幅、チャンス〔海外にも行きたい。出世もしたい〕
A6	4年男性・道内・道外	道内配属地、転勤があると遠いイメージ。東京・大阪に比べて人脈の弱さ
A7	4年男性・市内・道外	仕事上での経験(学ぶこと)が道内では少ない点〔クライアント(病院)が少ない〕
A8	4年男性・道外・道外	賃金。道内は月20日勤務で年500万円、道外は24日勤務で年700万円
A9	修士2年女性・道外・道外	志望する業種の会社がなかったのでわかりません

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	大学、学生、教師の熱量〔北海道の教員養成大学はのんきだと言われることがある。東京では教採に受かるのは当たり前として、指導法などその次のことを考えて学んでいる。OJTを取り入れてみては?インターン・就活の競争心も強い。あと札幌から出るのには「東京はかっこいい」という雰囲気もまだあると思う。東京舞台のドラマが多いのでイメージがつけられる〕
B2	4年男性・市内・道内	熱量、賃金、道内本社の数〔東京の就活生は才能や熱量がすごい。札幌就職希望者も東京の就職試験を経験してみるほうがよいと思う。東京は賃金1,000万円の人が少なくない。北海道の企業は関東(東京)本社が5割。本社勤務を狙うなら北海道を出る必要がある。北海道オリジナル企業が少ない〕
B3	4年男性・道内・市内	就活のシステム(インターン)、企業数。顧客母体〔道内のインターンシップは東京に比べて機会が少ない。1day短時間のインターンだと4社巡るのが精いっぱいだが、東京は夜のインターンや面接もあるので、もっと効率的にめぐることができる。東京で就職活動を体験することで、札幌での内定が取りやすくなる〕
B4	4年女性・市内・市内	インターンの内容、道内は間接的で東京は直接的。身近なモデルケース〔東京で化粧品関連企業のインターンに行ったら、販売員のひとと化粧を他人にほどこす訓練を受けた。道内だとグループワークなどが多いので実際の業務体験型が増えてほしい〕
B5	修士2年男性・道内・市内	表面上での賃金の水準。大企業の有無(関東圏は日本の中心なので仕方ない。遠くなるほど不便。種類も減る〔札幌23万円、東京26万円(初任給)〕
B6	4年男性・市内・市内	規模〔強いて言うなら、それほど劣っているとは思わない。「活躍」感の違い〕
B7	4年男性・市内・市内	職種〔現在の内定先企業の職種にあるカスタマーシステムエンジニアは北海道で採用しないので、劣っているのかな、と思う。また「地域ステージ給」制度がある。札幌6,500円、東京20,000円、鳥取0円〕
B8	4年女性・市内・市内	賃金〔生活費も安い、賃金も安い〕

■Cグループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	就職先の量。大手 or 中小
C2	4年女性・市内・道内	大手が少ない。業界によって企業数に偏りがある。就活が容易すぎ？〔北海道にやりたい業種の企業がない〕
C3	4年女性・道内・市内	お金、人事の人のガツガツさ〔道内の企業は人事が熱心ではないように感じる〕
C4	4年男性・道内・道内	広すぎる。同期が少ない〔交通便〕
C5	4年男性・道内・道内	賃金、グローバル性、通いやすさ〔雇用の幅〕
C6	修士2年男性・道内・道内	企業のあるまちの魅力〔観光地のイメージが強い。暮らしに対するイメージがない〕
C7	4年女性・道内・道内	スピード感、都会感〔あこがれ(関東)〕

■Dグループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	企業規模〔支店数や所在地域などが少ない。全国的に知られていない企業が多い〕
D2	3年男性・道内・未定	明確なキャリアパスが示されていない〔企業説明会で聞いても、きちんと答えてくれる企業は少なかった。キャリアパスも含め、道内から道外へ詳細な企業情報を発信してみる(道外の方は道内企業をあまり知らないのでは?)〕
D3	3年女性・市内・道外	安定感のある企業や職種が限られている〔製菓やパチンコなど。他は中小企業ばかり。機械生産の大手が札幌には少ない〕
D4	3年女性・道外・未定	道内だけにしかない企業
D5	短大1年女性・市内・市内	企業の数〔東京は隣接する県にもたくさんの企業があるが、道内は札幌がほとんど〕
D6	短大1年女性・市内・市内	賃金の差。知名度〔短大卒の初任給で一人暮らしはキツイ。一部上場しているような有名企業が札幌市には少ない〕
D7	3年女性・道外・道外	勤務地に通うのが大変。外部との取引や交流が軒並み道外〔さくらインターネットの企業見学会は同社の強みや道内に拠点を置いたメリットが分かりやすく良かった。道内に本社を置くメリットが少ない?道外での業務や取引が増えるなら、初めから道外(関東など)に本社を置く〕
D8	3年女性・道内・市内	賃金(物価の違いによる部分はあると思うが)〔奨学金の返済を考慮すると、道内企業の賃金は厳しい〕
D9	3年女性・道外・市内	企業数が少ない(選択肢が限られる)。将来性〔以前、出版社に興味を持って調べたが、市内企業は10社くらいしか見つからなかった〕

Q11 (1) (市外就職者/希望者) 札幌にUターンしたい? / (市内就職者/希望者) 住み続けたい? (2) Uターンするには/Uターン者を増やすためには、何が必要?

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
A1	4年男性・道外・道外	(1)ある程度年をとったらUターンしたいかも。(2)同種の仕事ができること。 <u>札幌への転勤希望者は多い</u> (観光、通勤時間)〔就職活動中に、親戚からそう聞いた。転勤先ランキング1位または2位〕
A2	4年男性・道外・道外	(1)少しの期間(3年程度から)(2)仕事/給与(将来性のある)〔寒いので飽きる。 <u>転勤は苦ではない</u> 。大企業の札幌支店で働きたい人はたくさんいる〕
A3	4年女性・道外・道外	(1)NO(2)賃金・給与水準のアップ(企業本社を誘致)。遊ぶ場所
A4	4年女性・市内・道外	(1)どちらでもない。他の場所を経験してから。(2)Uターン転職等の補助をしてくれたら。(3)札幌に移住するメリットを生む手当〔メリット〕
A5	4年男性・市内・道外	(1)数年後に考えたい(居心地がいいから)。(2)奨学金返済補助〔転職先の業界にもよる。100万円ではなく、300~400万円なら考える〕
A6	4年男性・道内・道外	(1)札幌に本社がある企業に入れるなら、支社・支局に。(2)生活費の安さをPR。就活エージェントにマッチングを推してもらおう〔行政などの取組が必要ではないか〕
A7	4年男性・市内・道外	(1)NO(2)クライアントが増えること
A8	4年男性・道外・道外	(1)YES(2)札幌や北海道での仕事が増える、売上げが増える
A9	修士2年女性・道外・道外	(1)NO(2)博物館に関する仕事ができる企業が増えること

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
B1	4年男性・道内・市内	(1)住み続けたい(2)中途採用の活発化(情報公開・説明会など)。 2)札幌市ならではの〔札幌の今あるよさを残す。「数多くの出会いや熱量」をみんなが求めているわけではない。「落ち着いて働ける」を売りにしてもいいのでは〕
B2	4年男性・市内・道内	(1) <u>したい</u> (2)企業数(誘致)〔若者の起業家への融資に力を入れてもっとPRする。信金融資の件数や内容など〕
B3	4年男性・道内・市内	(1)最終的には戻りたい(2)フリーランスへの支援を充実〔知人にIT系のフリーランスが多い。若い起業家への支援。融資もそうだが、確定申告などの基本から。IT系起業家は今後も増えると思うんでWi-Fi、インフラ強化も必要〕
B4	4年女性・市内・市内	(1) <u>YES</u> (2)企業(働く)、子育て(生きる)〔企業から学生へのアプローチ。市は企業誘致の多さをアピールする。札幌らしさや企業の力をどうアピールできるか。町の魅力づくりが必要。「生活しやすさ」はアピールポイント。家族を持ち、子育てしやすいまちであること〕
B5	修士2年男性・道内・市内	(1)今のところは <u>住み続けたい</u> 。(2)有名な企業の工場等を、広い土地を活かして利用してもらう。交通の利便性を改善すれば良いのでは〔3~4年後に家庭を持ち、理解・状況が許せば海外に行きたい。日本の将来性が見えない。理系の中では日本は先進国ではないかも。行けるならドバイに行きたい(IT業)。日本は教育制度から見直しが必要なのは〕
B6	4年男性・市内・市内	(1)住み続けようとは思わない(ただし場合による)。(2)賃金を上げる〔転勤は喜んで受ける。言われなければ <u>札幌に住み続ける</u> 〕
B7	4年男性・市内・市内	(1)住み続けたくない(2)除雪をしっかりと〔営業で車を使う。冬の運転を負担に思う人や雪かきにうんざりしている人が多いのでは?〕
B8	4年女性・市内・市内	(1) <u>YES</u> (2)道外でも道内の企業をしたり応募する機会を作る〔交通費の支援など〕

■Cグループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
C1	4年男性・道内・道内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) 給料〔給料を高くする〕
C2	4年女性・市内・道内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) 中途採用の活発化(情報公開・説明会など)〔リクナビの転職に関するイベントなどがあるが、そのようなものを多く開催する〕
C3	4年女性・道内・市内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) (戻ってくるには)情報(住みやすさ、働きやすさ→生きやすさ)。多種の業界の誘致〔キャリアアップのために〕
C4	4年男性・道内・道内	(1) <u>札幌に住み続けたい気持ちもある</u> (2) 市内外から説明会に来た人に交通費を渡す
C5	4年男性・道内・道内	(1) したくない(都会すぎて疲れそう。人も多い) (2) 住居の低価格化。地元に戻りやすい(帰省)交通網を整える
C6	修士2年男性・道内・道内	(1) NO (2) 札幌周辺の発展〔札幌近郊に住んで札幌で働く可能性〕
C7	4年女性・道内・道内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) 魅力を高める。待遇を良くする

■Dグループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
D1	3年男性・市内・市内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) 行政からの支援〔公的・私的な支援をあらゆる媒体で伝える。市だけでなく企業なども積極的に発信する〕
D2	3年男性・道内・未定	(1) 就職したい会社があれば。(2) 転勤等で道外に行かないようにする〔勤務地を確約する〕
D3	3年女性・市内・道外	(1) 今のところUターンは考えていない。(2) 専門的知識を受けることができる機会の創出〔工業的な専門知識を学びたくても札幌だと選択の幅が狭い(北海道大学以外では室蘭工業大学しかなかった)〕
D4	3年女性・道外・未定	(1) 場合による。(2) 移住を助ける制度の充実〔冬期間の家賃や燃料費などの補助。住環境は良い(安価な家賃、気候)と思うので、どんどんPRしていく〕
D5	短大1年女性・市内・市内	(1) <u>住み続けたい</u> 。(2) 交通機関の利便性向上〔地下鉄やJRなどの交通網強化(関東並みの利便性)〕
D6	短大1年女性・市内・市内	(1) <u>永住希望</u> (2) 交通網の発達(主に地下鉄)〔車が必要ない、もしくは住まい周辺で事足りるような生活が出来れば〕
D7	3年女性・道外・道外	(1) (現状のままでは)Uターンはしないと思う。(2) 家賃の低さや休日のレジャーなど、魅力は大きい。在宅勤務可や市中心部に近い場所にオフィスが増えると良い〔不便さを上回る利便性や魅力を発信。「札幌の素」を発信→地元と違う点がその人にとって魅力的に見えることも〕
D8	3年女性・道内・市内	(1) わからない。自信がついたら出ていくかも。(2) どんな人でも働きやすく、色々な人に対応した職場環境を〔特に交通機関。色々な手段(車通勤、地下鉄、バスなど)があると良い。札幌の美味しいごはんを食べさせたら、札幌を好きになってくれる?〕
D9	3年女性・道外・市内	(1) <u>住み続けたい</u> (2) 札幌を好きになってもらう。住みやすさ(家賃の安さ、ほどよく都会など)をアピール。市をあげて若者の就職・定住を支援する(住居の補助、子育て手当の充実、託児所の増加など)〔SNS(Twitterなど)で住みやすい街であることをPRする。雪まつりや温泉など、都会にありながら自然を満喫できるバランスが良い〕

Q12 市内の中小企業は、知ってもらふ・面接に来てもらふ・就職してもらふためにどうすれば良いと思う？／どんな取組があれば良いと思う？

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
A1	4年男性・道外・道外	大きな仕事ができること。PR〔東京・大阪に劣らない仕事ができる！〕
A2	4年男性・道外・道外	話題に上る広告やSNS。道内就職希望者への集中的な宣伝〔SNSはその企業を深く知るために見る。関西の企業だと「説明会で謎解きゲームをやります!」と企画したことがニュースになった〕
A3	4年女性・道外・道外	Uターン・Iターン向け合同説明会やチラシ・パンフレットでPR。 <u>出来るだけ就活生と企業の人との接点・会う機会を作る</u> 〔職場環境を知ってもらうため〕
A4	4年女性・市内・道外	Web媒体の活用。道外や市外での <u>単独説明会の開催</u> 〔マイナビ・リクナビ。採用情報ページ。道内で道外企業が単独説明会をしているので。合同説明会で、道外企業の単独説明会の案内をされることが多い〕
A5	4年男性・市内・道外	とがったPRポイントが必要。手厚い手当(奨学金)。少数精鋭で一人当たりの配分アップ。賃金アップが大切。無理なら休日の多さ。転勤無しを約束。旅行補助。有休100%消化
A6	4年男性・道内・道外	他にはなかなかない福利厚生の充実。中小企業だからできること。出世のしやすさ、裁量の大木をアピール。実際の社員の暮らし、志望理由、給与明細、収入、支出、仕事ぶり。とりつくるわらない本音〔福利厚生の例「自分探しの旅」に行かせてくれる〕
A7	4年男性・市内・道外	<u>大学への出張講座(または説明会)</u> 〔忙しくて説明会にはなかなか行けない。実際に来てくれた医療機器メーカーがあった〕
A8	4年男性・道外・道外	説明会に行くと、交通費名目QUOカードがもらえた(QUOカード目当てで行った。何故案内メールが来たのかは不明)
A9	修士2年女性・道外・道外	博物館で企業と学生を会わせる会に参加(説明+食事)。費用は企業が出す

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
B1	4年男性・道内・市内	<u>QJT。学びとつなげる</u> 〔現場で一緒に体験できる機会。教師志望の学生・学校×企業〕
B2	4年男性・市内・道内	<u>学生とのタイアップ</u> 。札幌の中小企業は避ける傾向があるのではないか〔中小企業と学生による開発プロジェクト。企業は認知度・採用数アップにつながる。地域と企業と学生がお祭りでコラボする。そのPR・周知を学生コミュニティに任せる〕
B3	4年男性・道内・市内	<u>実際に会うイベント(人事の人でなく。就活関係なしに)</u> 〔「お仕事Bar」がよいと思う。思わず知りたくなる企業イベントを開く。名前を知ってもらふ。大企業と違うので、 <u>学生と泥臭く会って話すことが効果的だ</u> と思う〕
B4	4年女性・市内・市内	<u>道内・市内企業に絞った就職サイト</u> 。企業間協力〔道内で深く広く見れるサイト。札幌だけで働きたい人にとって、情報が探しにくいから〕
B5	修士2年男性・道内・市内	大学の講演に来る(知名度アップ)。広告を出す。会社の名前の付いたユニフォームや車を使う〔先生と企業が仲良くなり大学生と協働研究プロジェクト。中小企業と知り合う機会が少ないので、中小とプロジェクトができれば面白いと思う〕
B6	4年男性・市内・市内	<u>大学や学生との接点を増やす</u> 〔単独説明会やマイナビ・リクナビなどで出会えれば。中小と大企業は区別していない。出会うきっかけが少ないだけ〕

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B7	4年男性・市内・市内	大学と連携して、社長が講演するなど〔教授が社長と仲良くなり、1～2年から職業講座を開く。名刺をいただく機会も多く、インターンに誘われることもある（半期で15回）。単位のとれる一般の講座で「地域の経営者に会う」シリーズ（経営学部）。説明会に参加しない中小企業も来ているので、「このゼミは就職に強い」と言われているようだ〕
B8	4年女性・市内・市内	就職支援活動における道内と道外との協力。交通費援助〔企業の説明会は、自治体間でUターン説明会を交換留学するみたいに交換し合って実施しては〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
C1	4年男性・道内・道内	大学との連携（説明会、連携のインターン、あっせん）
C2	4年女性・市内・道内	インターンシップブームに乗っかる！会社のこだわり・良さをアピールする場（例：Webサイト、説明会）を設ける〔インターンは1～2日がちょうど良かった（グループワーク、ゲーム形式など）〕
C3	4年女性・道内・市内	（学生側）飛び込みする気持ち。（企業側）セミナーインターンを開く。大学側に売込み。（自治体）中小と学生とのマッチング
C4	4年男性・道内・道内	大学内での説明会の機会を増やす〔知らない企業だと説明会に行かない〕
C5	4年男性・道内・道内	大学での説明会を積極的に開催。インターンシップ。大学のゼミとの連携
C6	修士2年男性・道内・道内	タイアップしよう〔目を引く取組をコラボして〕
C7	4年女性・道内・道内	ネット上での説明会・面接等を行う

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
D1	3年男性・市内・市内	イベントの企画。企業の活動をオープン化〔業種別に、日々の業務や活動をWebや情報誌等に公開していく〕
D2	3年男性・道内・未定	他社との比較情報を開示。学生と直接会う機会を増やす。内定までのフローにインターン（業務の実体験）を必ず加える
D3	3年女性・市内・道外	企業の強みを厳選の上、業種や分野ごとにまとめた会社説明会を行う〔市主催で実施。例として、IT分野ならパッケージ開発、BtoB、ソフトウェア開発など、それぞれの分野でまとめる〕
D4	3年女性・道外・未定	学生マンションを対象に企業情報をポスティングしていく
D5	短大1年女性・市内・市内	SNSの利用〔高い頻度でSNSを更新・発信していく〕

■Dグループ：短大1年生、大学3年生の方（就職活動開始前・初期の方）が主（続き）

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
D6	短大1年女性・市内・市内	中小企業だけの説明会。大企業と中小企業の違い（メリット・デメリットともに）発信。また、そのデメリットをどのように改善しているのかを述べる〔中小企業だけの説明会の実施（エリア別・業種別）〕
D7	3年女性・道外・道外	中小企業という強み、その企業だけの強みをより詳しく知ることが出来たら〔経営者と直接話ができるインパクト大！〕
D8	3年女性・道内・市内	中小企業だけでまとめてみる事が出来るサイトがあれば良い。そのサイトである程度調べることができれば、説明会にも参加しやすい〔マイナビなどだと、エリアを絞ってもわかりにくい、ヒット数が少ない。中小企業だと社内の雰囲気が分かりやすい、社長自らが社の方針や理念を話してくれることがあるので、理解しやすい。そういった点を広くPRしていく〕
D9	3年女性・道外・市内	札幌市で働きたい人が注目するような内容の説明会を学内で実施する。「札幌でしかできない仕事」など、個性を前面に出す〔市内全部の大学でやると良いと思う〕

Q13 「札幌市は若者の地元定着やUターン就職の促進のためにこれをすべきだ！」…言い残したことがあれば

■A グループ：就職先が道外に決まった方

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	4年男性・道外・道外	大企業の札幌支店を拡大してもらおう。ウィンタースポーツ観戦など、他の地域では出来ないことをPRする。札幌に移住した人の口コミを広める。何らかの特区制度で企業を呼ぶ。真夏日に広告？〔移住者に直接話を聞ける機会を設ける〕
A2	4年男性・道外・道外	大企業の誘致。勢いのある会社やベンチャーの促進。働くモデルの説明を広げる〔「働き方」へのあこがれを抱かせるような〕
A3	4年女性・道外・道外	「札幌らしさ(強み)」を明確にしてPR(仕事、まち自体の魅力、住みやすさなど)〔インパクトのある強み。単に「住みやすい」などではなく(難しいけど…)〕
A4	4年女性・市内・道外	業種が沢山あって、札幌でしかできないことをアピール。転勤をチャンスに暮らしやすさや手当などPR活動。芸能人の起用。受入体制の確保〔転勤希望者にアピール〕
A5	4年男性・市内・道外	地元志向の学生は非常に多い(逃がさないようにしなければ)。企業による学生への細かなヒアリング。札幌市、Uターン促進PR。家の購入補助、子育て支援〔企業が学生と一緒に対処法を考えてあげる。ダイバーシティ、小さなニーズを拾っていく〕
A6	4年男性・道内・道外	なし
A7	4年男性・市内・道外	特別手当等の支給(例：生活費の一部補助)〔奨学金免除になったら大きい〕
A8	4年男性・道外・道外	土地のプレゼント
A9	修士2年女性・道外・道外	お金を出すしかない

■B グループ：就職先が札幌市内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
B1	4年男性・道内・市内	魅力発信〔市教委には「教師夢道場」という教師の魅力を伝えるサイトがある。札幌市はもっと情報発信をしては。ゆるキャラももっとPRすればいいのにと思う〕
B2	4年男性・市内・道内	「こんなところだよ札幌市」PR。情報・イベント〔札幌推しのPRをする。動画でPR。札幌はデザインなどでもっと人気を出せると思う。「翔んで埼玉」も埼玉愛が増すとされている。別府市は別府温泉×遊園地「湯～園地」をPRしている。面白いところを伝える〕
B3	4年男性・道内・市内	中小企業と楽しいイベントを増やそう！帰省中の人参加〔札幌や中小企業のコアなファンを増やす〕
B4	4年女性・市内・市内	実態調査。地域間協力など〔就活調査を継続・定期的に行い実態を把握する。今も実施しておられるが、継続ではなかったと思うし、札幌市のホームページでは調査結果が見づらい。今は札幌と地方圏、あるいはほかの都市と若者を取り合っているように見える。それでは先がないので、お互いに学生のニーズなども把握しながら、まちと学生のニーズを確認して譲り合うような仕組みが必要ではないか。他のまちと札幌の良さを見比べることも必要〕
B5	修士2年男性・道内・市内	除雪をしっかりと。交通の便の改善。JRを公営にするか、十分な助成を
B6	4年男性・市内・市内	Uターン就活時の交通費の負担。道内企業の会議などを道外で行う〔就活時期のLCCはそれほど安くないので〕
B7	4年男性・市内・市内	三笠市のような子育て政策。日本ハムファイターズに変わるスポーツチーム選び〔子育て支援は各都市間で魅力の競争になってきているので早く熱心にアピール。札幌の魅力の一つであった、日ハムが北広島市に移転するのは痛い。代わりに何か熱狂できるスポーツが必要〕
B8	4年女性・市内・市内	医療費、教育費、物価、交通費(生活費)〔子育て支援。小学校2年生まで医療費無料、学費も無償や軽減。老後も安心できる〕

■C グループ：就職先が道内の方が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
C1	4年男性・道内・道内	労働環境〔企業との出会いがない。労働環境を整えて!〕
C2	4年女性・市内・道内	女性活躍。育休・産休は当たり前にしていく(実績も残す)。中小のアピール方法として、インターネット(SNS)の活用
C3	4年女性・道内・市内	中小や1社だけだと厳しいけど、数社で、若い人で集まる〔年齢の近い人が多いと入りやすくなると思う(若返り)〕
C4	4年男性・道内・道内	転職市場の活性化〔事前に収入などをクリアにする〕
C5	4年男性・道内・道内	不透明な部分をクリアにして公開する〔札幌で働く力をつけて発掘〕
C6	修士2年男性・道内・道内	奨学金支援〔北海道ならではのプラス面(独立?)〕
C7	4年女性・道内・道内	待遇を良くする。地域限定社員を増やす

■D グループ：短大1年生、大学3年生の方(就職活動開始前・初期の方)が主

番号	属性(学年・性・出身地・就職〔希望〕地)	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
D1	3年男性・市内・市内	学生や社会人のニーズをより多く・深く聞くこと〔企業と学生のニーズのミスマッチが多い。SNSで意見を吸い上げて反映していく〕
D2	3年男性・道内・未定	市内企業の給与の伸び率。他地域との家賃や物価の比較〔給与が低くても相対的に物価が安いのであれば、十分暮らしていけることを示せるのでは?〕
D3	3年女性・市内・道外	正直厳しい面はかなりあると思う。市のコンセプトを示していく方が良いのではないだろうか〔どんな人に来てほしい・残ってほしいか、札幌市の意向を示す〕
D4	3年女性・道外・未定	札幌の、道外他地域よりも良い点をアピールし、札幌に定着してもらうようにする〔学生の7割が道外出身者という学校だが、地元に戻る人がほとんど〕
D5	短大1年女性・市内・市内	道外就業・移住決定者を対象に、さらに調査を実施する〔大学4年生を対象に、秋ごろ実施すると良いデータがとれるかも?〕
D6	短大1年女性・市内・市内	芸能人をもっとたくさん呼ぶ。本の発売日を関東と同じ日にしてほしい
D7	3年女性・道外・道外	札幌出身の著名人に札幌をPRしてもらう〔荒川弘(漫画家)、ゲーム実況の動画配信者など〕
D8	3年女性・道内・市内	南区に有り余る土地の有効活用(企業誘致など)。新千歳空港との行き来をしやすくしてほしい〔自然を活かす。土地代が安いことをPRして企業(IT関連企業など)を誘致する。空港行きの便数の増加。道外とのアクセスが向上したら、道内に住む人も増えるのでは?〕
D9	3年女性・道外・市内	引っ越しの補助金。観光・娯楽施設の無料券を年1回配布する〔市内外のスキー場や温泉の割引券など〕

V. 先進事例調査

1. 調査の視点

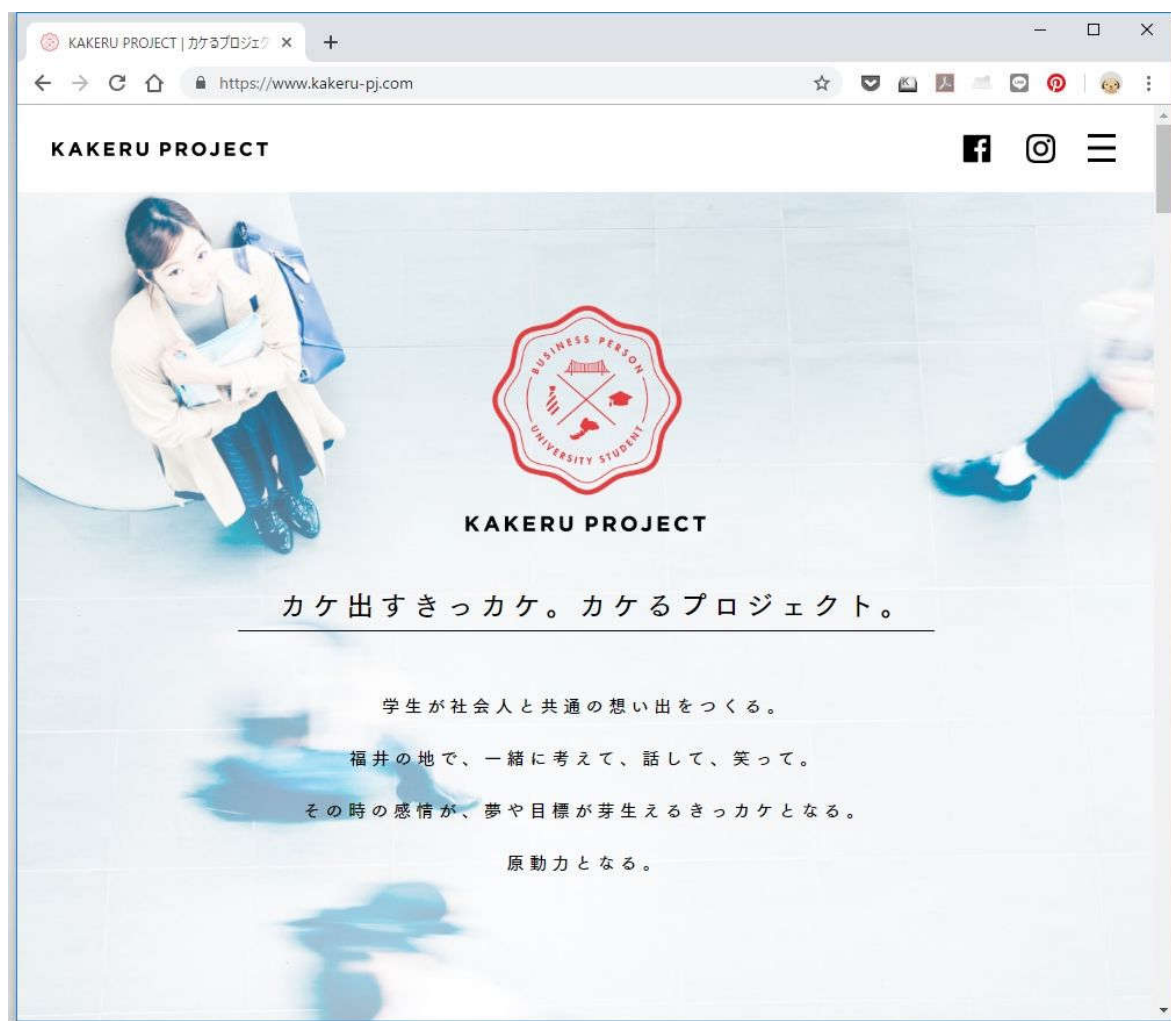
- 市内企業へのヒアリング調査、学生に対するアンケート調査、グループインタビュー調査を踏まえると、札幌市内の大学に通う若者の札幌市・道内への就職・定住志向は、道外への就職希望者も含めて、比較的強いことがわかった。
- また、札幌市内の大学に通う若者の地元定着の取組として、以下のような視点が必要であることがわかった。
- まず、若者に地元地域にある業種・企業について認知してもらうことが必要である。そのためには、ウェブサイト等の受動的な手段だけではなく、実際に企業が学生と接する能動的な取組が必要である。
- 道外への就職希望者は就職活動開始前等、比較的早い段階から就職先企業・業種を選定していることから、道外への就職希望者の市内・道内定着のためには、就職活動開始前の早い段階から市内・道内の業種・企業に興味を持ってもらう取組が有効だと考えられる。
- 一般的に、学生は企業の選考等において、企業の社員から得る「生」の情報を重視し、欲している。すなわち、企業概要に「事業内容」として記されるような表面的な情報ではなく、実際の仕事内容、職場の環境・雰囲気、これらを踏まえて社会人としてどのようなライフスタイルを送ることができるのかということである。
- 上述した実際の仕事内容、職場の環境・雰囲気等を知るためにはインターンシップが有効だと考えられるが、インターンシップ・プログラムは学生のニーズに合わせて多様な日数・度合いのプログラムを設けることが有効であると考えられる。
- また、社会人のライフスタイルを知るためには、インターンシップよりも気軽に社会人や企業と接することができるプログラムが有効である。
- 以上の視点から参考になる事例として、下記の2事例を調査した。
 - (1) **カケるプロジェクト（福井県、福井大学）**
 - (2) **いしかわインターンシップ（石川県）**
- また、クリエイティブ人材のUIJターンの好事例として下記事例について調査した。
 - (3) **福岡クリエイティブキャンプ**

2. 先進事例調査結果

(1) カケるプロジェクト（福井県、福井大学）

1) 取組の概要

- 「学生が社会人と共通の思い出をつくる」ことをテーマに掲げ、福井県内の大学に通う学生と社会人が参加する県内旅行「カケるプラン」、社会人による学生向けのトークセッション「カケるトーク」等を行い、就職活動前の学生と社会人の接点を設けている。



<https://www.kakeru-pj.com/>

2) 取組の目的・目標

- 学生が県内企業と早い段階で接点を持つことで県内企業に興味を持ってもらい、地域への定着を図ること。

3) 取組のきっかけ

- 福井大学は以前から福井県中小企業団体中央会や福井県経営者協会等、地元企業・団体の協力により、県内企業見学バスツアーやインターンシップ、合同・個別企業説明会などに積

極的に取り組んできた。

- 上記のような取組を通じて、福井大学は平成10年から平成29年まで全国の複数学部を持つ国立大学で10年連続就職率1位を達成している。
- そのような取組実施の実績を踏まえて、福井県からの委託を受けて実施することになった。

4) 取組の主体

- 福井大学就職支援室に事務局を置く「カケるプロジェクト実行委員会」である。福井県の委託事業として実施している。
- 「カケるプラン」「カケるトーク」の内容の企画立案においては、過去の参加学生から企画検討への参加希望者を募り、その意見・アイデアも交えて行っている。

5) 取組の内容

- 対象者は福井県内の大学に通う大学生である。学年は問わない。
- 「学生が社会人と共通の思い出をつくる。福井の地で、一緒に考えて、話して、笑って。その時の感情が、夢や目標が芽生えるきっかけとなる。原動力となる。」をキャッチコピーに取組を行っている。
- 主に「カケるプラン」「カケるトーク」の2つのプログラムを行っている。

<カケるプラン>

- 学生と社会人の参加による日帰り～1泊2日の県内旅行である。
- プログラムは、県内の名所観光・見学、製品の製造体験、社会人によるパネルディスカッション、企業・工場見学、学生・社会人の交流を交えた夕食会など。
- 平成28年から平成31年2月までに、7回の「カケるプラン」が実施された。
- カケるプランのプログラム例（カケるプラン vol.7、日帰り）：

10:00：めがねミュージアム集合
10:15：越前和紙の里（和紙をテーマにした施設）到着<和紙作り体験>
10:55：越前和紙の里 出発
11:15：[昼食] カフェド伊万里
12:35：hacoa（木製品工房・ショップ）ショップ見学
13:10：TSUGI（デザイン事務所）見学・説明
14:00：ラポーゼかわだ（温泉・体験施設）<餅つき体験>
15:20：めがねミュージアム<めがねストラップ作り>
17:00：めがねミュージアム 見学
17:30：現地解散後、参加任意で、古民家で鍋を囲みながらの交流会実施
○昼食代、体験代：2,000円、交流会費用：1,500円



カケるプランの様子（出典：カケるプロジェクト Facebook）

<カケるトーク>

- 「屋外型・旅行型の企画」としての「カケるプラン」に対し「屋内型・座学型の企画」として実施されている。
- さまざまな学生生活に関わるようなテーマを設定し、社会人が学生にレクチャーを行っている。

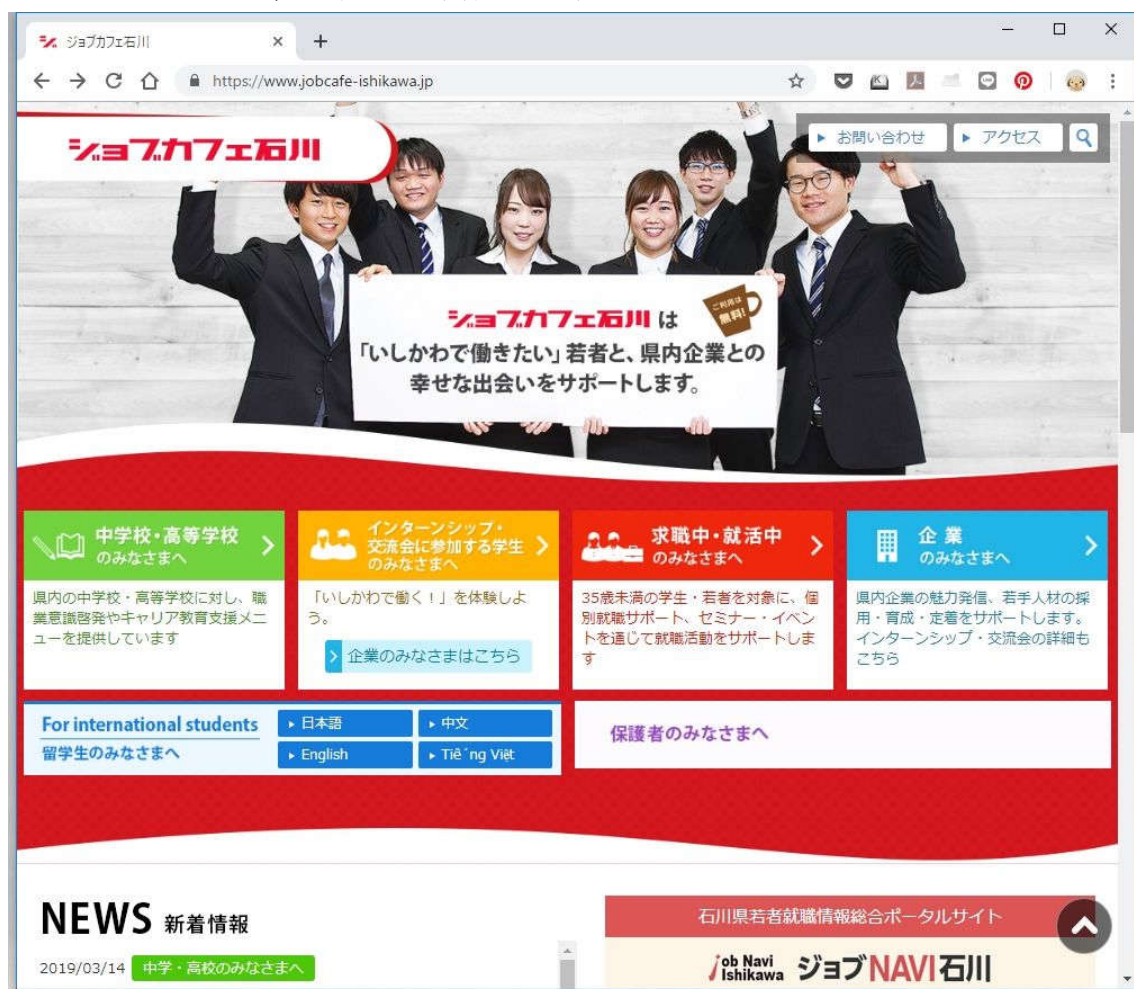


カケるトークの様子（出典：カケるプロジェクト Facebook）

(2) いしかわインターンシップ（石川県）

1) 取組の概要

- ジョブカフェ石川が実施する就職活動前の学生も対象にしたインターンシップの取組。
- 4種類のインターンシップ・プログラムを設定。5月に行う県内外学生を対象にした「いしかわインターンシップフェス」と「Web マッチング」を通じて、インターンを希望する学生と受入企業とのマッチングを行っている。
- 企業に対してもインターンシップ・プログラム策定のための支援メニューを用意して、インターンシップ受入企業の質・量の確保に取り組んでいる。



<https://www.jobcafe-ishikawa.jp/>

2) 取組の目的・目標

- 県内外の大学・短大・高等専門学校・専門学校生に対し、就職活動前の早期から、職場の雰囲気、先輩社会人の生の声、仕事のやりがい、地域の課題や魅力に触れることで、県内への就職・定着促進につなげること。

3) 取組のきっかけ

- ジョブカフェ石川では以前から企業のインターンシップ・プログラムの紹介を行っていた。しかし、紹介だけだと受入・参加が一部の企業・学生に偏ってしまうため、それを是正する必要があった。
- また、国による地方創生による地方の人口増加・維持、地元人材の定着促進の流れも踏まえて、県内外の若者に県内の多くの企業を知ってもらう必要性も感じていた。
- 以上の趣旨を踏まえて、平成 27 年に開始された。

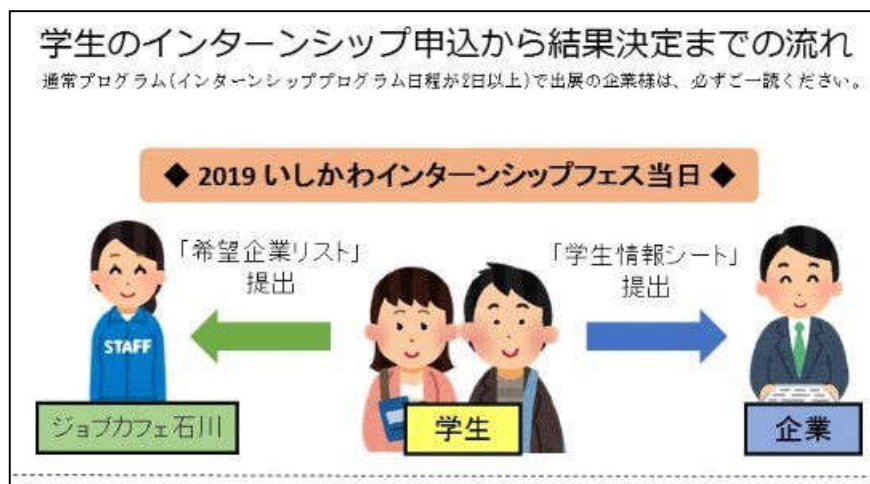
4) 取組の主体

- 「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」(通称 ILAC、アイラック) が運営するジョブカフェ石川。
- なお、ILAC は平成 27 年 10 月に策定された「いしかわ創生総合戦略」に掲げられた基本目標「学生の U ターン・県内就職と移住定住の促進」を達成するための実行部隊として、平成 28 年 4 月に設立された。
- ILAC はジョブカフェ石川のほか、女性の就職促進、UI ターン促進等、8 つのセンターを運営している。

5) 取組の内容

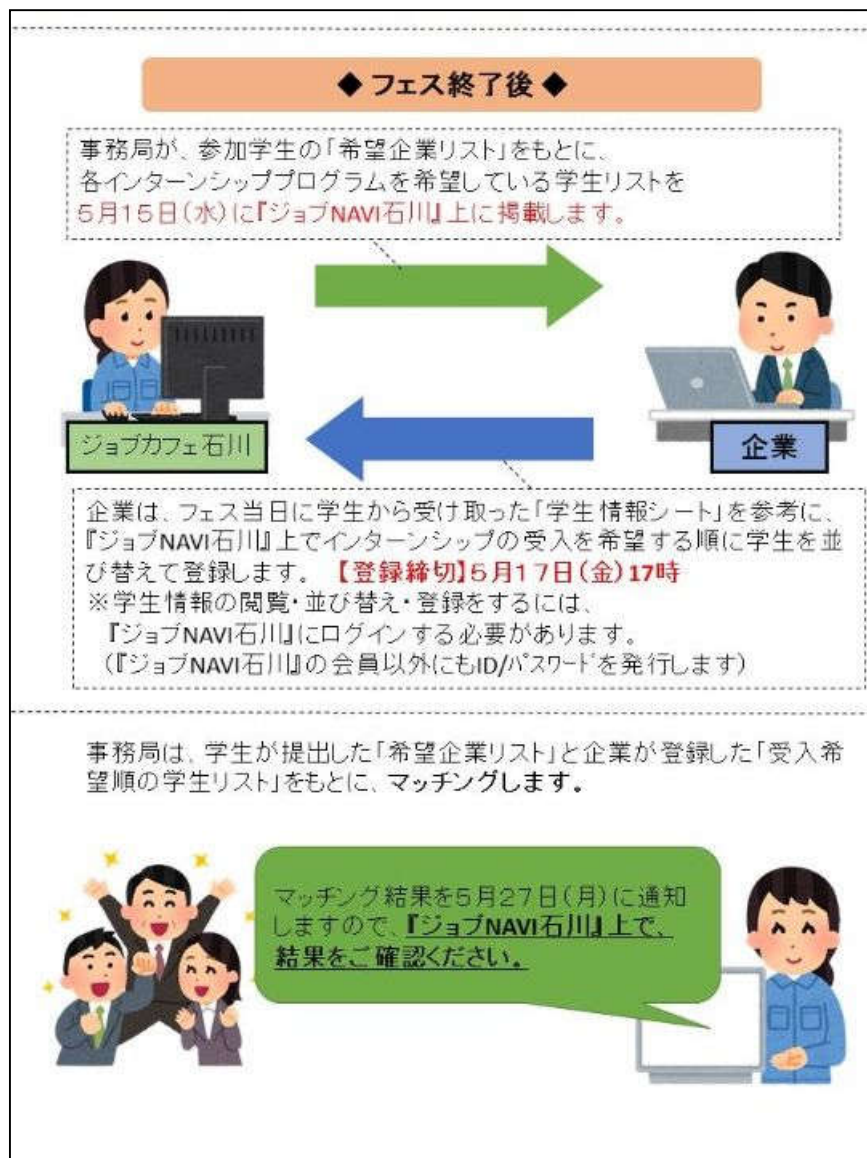
<いしかわインターンシップフェス>

- 「いしかわインターンシップ」の取組の皮切りとなるのが 5 月に行われる「いしかわインターンシップフェス」である。
- 県内に事業所がある企業が、就職活動前の県内外の大学・短大・高等専門学校・専門学校生に対し、主に夏季休暇中に実施するインターンシップについて直接説明する場である。
- 「2018 いしかわインターンシップフェス」は 5 月 12 日に開催され、219 社の企業が参加した。
- フェス終了後にはジョブカフェ石川によりインターンを希望する学生と受入企業とのマッチングが行われるがその流れは下図のようになっている。



※次ページへ続く

※前ページから続く



出典：ジョブカフェ石川ウェブサイト

<Web マッチング>

- 基本的に「いしかわインターンシップ」に参加できない学生に対し、各企業によるインターンシップ・プログラムの紹介と参加申込の受付をウェブ上で行う仕組みである。

<インターンシップ・プログラム>

- 「いしかわインターンシップ」に基づく、企業等によるインターンシップ・プログラムとして、下記3種類が設定されている。

①通常プログラム：2日間以上の就業体験プログラム

- 2日間以上のインターンシップ・プログラムと定義している。
- ジョブカフェ石川では、キャリア教育の観点から学生に対して5日以上のプログラムへの参加を推奨している大学が多いことから、企業にも5日以上のプログラムを推奨している。

②ジョブカフェ連携プログラム：5日間以上の就業体験プログラム

- インターンシップ実施経験の少ない企業向けの支援メニューとして設定している。
- インターンシップに必須である事前の目標設定、事後の振り返りを、企業単独ではなくジョブカフェ石川と協働で実施できるメニューである。
- 具体的には、まず、学生、企業の担当者ともに、ジョブカフェが主催する「事前研修会」に参加して事前の目標設定を行う。その後、学生は各企業が行う3日以上インターンシップ・プログラムに参加する。その後「事後研修会」に、学生、企業の担当者が揃って参加し、振り返りを行うという流れである。
- 企業によるインターンシップ・プログラムをジョブカフェ石川によるプログラムで挟むことにより、企業の受入に対する負担軽減、インターンシップ・プログラムの質の向上を図っている。

③1 DAY プログラム

- 1日だけのインターンシップ・プログラムを位置づけている。
- 多くの企業と出会いたい学生、インターンシップ初参加の学生向けのメニューとして提供している。
- このプログラムのみ、ジョブカフェ石川でのマッチングは行わず、学生が直接企業に申し込む形をとっている。

<交流会・セミナーの開催>

- 「いしかわインターンシップフェス」以降、各企業によるインターンシップ前・後に、企業で働く若手社員との交流会やセミナーを開催している。
- 学生が社会人の先輩の本音を聞く場を設けることで、インターンシップ等を通じて抱いた就職活動や社会に出ることに対する不安や疑問を解消することをねらいとしている。

<企業に対する支援>

- 上述した「ジョブカフェ連携プログラム」以外にも、インターンシップ実施経験の少ない企業向けの支援メニューとして、自社に合ったインターンシップ・プログラムについて学び検討する場として「プログラム講習会」を開催している。

<冬のインターンシップ&業界研究フェス>

- 「いしかわインターンシップ」の取組としては、12月に「冬のインターンシップ&業界研究フェス」も行われている。
- これは、主に次年度卒業者を対象として、冬期休暇中に各企業が行うインターンシップ・プログラムへの参加、業界研究を促すイベントである。

<大学関係者会議>

- いしかわインターンシップと大学のキャリア教育との方向性のすり合わせを目的として、2015年から県内大学の就職支援担当者と2カ月に1回程度の割合で「大学関係者会議」を開催し、各大学学生の進路選択に関する情報共有を図っている。

6) 取組の成果

- 「いしかわインターンシップフェス」への参加学生・企業数の推移は下記のように増加を続けている。

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
参加学生数	623 名	1,048 名	1,686 名
参加企業数	94 社	133 社	219 社

- 春の「いしかわインターンシップフェス」→夏のインターンシップ・プログラム→「冬のインターンシップ&業界研究フェス」→冬のインターンシップ・プログラム という年を通じた一連の流れにより、参加学生には、地元業界・企業や社会人になることについて意識を持ち、さらに興味を持った業界・企業について研究を進めるという意識付けがされていると考えられる。

(3) 福岡クリエイティブキャンプ（福岡市）

1) 取組の概要

- 福岡市経済観光文化局企業誘致課による、首都圏で活躍するクリエイティブ産業での就業経験者を対象にして、福岡市の同産業関連企業への UIJ ターン転職を促進・支援する事業。
- 福岡市内の IT・クリエイティブ企業に関する情報収集やマッチングなど、UIJ ターンを考える際に一番のハードルになっていた仕事について移住前に検討できる仕組みとしてスタートした。



<http://fcc.city.fukuoka.lg.jp/>

2) 取組の目的・目標

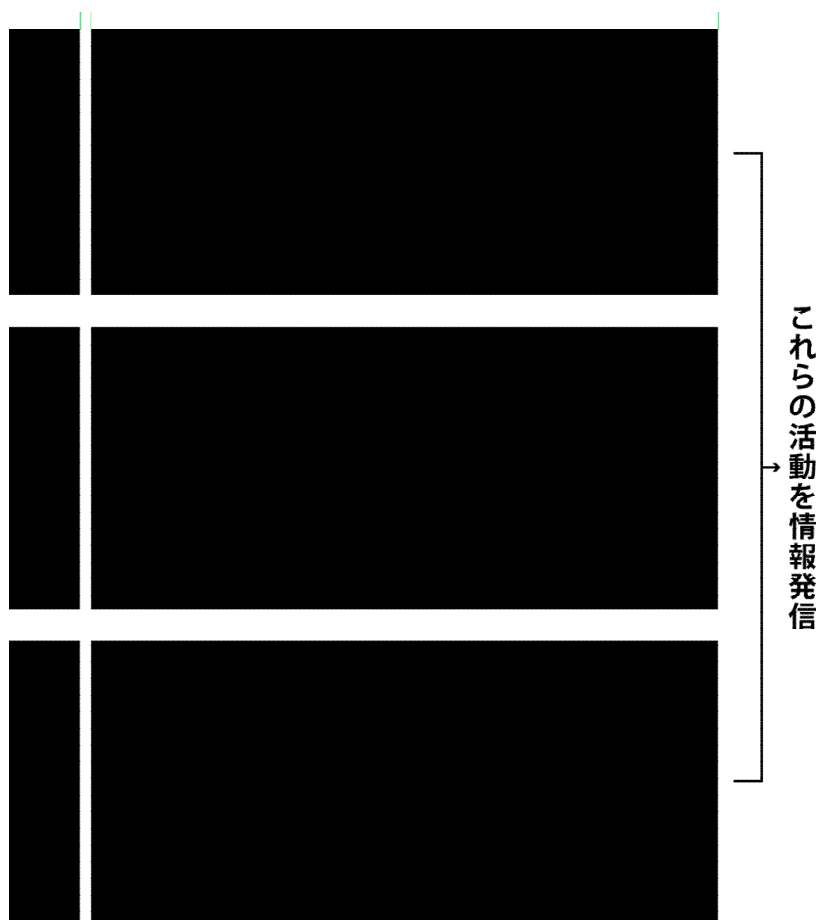
- 福岡市が振興を図っている、ゲーム、ウェブ、CG／映像、システム等のクリエイティブ産業に従事する人材の福岡市への UIJ ターンを促進すること。

3) 取組のきっかけ

- 福岡市は以前から大規模な設備投資が不要で成長性の高い産業として IT・デジタルコンテンツなどのクリエイティブ産業振興に力を入れてきた。
- 産業振興の一環として、人材誘致のため 2014 年に民間の任意団体「福岡移住計画」との連携（業務委託）により東京で実施したイベント「ぼくらの福岡移住計画 2014 in TOKYO」が、100 名の応募枠に対し 300 名の応募を集めたことが契機となっている。

4) 取組の主体

- 福岡市経済観光文化局企業誘致課。
- 同課は取組の窓口として機能しつつ、取組に関するコンテンツ作成・PR、移住・転職の相談受付、企業とのマッチング、コミュニティ形成支援を民間企業とのコラボレーション・事業委託により行っている。
- 任意の民間団体として福岡県への移住促進に取り組んでいる「福岡移住計画」が、取組のきっかけから一定の役割を果たしている。同団体は移住者の目線に立って、移住者にとって重要な「コネクション（情報発信）」「リサーチ（現地体験）」「サポート（コミュニティ受け皿）」といった機能を提供することを軸に、独自事業や、福岡市を始めとした福岡県内自治体との協働による活動を行っている。



福岡移住計画の活動の3本柱について
(出典：福岡移住計画ウェブサイト)

5) 取組の内容

- FCCの内容は現在までにさまざまに変遷している。ここでは平成26年度に行われた取組について紹介する。

<福岡クリエイティブキャンプ2014の流れ>

- 転職・移住希望者は、公式サイトのエントリーフォームから情報を登録する。
- 登録者に対して、事務局（事業委託を受けた就職情報企業）がヒアリングを行い、福岡市内企業とのマッチングを行う。
- 企業担当者とSkypeなどで面談した後、福岡市の職場を見学。
- その後、2ヶ月間のトライアルワーク&福岡移住に進む。トライアルワーク中は、事務局から給与が支払われる（緊急雇用対策事業を活用）。住居も不動産会社の協力により、短期間契約での賃貸が可能となっている。
- お互いの「相性」が合えば、福岡市内企業への本採用・移住となる。
- マッチング、トライアルワーク、また、移住後も、FCC事務局による転職・移住・生活に関する相談サポートが受けられる。



(出典：福岡移住計画ウェブサイト)

<首都圏でのイベント開催>

- 参加企業が求める人材の説明、個別相談、企業紹介などを行う「移住セミナー&企業紹介イベント」のほか、県外IT関連企業とも協働・共催しながら、IT・コンテンツ産業に関する多様なテーマを取り上げた「FUKUOKA CREATIVE MEETING」などを実施。
- 直接的な「移住セミナー&企業紹介イベント」だけではなく、広くIT・コンテンツ産業関連のイベントを行うことで、同産業関係者の注目を集めることに成功したのではないかと考えられる。



平成 27 年 9 月 7 日に実施された
「CGWORLD CREATIVE MEETING」の様子
(出典：福岡クリエイティブキャンプ Facebook)

<その他・FCCの変遷など>

- 平成 27 年度には、FCC を通じて就職が決まった UIJ ターン者には応援金 40 万円が支払われることも行われた（地方創生推進交付金の活用）。
- 平成 30 年度からは、個別の企業紹介・移住サポートは終了したが、首都圏で福岡市の魅力を伝えるイベントなどは継続して開催するほか、ウェブサイトにおける企業紹介・求人募集、クリエイティブ人材が 3 週間福岡市内で暮らすことを支援する「お試し移住」などを行っている。また、FCC による転職・移住者へのフォローアップの取組として「FCC 同窓会」が行われている。
- なお、現在は事務局による企業紹介・求人募集に対するマッチングは行っておらず、企業と応募者がダイレクトに連絡を取り合う形式をとっている。

6) 取組の成果

- 取組を開始した平成 26 年度から平成 29 年度まで毎年、FCC を通じて毎年 20～30 人の転職・移住者を生んでいる。
- なお、FCC を始めた当初は U ターン、J ターン者（福岡県以外の九州出身者）の転職・移住が多かったが、平成 29 年度は 24 名中 20 名が I ターン者だったということである。

VI. 若者の雇用、移住・定住促進施策の提案

～さっぽろインターンシップ見本市

II～Vの調査結果を踏まえた若者の雇用、移住・定住促進施策の一案として「さっぽろインターンシップ見本市」を提案する。

1. 取組の主目的（設定）※

- 道外に流出する若者を減らすこと。
- 道外からのUターン者を増加させること。

2. 取組の視点

- 道外に流出する若者を減らすためには、若者に早くから道内地域・企業・業界、また、これらへの就職について意識を持ってもらうことが大切である。
- 道外の大学等に進んだ道内出身学生のUターン就職を促進するためにも上記の視点が有効であると考えられる。
- 道外に就職したものの、道内へのUターン転職を希望する方に対しても、道内企業の求人情報と合わせて、道内企業と接する多様な機会を提供することが有効だと考えられる。

3. 取組の主ターゲット（設定）※

- 道内大学・大学院・高等専門学校・専門学校に通学する就職先地域検討・決定前の道外・道内出身の学生。
- 道外大学・大学院・高等専門学校・専門学校に通学する就職先地域検討・決定前の道内出身の学生。

※取組の主目的、主ターゲットについて

- 本調査の目的を踏まえると、上記のような主目的・主ターゲット設定となるが、本取組には上記以外の「道内出身、道内就職希望」の学生に対するキャリア教育効果や地元への愛着を醸成する効果もある。
- よって、対象者は上記の「主ターゲット」に限定せず、幅広い学生層とするのが望ましい。
- さらに、対象者を学生からさらに広げて、UIターン転職を希望する社会人の参加も可とすることで、UIターン者の誘致にもつなげることも可能であると考えられる。むしろ、UIターン希望者がインターンシップ等に参加することで、一緒に参加した学生の視野が広がるという効果も期待されるため、積極的に参加を募るべきであると考えられる。

4. 取組の内容

<インターンシップ・プログラム>

- 札幌市内・周辺市町村の企業からインターンシップ・プログラムを集め、後述する「見本市」 「ウェブサイト」で紹介する。
- インターンシップ・プログラムの募集・紹介にあたっては、企業に対し次のような規定を設けて一定の質を確保する。

- ・インターンシップ・プログラム開始時にインターンシップの目的・目標を設定・説明するパート（目標設定）を設けること。
- ・終了時にはインターンシップの目的・目標の達成度について検証・反省するパート（振り返り）を設けること。

- インターンシップ・プログラムとしては下記の3種類を提供。

- ・ **1日インターン**：1日以内のインターンシップ・プログラム。まずは社会・企業と接したい学生、時間が取れない学生向けのメニューとして提供。
- ・ **短期インターン**：2日～1週間までのインターンシップ・プログラム。
- ・ **中長期インターン**：1週間以上のインターンシップ・プログラム。
- ・ **地域課題解決インターン**：大学・NPO・札幌市や周辺市町村が主催する、地域課題解決のために実施するプログラム。学生は中・長期間、地域に入り、主催者が提示する地域課題について解決する方策について、主催者の支援・指導のもと、検討する。

- インターン終了時には、学生・企業双方から、インターンシップ・プログラム、学生に対する評価・感想を書いてもらう「インターンシップ結果レポート」を提出してもらい、それを学生・企業、双方にフィードバックすることで、学生への教育効果向上、インターンシップ・プログラムの内容向上を図る。

<インターンシップ見本市>

- 学生に対し上記のインターンシップ・プログラム、実施企業、後述する交流メニューについて紹介し、参加者を募るためのイベントである。
- 見本市は「合同企業説明会」のように企業ごとのブースを設置し、時間による入れ替え制により、学生は複数の企業のインターンシップ・プログラムについて説明を聞く構成とする。
- インターンシップ・プログラムに関する説明を踏まえて、学生は希望するインターンシップ・プログラムと、自分のプロフィール、インターンシップ・プログラムで学びたいことなどを書いた「エントリーシート」を提出。

見本市のプログラム案（180分）

- ・ガイダンス（20分）
- ・[前半戦] 各企業ブースにてインターンシップ・プログラムの説明（20分×3ラウンド、移動時間含む）
- ・休憩（10分）
- ・[後半戦] 各企業ブースにてインターンシップ・プログラムの説明（20分×3ラウンド、移動時間含む）
- ・フリー交流タイム・エントリーシートの提出（30分）



見本市のイメージ～2018 いしかわインターンシップフェス
（出典：ジョブカフェ石川ウェブサイト）

<インターンシップ見本市 ウェブサイト>

- 上記の「見本市」に参加できない学生等（特に道外の学生、UIJ ターン希望者）向けに、ウェブサイトでは、各インターンシップ・プログラム、交流メニューの内容を掲載し、参加のエントリーも受け付ける。
- 企業によるインターンシップ・プログラムの紹介頁には、合わせて、欲しい人材像、中途採用者を募集している場合はその情報も掲載する。これにより、学生は早くから「社会人像」を描けるとともに、UIJ ターン者にとっても役立つサイト・取組となり、参加が促される。

<事務局によるインターンシップ・プログラムのマッチング>

- 事務局では、「見本市」「見本市ウェブサイト」で学生から寄せられたエントリーシートと、企業の受入可能人数を踏まえて、学生と受入企業のマッチングを行う。

<事務局によるインターンシップ・プログラム作成等に関する企業への支援>

- インターンシップ受入経験のない・少ない企業向けの支援として、下記の支援を行う。

- ・インターンシップ・プログラム開始時の「目標設定」、終了時の「振り返り」を、複数のインターンシップ・プログラム実施企業とプログラム参加学生が集まって行う「**共同事前研修**」「**共同事後研修**」の開催。
- ・インターンシップ・プログラム検討・作成についてレクチャーする「**企業向けインターンシップ研修会**」の開催。

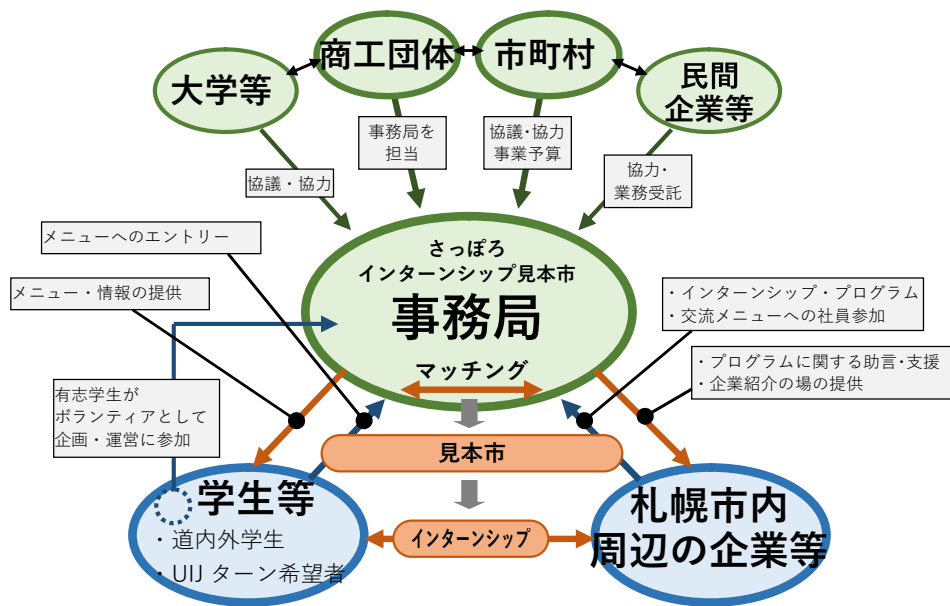
<社会人との交流メニュー>

- 以上で挙げた「インターンシップ・プログラム」よりも気軽に社会人・企業と接することができる取組として設定。
- 学生と、若手を中心とした社会人が気軽に交流することで、社会人の生活の実際、仕事の実際、仕事に対する思い・やりがい、雰囲気等に触れる・知ることができるイベントを実施する。例えば、下記のようなメニューが考えられる。

- ・社会人と学生で行く市内企業・工場をめぐるバスツアー
- ・社会人とのジンギスカンパーティー
- ・社会人と学生と一緒に「仕事のやりがい」「生きがい」などについて考えるワークショップ
- ・社会人バンドによる演奏会。仕事と趣味の両立に関するトークも交えて
- ・社会人のレクチャーによる勤務する業界・企業に関するセミナー

- 特に「交流メニュー」については、ターゲットである学生の意見・アイデアを容れることが有効であると考えられる。そのため、取組を通じて、ボランティアとして企画・運営を担ってくれる有志学生を募集する。

5. 実施スキーム案



- 一連の「さっぽろインターンシップ見本市」の取組を行うためには、実施の核を担う**事務局**が必要である。
- 事務局には企業とのネットワークが要求されるため、**商工団体**が担当することが望ましいと考えられる。
- 札幌市等、地域の**市町村**は「さっぽろインターンシップ見本市」事業を実行するための事業予算を確保するとともに、実施内容・運営等に関して事務局と緊密に協議し、広報や見本市実施、その他の面において直接的・間接的に協力する。
- キャリア教育としてのインターンシップの効果を高めるため、**大学等**の教育機関とも緊密に協議する。また、学生への広報等においては協力を得る。
- 実施においては、**民間企業等**が持つノウハウを活用することが効果的だと考えられる。広報やインターンシップ・プログラムに関する助言、「社会人との交流メニュー」実施等において就職・転職情報企業、NPO等、民間への業務委託も検討する。
- 特に「社会人との交流メニュー」実施においては、ターゲットである**学生**の意見・アイデアを容れることが有効であると考えられる。有志学生にボランティアとして企画・運営を担ってもらうことも有効である。

1. アンケート調査 入口ウェブページ

The screenshot shows a web browser window with the following content:

大学卒業予定者に対するアンケート調査

本調査は、札幌市が若者の地元定着やUターン就職を促進する施策を検討する基礎資料として、大学卒業予定者の就職等に関する志向や、道内での就職の条件等を把握することを目的としています。

大変お忙しいところ誠にお手数ではございますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

先着1,500名のご回答者の3人に1人（500名様）に、お礼として、抽選でクオカード500円分を差し上げます。ご回答はお早めに！

ご回答にあたって

- PC、タブレット、スマートフォン等にてご回答いただけます。（要インターネット接続）
- 本調査へのご回答は統計的に処理するため、個人が特定される形で公表されることはありません。
- 本調査の集計・分析業務は、株式会社ノーザンクロスに委託しております。

回答方法

こちらのリンクより、アンケート回答フォームのページへお進みください。
（※外部サイトへ移動します。）

※1月までにアンケートにご回答いただいた方で、お礼（QUOカード500円分）を希望される方は、こちらをご覧ください。

アンケートの中では「グループインタビュー」への参加希望者も募集しています。参加についてぜひご確認ください。

大学卒業予定者へのグループインタビュー

- ・日時：平成31年3月4日（月）、5日（火）の14:00～17:00（どちらか1日のご参加）
- ・会場：かでの2.7（中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル）920号室
- ・謝礼：**QUOカード3,000円分**
- ・募集人数：約40名
- ・お聞きする内容：北海道内での就職や、北海道へのUターン就職についてのご意見・アイデア（アンケート調査結果を元にして）
- ・その他：数名のグループになって、食べ飲みしながら行う気軽なインタビューです。

※ご参加いただける方には平成31年2月中に、メールまたは電話にて連絡を差し上げます。ご参加いただけない方には連絡を差し上げません。ご了承ください。


<お問い合わせ先>


【調査業務受注者】株式会社ノーザンクロス
担当：井上、島崎
電話：011-232-3661（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 9:00～18:00）
Eメール：wakamono@northerncross.co.jp

【調査業務実施者】札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課
担当：斎藤、稲田
電話：011-211-2192（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 8:45～17:15）

2. アンケート調査ウェブフォーム

タイトル 

メッセージ 

表示 

大学卒業予定者に対するアンケート調査

Q1. 性別をお答えください。
【必ず回答】

1. 男性

2. 女性

Q3. 大学何年生ですか。
【必ず回答】

1. 1年生

2. 2年生

3. 3年生

4. 4年生

5. 修士1年生

6. 修士2年生

7. その他

Q4. 所属大学はどちらですか。

【必ず回答】

- 1. 北海道大学
- 2. 北海道教育大学
- 3. 札幌市立大学
- 4. 札幌医科大学
- 5. 札幌大学
- 6. 札幌大谷大学
- 7. 札幌国際大学
- 8. 札幌保健医療大学
- 9. 天使大学
- 10. 東海大学
- 11. 藤女子大学
- 12. 北星学園大学
- 13. 北海学園大学
- 14. 北海商科大学
- 15. 北海道医療大学
- 16. 北海道科学大学
- 17. 日本医療大学

Q5. 学部・専攻をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 人文科学系(文学部、外国語学部、国際文化学部、人文学部、文化学部など)
- 2. 社会科学系(法学部、経済学部、経営学部、社会学部、社会福祉学部、観光学部、商学部、未来デザイン学部、スポーツビジネス学科など)
- 3. 理学系(理学部、生物学部など)
- 4. 工学系(工学部、創生工学部、空間創造学部など)
- 5. 農学系(農学部、獣医学部、水産学部など)
- 6. 保健・医療系(医学部、保健医療学部、歯学部、薬学部、心理科学部、看護学部、看護学科、医療工学部など)
- 7. 家政系(栄養学科など)
- 8. 教育系(教育学部、スポーツ指導学科など)
- 9. 芸術系(芸術学部、デザイン学部など)
- 10. その他

Q6. ご出身地(義務教育修了までに主に住んでいた場所)はどちらですか。

【必ず回答】

- 1. 札幌市
- 2. 北海道内(札幌市以外)
- 3. 道外都府県
- 4. 海外

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“北海道内(札幌市以外)”を“選択した”

Q7. ご出身地(義務教育修了までに主に住んでいた場所)はどちらの市町村ですか。

【必ず回答】

選択してください

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“道外都府県”を“選択した”

Q8. ご出身地(義務教育修了までに主に住んでいた場所)はどちらの都府県ですか。

【必ず回答】

選択してください

Q9. 卒業後、予定されている進路をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 就職
- 2. 大学院への進学
- 3. 博士課程への進学
- 4. 他大学への編入学・転学
- 5. 起業
- 6. 海外留学
- 7. 浪人
- 8. 留年
- 9. その他
- 10. わからない・決めていない

編集 削除  この質問を表示する条件“OG”で“就職”を“選択した”

Q10. 就職活動の状況をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 内定済み。就職先も決定済み
- 2. 内定済みだが、まだ就職先を決めていない
- 3. 未内定。現在、就職活動継続中
- 4. 未内定。現在、就職活動はしていない

編集 削除  他の選択肢と同時に選ばない選択肢“特にない・参考にしたものはない”

編集 削除  この質問を表示する条件“OG”で“就職”を“選択した”

Q11. 就職活動先の企業・団体を決める際に参考にしたメディア等をお答えください。

【必ず回答】（複数選択）

- 1. 個別企業・団体の説明会・セミナー
- 2. 合同企業説明会・セミナー
- 3. ハローワークやジョブカフェ等の公的機関の就職支援・相談窓口
- 4. 大学の就職支援部署・窓口
- 5. 企業へのインターンシップ
- 6. 企業見学ツアー
- 7. 就職情報企業等による就職支援サイト
- 8. 企業のウェブサイトやSNS
- 9. 学生同士のコミュニティサイト
- 10. 就職情報誌
- 11. 広告
- 12. 企業・団体から送られるメール
- 13. 企業・団体を紹介するパンフレット
- 14. 大学の指導教員の勧め・情報提供
- 15. 大学のOB、OG
- 16. 家族や知人
- 17. その他
- 18. 特にない・参考にしたものはない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選ばない選択肢“特にない・わからない”

編集 削除 ↶ この質問を表示する条件“ae”で“就職”を“選択した”

Q12. 就職先について重要だと考えることは何ですか。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 賃金
- 2. 福利厚生
- 3. 企業の規模
- 4. 企業の知名度・社会的評価
- 5. 企業の安定性
- 6. 企業の将来性
- 7. 勤務地の位置・地理的条件
- 8. 自由時間・休暇が十分にとれること
- 9. 転勤の有無・頻度
- 10. 子育てしやすい勤務条件・環境
- 11. 仕事の具体的な内容
- 12. 仕事のやりがい
- 13. グローバルな仕事ができること
- 14. やりたい仕事ができるチャンスに恵まれていること
- 15. 自分の能力が発揮できる環境であること
- 16. 大学で学んだ専門分野を活かせること
- 17. 能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること
- 18. 社長・会長など企業トップの考え方
- 19. 職場の雰囲気
- 20. 採用の選考方法・選考基準
- 21. 入社後の研修内容
- 22. 社員のキャリアパス・キャリアプラン
- 23. 女性が活躍できる環境
- 24. 社員の定着状況
- 25. その他
- 26. 特にない・わからない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない・わからない・就職活動を始めていない”

編集 削除 ↶ この質問を表示する条件“Q6”で“就職”を“選択した”

Q13. 就職活動開始前に希望していた業種をお答えください。

【必ず回答】 (複数選択)

- 1. 農林業
- 2. 漁業
- 3. 鉱業
- 4. 建設業
- 5. 製造業
- 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7. 通信業
- 8. メディア(放送、新聞、出版等)
- 9. IT関連業
- 10. 運輸業
- 11. 卸売業、小売業
- 12. 金融業、保険業
- 13. 不動産業、物品賃貸業
- 14. 学術・開発研究
- 15. 専門サービス業(法律、デザイン、経営コンサルタント等)
- 16. 技術サービス業(設計、測量、検査、写真等)
- 17. 宿泊業
- 18. 飲食サービス業
- 19. 生活関連サービス業
- 20. 娯楽業
- 21. 教育
- 22. 学習支援業
- 23. 医療
- 24. 保健・福祉・介護
- 25. 複合サービス事業(郵便局、農協、漁協、森林組合等)
- 26. その他のサービス業(廃棄物処理、自動車整備、機械修理、職業紹介・労働者派遣、各種団体等)
- 27. 公務(官公庁等)
- 28. その他
- 29. 特にない・わからない・就職活動を始めていない

編集 削除 この質問を表示する条件“09”で“就職”を“選択した”

Q14. 就職活動開始後に、就職先として決まった業種、または現在、就職先となる可能性が最も高いと思う業種をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 農林業
- 2. 漁業
- 3. 鉱業
- 4. 建設業
- 5. 製造業
- 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7. 通信業
- 8. メディア(放送、新聞、出版等)
- 9. IT関連業
- 10. 運輸業
- 11. 卸売業、小売業
- 12. 金融業、保険業
- 13. 不動産業、物品賃貸業
- 14. 学術・開発研究
- 15. 専門サービス業(法律、デザイン、経営コンサルタント等)
- 16. 技術サービス業(設計、測量、検査、写真等)
- 17. 宿泊業
- 18. 飲食サービス業
- 19. 生活関連サービス業
- 20. 娯楽業
- 21. 教育
- 22. 学習支援業
- 23. 医療
- 24. 保健・福祉・介護
- 25. 複合サービス事業(郵便局、農協、漁協、森林組合等)
- 26. その他のサービス業(廃棄物処理、自動車整備、機械修理、職業紹介・労働者派遣、各種団体等)
- 27. 公務(官公庁等)
- 28. その他
- 29. わからない・就職活動を始めていない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない”

編集 削除 ↶ この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q15. 就職活動開始前に希望していた(希望している)職種をお答えください。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 総務・経理・人事
- 2. 営業企画・営業
- 3. 商品企画・マーケティング
- 4. 設計・デザイン
- 5. 広報・宣伝
- 6. 研究・開発
- 7. 生産管理
- 8. 情報システム
- 9. 技術サービス
- 10. その他
- 11. 特にない

編集 削除 ↶ この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q16. 就職活動開始後に、就職先として決まった職種、または現在、就職先となる可能性が最も高いと思う職種をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 総務・経理・人事
- 2. 営業企画・営業
- 3. 商品企画・マーケティング
- 4. 設計・デザイン
- 5. 広報・宣伝
- 6. 研究・開発
- 7. 生産管理
- 8. 情報システム
- 9. 技術サービス
- 10. その他
- 11. わからない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない・わからない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q17. 就職活動開始前に希望していた企業の規模をお答えください。

【必ず回答】（複数選択）

- 1. 20人以下
- 2. 21～50人
- 3. 51～100人
- 4. 101～300人
- 5. 301～1,000人
- 6. 1,001人～5,000人
- 7. 5,000人超
- 8. 特にない・わからない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q18. 就職活動開始後に、就職先として決まった企業の規模、または就職先となる可能性が最も高いと思う企業の規模をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 20人以下
- 2. 21～50人
- 3. 51～100人
- 4. 101～300人
- 5. 301～1,000人
- 6. 1,001人～5,000人
- 7. 5,000人超
- 8. わからない・就職活動を始めていない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない”


編集 削除  この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q19. 就職活動開始前に就職先として希望していた(希望している)地域をお答えください。

【必ず回答】（複数選択）

- 1. 札幌市
- 2. 北海道内(札幌市以外)
- 3. 道外都府県
- 4. 海外
- 5. 特にない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特くない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q19”で“道外都府県”を“選択した”

Q20. 就職活動開始前に就職先として希望していた(希望している)都府県をお答えください。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 東京都
- 2. 青森県
- 3. 岩手県
- 4. 宮城県
- 5. 秋田県
- 6. 山形県
- 7. 福島県
- 8. 茨城県
- 9. 栃木県
- 10. 群馬県
- 11. 埼玉県
- 12. 千葉県
- 13. 神奈川県
- 14. 新潟県
- 15. 富山県
- 16. 石川県
- 17. 福井県
- 18. 山梨県
- 19. 長野県
- 20. 岐阜県
- 21. 静岡県
- 22. 愛知県
- 23. 三重県
- 24. 滋賀県
- 25. 京都府
- 26. 大阪府
- 27. 兵庫県
- 28. 奈良県
- 29. 和歌山県
- 30. 鳥取県
- 31. 島根県
- 32. 岡山県
- 33. 広島県
- 34. 山口県
- 35. 徳島県
- 36. 香川県
- 37. 愛媛県
- 38. 高知県

- 39. 福岡県
- 40. 佐賀県
- 41. 長崎県
- 42. 熊本県
- 43. 大分県
- 44. 宮崎県
- 45. 鹿児島県
- 46. 沖縄県
- 47. 特にない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q21. 就職活動開始後に、就職先として決まった地域、または就職先となる可能性が最も高いと思う地域をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 札幌市
- 2. 北海道内(札幌市以外)
- 3. 道外都府県
- 4. 海外
- 5. 特にない・就職活動を始めていない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q21”で“道外都府県”を“選択した”


Q22. 就職活動開始後に、就職先として決まった都府県、または就職先となる可能性が最も高いと思う都府県をお答えください。

【必ず回答】

- 1. 東京都
- 2. 青森県
- 3. 岩手県
- 4. 宮城県
- 5. 秋田県
- 6. 山形県
- 7. 福島県
- 8. 茨城県
- 9. 栃木県
- 10. 群馬県
- 11. 埼玉県
- 12. 千葉県
- 13. 神奈川県
- 14. 新潟県
- 15. 富山県
- 16. 石川県

- 17. 福井県
- 18. 山梨県
- 19. 長野県
- 20. 岐阜県
- 21. 静岡県
- 22. 愛知県
- 23. 三重県
- 24. 滋賀県
- 25. 京都府
- 26. 大阪府
- 27. 兵庫県
- 28. 奈良県
- 29. 和歌山県
- 30. 鳥取県
- 31. 島根県
- 32. 岡山県
- 33. 広島県
- 34. 山口県
- 35. 徳島県
- 36. 香川県
- 37. 愛媛県
- 38. 高知県
- 39. 福岡県
- 40. 佐賀県
- 41. 長崎県
- 42. 熊本県
- 43. 大分県
- 44. 宮崎県
- 45. 鹿児島県
- 46. 沖縄県
- 47. わからない・就職活動を始めていない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特に理由はない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q19”で“札幌市”を“選択した”[もしくは]“Q19”で“北海道内(札幌市以外)”を“選択した”

Q23. 札幌市、北海道内での就職を希望していた(希望している)理由をお答えください。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 出身地だから/出身地に近いから
- 2. 親戚・友人・知人がいるから
- 3. 自然環境が良いから
- 4. 気候が好きだから
- 5. 便利で暮らしやすいから
- 6. 生活費が安いから
- 7. やりたい趣味・娯楽ができる環境だから
- 8. 子育てに良い環境だから
- 9. 教育機関・環境が整っているから
- 10. 就職したい企業・業種・職種があったから
- 11. そのまち・地域に貢献したいと思ったから
- 12. その他
- 13. 特に理由はない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特に理由はない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q19”で“道外都府県”を“選択した”[もしくは]“Q19”で“海外”を“選択した”[もしくは]“Q19”で“特になし”を“選択した”

Q24. 北海道内での就職を希望しなかった(希望していない)理由をお答えください。

【必ず回答】(複数選択)


- 1. 出身地と離れているから
- 2. 親戚・友人・知人が少ないから・しがないから
- 3. 自然環境が好みではないから
- 4. 気候が好みではないから
- 5. 不便で暮らしにくいから
- 6. 生活費がかかる(高い)から
- 7. やりたい趣味・娯楽ができないから
- 8. 子育てに良い環境ではないから
- 9. 教育機関・環境が整っていないから
- 10. 就職したい企業・業種・職種がなかったから
- 11. その他
- 12. 特に理由はない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q25. 道内企業を就職先として検討したり、情報収集したりしましたか(していますか)。

【必ず回答】

- 1. 最も有力な就職先として検討・情報収集した(している)
- 2. 有力な就職先として検討・情報収集した(している)
- 3. 一つの選択肢として検討・情報収集した(している)
- 4. 就職先として検討・情報収集しなかった
- 5. まだ検討・情報収集していない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q25”で“最も有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“一つの選択肢として検討・情報収集した(している)”を“選択した”

Q26. 道内企業について「知りたい」と思った情報を十分に得ることができましたか。

【必ず回答】

- 1. 十分に情報を得ることができた
- 2. 得ることができた
- 3. あまり得ることができなかった
- 4. 得ることができなかった

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない”


編集 削除 ↪ この質問を表示する条件“Q25”で“最も有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“一つの選択肢として検討・情報収集した(している)”を“選択した”

Q27. 道内企業について知りたかった(知りたい)情報は次のうちどれですか。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 賃金
- 2. 福利厚生
- 3. 企業の概要
- 4. 企業の安定性
- 5. 企業の将来性
- 6. 勤務地の位置・地理的条件
- 7. 自由時間・休暇が十分にとれること
- 8. 転勤の有無・頻度
- 9. 子育てしやすい勤務条件・環境か
- 10. 仕事の具体的な内容
- 11. 仕事のやりがい
- 12. グローバルな仕事ができる環境か
- 13. やりたい仕事ができる環境か
- 14. 自分の能力が発揮できる環境か
- 15. 大学で学んだ専門分野を活かせる環境か
- 16. 能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境か
- 17. 社長・会長など企業トップの考え方
- 18. 職場の雰囲気
- 19. 採用の選考方法・選考基準
- 20. 入社後の研修内容
- 21. 社員のキャリアパス・キャリアプラン
- 22. 女性が活躍できる環境か
- 23. 社員の定着状況
- 24. その他
- 25. 特にない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q25”で“最も有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“有力な就職先として検討・情報収集した(している)”を“選択した”[もしくは]“Q25”で“一つの選択肢として検討・情報収集した(している)”を“選択した”

Q28. 就職先として道内企業と道外企業を比較し「道内企業のここが劣っているから、就職先として道外企業の方により魅力を感じる」と思った点(は)ありますか。

【必ず回答】(複数選択)


- 1. 賃金
- 2. 福利厚生
- 3. 企業の規模
- 4. 企業の知名度・社会的評価
- 5. 企業の安定性
- 6. 企業の将来性
- 7. 勤務地の位置・地理的条件
- 8. 自由時間・休暇が十分にとれること
- 9. 転勤の有無・頻度
- 10. 子育てしやすい勤務条件・環境であること
- 11. 仕事の具体的な内容
- 12. 仕事のやりがい
- 13. グローバルな仕事ができること
- 14. やりたい仕事ができるチャンスに恵まれていること
- 15. 自分の能力が発揮できる環境であること
- 16. 大学で学んだ専門分野を活かせること
- 17. 能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること
- 18. 社長・会長など企業トップの考え方
- 19. 職場の雰囲気
- 20. 採用の選考方法・選考基準
- 21. 入社後の研修内容
- 22. 社員のキャリアパス・キャリアプラン
- 23. 女性が活躍できる環境であること
- 24. 社員の定着状況
- 25. その他
- 26. 特にない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q21”で“道外都府県”を“選択した”[もしくは]“Q21”で“海外”を“選択した”

Q29. 将来、札幌市・北海道に戻りたい(Uターンしたい)と思いますか。

【必ず回答】

- 1. 札幌市に戻りたい
- 2. 北海道内(札幌市以外)に戻りたい
- 3. 札幌市内外問わず北海道に戻りたい
- 4. どちらかといえば北海道には戻りたくない
- 5. 北海道には戻りたくない
- 6. どちらとも言えない・わからない

編集 削除  この質問を表示する条件“Q29”で“札幌市に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“北海道内(札幌市以外)に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“札幌市内外問わず北海道に戻りたい”を“選択した”

Q30. 札幌市・北海道に戻りたい(Uターンしたい)時期はおおよそ何年後ですか。

【必ず回答】

- 1. おおよそ1～3年後
- 2. おおよそ4～5年後
- 3. おおよそ6～10年後
- 4. 10年後以降
- 5. わからない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“特に理由はない”

編集 削除 ↩ この質問を表示する条件“Q29”で“札幌市に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“北海道内(札幌市以外)に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“札幌市内外問わず北海道に戻りたい”を“選択した”

Q31. 札幌市・北海道に戻りたい(Uターンしたい)理由は何ですか。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 出身地だから/出身地に近いかから
- 2. 親戚・友人・知人がいるから
- 3. 自然環境が良いから
- 4. 気候が好きだから
- 5. 便利で暮らしやすいから
- 6. 生活費が安いから
- 7. やりたい趣味・娯楽ができる環境だから
- 8. 子育てに良い環境だから
- 9. 教育機関・環境が整っているから
- 10. 将来、就職(転職)したい企業・業種・職種があるから
- 11. 将来、北海道で起業したいから
- 12. 北海道に何らかの貢献がしたいから
- 13. 老後を北海道で過ごしたいから
- 14. その他
- 15. 特に理由はない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“特にない・わからない”

編集 削除 ↩ この質問を表示する条件“Q29”で“札幌市に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“北海道内(札幌市以外)に戻りたい”を“選択した”[もしくは]“Q29”で“札幌市内外問わず北海道に戻りたい”を“選択した”

Q32. 札幌市・北海道に戻る(Uターンする)ためにあなたが求める取組は何ですか。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 移住・Uターン転職を受け入れる企業の情報提供
- 2. 移住・Uターン者に対する住まいの情報提供
- 3. 移住・Uターン者に対する暮らしの便利情報の提供
- 4. 移住・Uターン時に必要な手続き等に関する情報提供
- 5. 行政等による移住・Uターン者に対する金銭的支援
- 6. 行政等による移住・Uターン支援施策に関する情報提供
- 7. 移住・Uターン実践者の事例紹介
- 8. 移住・Uターン者間、地域住民との交流の機会
- 9. 子育て支援に関する情報提供
- 10. 教育や教育支援に関する情報提供
- 11. 北海道での起業・起業支援に関する情報提供
- 12. 老後の暮らしに関する情報提供
- 13. その他
- 14. 特にない・わからない

編集 削除 ⚠ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“参加を希望しない”

編集 削除 ↩ この質問を表示する条件“Q9”で“就職”を“選択した”

Q33. このアンケート調査ご回答者を対象にしたグループインタビューを下記の日時で行います。

ご出席者には謝礼としてクオカード3,000円をお渡しします。

会場は「かでる2.7」(中央区北2条西7丁目)を予定しています。ご参加を希望される日時をお答えください。

【必ず回答】(複数選択)

- 1. 3月4日(月)14:00~17:00
- 2. 3月5日(火)14:00~17:00
- 3. 参加を希望しない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q33”で“3月4日(月)14:00~17:00”を“選択した”[もしくは]“Q33”で“3月5日(火)14:00~17:00”を“選択した”

Q34. グループヒアリングに関する連絡先として、下記をお教えてください。
いただいた連絡先情報は関係者限りとして厳重に管理するとともに、グループインタビューに関するご連絡以外の用途には一切使用しないことをお約束いたします。
※ご参加いただける方には平成31年1~2月に、メールまたは電話にて連絡を差し上げます。ご参加いただけない方には連絡を差し上げません。ご了承ください。

氏名【必ず回答】

0文字

メールアドレス【必ず回答】

0文字

電話番号【必ず回答】

0文字

Q35. 札幌市・北海道内での若者の就職促進や、札幌市・北海道へのUターンを促進するための意見やアイデアがあればお書きください。

意見・アイデア

0文字

Q36. 最後までご回答いただきありがとうございました。ご回答のお礼(抽選による景品、QUOカード500円分)を希望される方は、郵送先をお書きください。当選者の発表は景品の発送で代えさせていただきます。

いただいた個人情報は関係者限りとして厳重に管理するとともに、お礼の発送以外の用途には一切使用しないことをお約束いたします。

氏名

0文字

郵便番号

0文字

住所

0文字

3. アンケート調査 出口ウェブページ

グループインタビュー実施のお知らせ × +

https://www.northerncross.co.jp/wakamono/enq_end.html

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

「グループインタビュー」に参加をご希望された方には、後日、連絡を差し上げます。しばらくお待ち下さい。

なお、グループインタビューの概要は下記のとおりです。

大学卒業予定者へのグループインタビュー

- ・日時：平成31年3月4日（月）、5日（火）の14:00～17:00（どちらか1日のご参加）
- ・会場：かでの2.7（中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル）920号室
- ・謝礼：QUOカード3,000円分
- ・募集人数：約40名
- ・お聞きする内容：北海道内での就職や、北海道へのUターン就職についてのご意見・アイデア（アンケート調査結果を元にして）
- ・その他：数名のグループになって、食べ飲みしながら行う気軽なインタビューです。

※ご参加いただける方には平成31年2月中に、メールまたは電話にて連絡を差し上げます。ご参加いただけない方には連絡を差し上げません。ご了承ください。

<お問い合わせ先>

【調査業務受注者】株式会社ノーザンクロス
担当：井上、島崎
電話：011-232-3661（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 9:00～18:00）
Eメール：wakamono@northerncross.co.jp

【調査業務実施者】札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課
担当：斎藤、稲田
電話：011-211-2192（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 8:45～17:15）

4. 大学卒業予定者へのグループインタビュー調査での説明資料

札幌市 大学卒業予定者への グループインタビュー

- 日時：平成31年3月4日（月）、5日（火）
14:00～17:00
- 場所：かでの2.7 920会議室
- 主催：札幌市
- 司会・運営：株式会社ノーザンクロス



本日のプログラム

1. 開会・主催者挨拶
2. 主催・運営スタッフの紹介
3. ガイダンス
4. グループインタビュー

アンケート・インタビューの背景・目的

- 札幌市から道外への若者の転出が顕著。
- 市内企業が事業を行っていくうえでの課題は人手不足。
- これらの課題解決に向けて若年層の定着・還流策を講じる必要がある。
- 具体的には、若者の地元定着やUターン就職を現状以上に促進することが必要。
- そのために、若者の考え方、道内での就職の条件、若者への効果的なアプローチの方法を探る。

郵送アンケート調査の目的

市内大学の卒業予定者の、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて**定量的に**把握すること。

グループインタビューの目的

アンケート調査結果も踏まえ、市内大学の卒業予定者が、就職希望・予定地、就職にあたっての条件などについて、具体的にどのように感じているか、考えているかを深掘りしてお聞きすること＝**定性的に**把握すること。

回答についてのお願い

1. 「世間一般」ではなく「自分自身」のこととして回答してください。
※「世間一般」のこととしてお聞きするものもあります。
2. できるだけ**具体的に**、できれば**詳細に**回答してください。
3. **正直に**ご回答願います。

Q9

(1) (市外就職者／希望者) 札幌に
Uターンしたい？／(市内就職
者／希望者) 住み続けたい？
(2) Uターンするには／Uターン者
を増やすためには、何が必
要？

1
6

回答の書き方

イニシャル
島

(1) Yes
(2) ○○が××
で△△なこと

回答内容。
書ききれなければ
2枚、3枚になっても可

7

ワークシート

8

とても大切！

グループインタビュー・ワークショップの掟

其の一 頭に浮かんだことは、些細なことでも、
「ちょっと違うかも」と思っても、**臆ず
かみならず書き出す・発表すること**

其の二 人の話は途中でさえぎらずよく聞くこと

其の三 人の言ったことを**批判したり茶化したり
しないこと**

其の四 他の人が発言できるよう、**発言は短めに
すること**

其の五 **気軽に明るく楽しく取り組むこと。**

9